

# 講義内容

国文科  
英文科  
仏教科

2006  
(平成18)  
年度



駒澤大学  
駒澤短期大学

# 講 義 內 容

## 目 次

### 国文科・英文科

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目 .....	11
2	教 養 教 育 科 目 .....	23
3	外 国 語 科 目 .....	99
4	保 健 体 育 科 目 .....	139
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 科 .....	167
2	英 文 科 .....	223
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	275
IV	「日本語」・「日本事情」科目 .....	327

### 仏 教 科 (夜 間 開 講)

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目 .....	353
2	教 養 教 育 科 目 .....	361
3	外 国 語 科 目 .....	387
4	保 健 体 育 科 目 .....	399
II	專 門 教 育 科 目 .....	411
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	433
IV	仏 教 学 部 開 設 科 目 .....	453

国 文 科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育	
	英 文 科	専門教育科目	国文科 英文科
		履修科目	他学部 〔日本語〕 〔日本事情〕
	仏 教 科 (夜間開講)	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
履修科目		専門教育 他学部履修 仏教学部開設	



# 国文科・英文科





# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目





## 1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	短国・短英2年	通年	4	晴山俊英	11
仏教と人間〔再クラス〕	短国・短英2年	通年	4	岡本一平	11
仏教と人間〔再クラス〕	短国・短英2年	通年	4	古山健一	12
仏教と人間〔再クラス〕	短国・短英2年	通年	4	吉津宜英	13
文化と宗教	短国・短英選	通年	4	長谷部八朗	13
社会と宗教	短国・短英選	通年	4	池上良正	14
自然と宗教	短国・短英選	通年	4	小川順敬	14
坐禅	短国・短英選	半期	2	佐藤秀孝 熊本英人	15



科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	晴山俊英

講義のねらい	仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。
講義の内容・授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。
履修上の留意点	仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。
成績評価の方法	期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
参考書等	授業において適宜指示する。

科目名	担当者名
仏教と人間〔再クラス〕	岡本一平

講義のねらい	仏教は、約2500年前のインドにおいて、釈尊を開祖として成立した宗教です。その後、中国・韓国・日本・チベット・スリランカ・タイ・カンボジアなどに伝播し、現在では世界各国の仏教徒たちによっても信仰されています。本年度は、仏教の思想と歴史の基本的概要について、現代社会における宗教事情との関連を念頭におきながら講義します。そして、受講生自身が仏教に関する知識を深め、仏教について考えるための材料を多く手にすることが出来るようになります。
講義の内容・授業スケジュール	前期：仏教の思想と歴史に関する概論 ①宗教とは何か ②仏教の開祖の伝記 ③仏教の聖典 ④仏教の伝播 ⑤仏教の思想 後期：日本における仏教について ①日本と仏教 ②仏教公伝 ③古代の仏教 ④中世の仏教 ⑤近代の仏教
履修上の留意点	講義形式で行います。筆記用具とノートは必ず準備して下さい。私語は厳禁で、場合によっては退席してもらいます。質疑は大歓迎です。
成績評価の方法	出席と学年末試験により評価します。場合によって小テストを実施します。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）2003年 袴谷憲昭『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

## 科目名

担当者名

仏教と人間〔再クラス〕

ふる やま けん いち  
古 山 健 一

## 講義のねらい

仏教は今から約二千六百年前にインドで興起した宗教である。仏教の開祖である釈尊（ゴータマブツダ）は、いきとし生けるものすべての幸福に関する普遍的で絶対的な道理を「教え」として説いた。そして、その教えは、今日までの長い時間に、様ざまに変容・発展しつつ、アジアの広範な地域に伝播した。本講義では、仏教の出発点とその後の展開についてを学び、かつ、その仏教が現代の人間社会と人間生活において持ちうる意義を考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯、釈尊の説いた重要な教え、その後の仏教の伝播と歴史についてを概論的に学び、仏教の現代における意義について、特に現代タイの開発僧における「開発」の思想を取りあげて、これを見てゆきたい。

## 履修上の留意点

特になし。

## 成績評価の方法

授業への出席状況と、夏休みの提出課題及び学年末試験により評価する。

## 教科書

プリント随時配布する。

## 参考書等

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）2,100円 ISBN4393106040  
 中野元・三枝充憲『バウツダ・佛教』（小学館）3,262円 ISBN4095580011  
 西川潤・野田真里編『仏教・開発・NGO タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』（新評論）  
 3,465円 ISBN4794805365

科目名

担当者名

仏教と人間(再クラス)

吉津 宜英

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらゐに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名

担当者名

文化と宗教

長谷部 八郎

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。



科目名

担当者名

社会と宗教

池上良正

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論、グローバル化と宗教などの問題を検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解をふまえて、近代国家と宗教との関係について考える。近年の「靖国問題」を考える手がかりなども探ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名

担当者名

自然と宗教

小川順敬

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名
坐禅	佐藤 秀孝・熊本 英人

## 講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

## 講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

## 履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

## 成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

## 教科書

適宜、プリントにて配布します。

## 参考書等

『坐禅—講本—』(更生社) 2,226円



## 2. 教 養 教 育 科 目





## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野 (短国・短英)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学〔日本文学「古典」〕	短国・短英選	通年	4	伴野英一	23
歴史学〔日本中世史〕	短国・短英選	通年	4	栗原修	23
芸術学(1)〔日本美術〕	短国・短英選	通年	4	北野良枝	24
芸術学(2)〔西洋美術〕	短国・短英選	通年	4	矢野陽子	25
芸術学(3)〔音楽〕	短国・短英選	通年	4	浦本裕子	25
哲学〔西洋思想の源流〕	短国・短英選	通年	4	河谷淳	26
論理学〔知の技法〕	短国・短英選	通年	4	伊古田理	27
論理学〔知の技法〕	短国・短英選	通年	4	植野公稔	28
科学史〔近代科学の成立と展開〕	短国・短英選	通年	4	高橋秀裕	28
倫理学(1)〔人間観〕	短国・短英選	通年	4	古田知章	29
倫理学(2)(7)〔応用倫理学〕	短国・短英選	通年	4	黒崎剛	30
倫理学(3)〔価値観〕	短国・短英選	通年	4	滝沢正之	30
倫理学(4)〔応用倫理学〕	短国・短英選	通年	4	麻生享志	31
倫理学(5)〔制度とモラル〕	短国・短英選	通年	4	滝口清栄	31
倫理学(6)〔東洋倫理〕	短国・短英選	通年	4	末木恭彦	32
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	短国・短英選	通年	4	池上良正	32
宗教学(2)〔聖と俗〕	短国・短英選	通年	4	田中かの子	33
宗教学(3)〔世界観と儀礼〕	短国・短英選	通年	4	小川順敬	33
宗教学(4)〔日本人の宗教〕	短国・短英選	通年	4	矢野秀武	34
宗教学(5)〔生活と宗教〕	短国・短英選	通年	4	菅原壽清	34
宗教学(6)〔民俗宗教の諸相〕	短国・短英選	通年	4	浅川泰宏	35
人文地理学(1)〔風土と文化〕	短国・短英選	通年	4	山口太郎	36
人文地理学(2)〔風土と文化〕	短国・短英選	通年	4	高橋健太郎	37
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	短国・短英選	通年	4	伊藤修一	38
教育の思想	短国・短英1選	半期	2	豊田千代子	38
教育の思想	短国・短英1選	半期	2	北村三子	39
教育の思想	短国・短英1選	半期	2	伊藤茂樹	39
教育の思想	短国・短英1選	半期	2	萩原建次郎	40
教育の思想	短国・短英1選	半期	2	坂本信昭	41
教育と社会	短国・短英1選	半期	2	豊田千代子	41
教育と社会	短国・短英1選	半期	2	北村三子	42
教育と社会	短国・短英1選	半期	2	伊藤茂樹	42
教育と社会	短国・短英1選	半期	2	萩原建次郎	43
教育と社会	短国・短英1選	半期	2	坂本信昭	44
発達と学習の心理学	短国・短英1選	半期	2	小倉康仁	44
発達と学習の心理学	短国・短英1選	半期	2	大浜幾久子	45
発達と学習の心理学	短国・短英1選	半期	2	三國隆子	45
発達と学習の心理学	短国・短英1選	半期	2	飯田都	46
発達と学習の心理学	短国・短英1選	半期	2	角野善司	47
カリキュラムと学習	短国・短英1選	半期	2	小倉康仁	48
カリキュラムと学習	短国・短英1選	半期	2	大浜幾久子	48

カリキュラムと学習	短国・短英1選	半期	2	三國隆子	49
カリキュラムと学習	短国・短英1選	半期	2	杉山二季	49
カリキュラムと学習	短国・短英1選	半期	2	角野善司	50

## (2) 社会分野 (短国・短英)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学〔社会生活を考える〕	短国・短英選	通年	4	小畑和	51
統計学〔社会現象の統計的決定〕	短国・短英選	通年	4	新行内康慈	52
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	短国・短英選	通年	4	矢野秀武	52
法学・憲法〔法と国家〕	短国・短英選	通年	4	織田晃子	53
法学・憲法〔法と権利〕	短国・短英選	夏季集中	4	池田実	54
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	短国・短英選	通年	4	横田匡紀	54
経済学〔現代経済と人間〕	短国・短英選	通年	4	森田成也	55
社会科学論〔社会認識の思想〕	短国・短英選	通年	4	大石雄爾	56
教育学〔デス・エデュケーション〕	短国・短英選	通年	4	柳堀素雅子	57
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	短国・短英選	通年	4	小田切紀子	58

## (3) 自然分野 (短国・短英)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学〔生物と進化〕	短国・短英選	通年	4	清水善和	59
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	短国・短英選	通年	4	小池敏夫	60
自然環境論〔生物の集団と環境〕	短国・短英選	通年	4	坂巻義章	61
自然誌〔現代の自然像〕	短国・短英選	通年	4	清水善和 篠原正雄 持丸真里	62
数学(1)〔微積分学入門〕	短国・短英選	通年	4	小沢誠	63
数学(2)〔線型代数学入門〕	短国・短英選	通年	4	小沢誠	63
数学(3)〔現代数学入門〕	短国・短英選	通年	4	福田賢一	64
情報数学〔情報と論理〕	短国・短英選	通年	4	坂野井和代	64
物理学〔光と物質〕	短国・短英選	通年	4	篠原正雄	65
化学〔衣食住の化学〕	短国・短英選	通年	4	持丸真里	66
宇宙科学〔星と銀河〕	短国・短英選	通年	4	篠原正雄	66
コンピュータ基礎(1)(6) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	小沢誠	67
コンピュータ基礎(4)(9) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	小沢誠	68
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	山本博信	69
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	小川健次郎	70
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	澤口隆	71
コンピュータ基礎(10) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	澤口隆	72
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	元木光雄	73
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	坂野井和代	74
コンピュータ基礎(13) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	山本博信	75
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	長坂浩史	76
コンピュータ基礎(15)(16) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	小川健次郎	77
コンピュータ基礎(17) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	塚本達也	77
コンピュータ基礎(18) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	夏季集中	2	小沢誠	78
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕	短国・短英選	半期	2	坂野井和代	79
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	短国・短英選	通年	2	坂野井和代	80
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	短国・短英選	通年	4	篠田謙一	80

心理学〔人間関係を考える〕	短国・短英選	通年	4	高橋良博	81
心理学〔心を科学する〕	短国・短英選	夏季集中	4	深堀友覚	82

(4) 総合分野 (短国・短英)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	短国・短英選	通年	4	四津谷孝道	83
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	短国・短英選	通年	4	熊本英人	84
総合Ⅰ(3)〔仏教と芸術〕	短国・短英選	通年	4	村松哲文	84
総合Ⅱ	短国・短英選	通年	4	休講	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	短国・短英選	通年	4	ピアス, D. M.	85
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	短国・短英選	通年	4	岡崎寿一郎	86
総合Ⅲ(3)〔ドイツの森林〕	短国・短英選	通年	4	野島利彰	86
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	短国・短英選	通年	4	林明人	87
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	短国・短英選	通年	4	西村祐子	87
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	短国・短英選	通年	4	丸小哲雄	88
総合Ⅴ(1)〔イギリスの歴史と文化〕	短国・短英選	通年	4	石原孝哉	89
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	短国・短英選	通年	4	大野祐二	89
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	短国・短英選	通年	4	青柳かおる	90
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	短国・短英選	通年	4	早川紀代	91
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	短国・短英選	通年	4	高橋洋城 他	92
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	短国・短英選	通年	4	内海麻利 他	93
総合Ⅷ				休講	

科目名	担当者名
文学〔日本文学〔古典〕〕	伴野英一

講義の内容・授業スケジュール

いわゆる文運東漸期前後から、洒落本を中心として近世戯作文芸を概観する。実際に作品を読むことで、文芸における「滑稽」がどのように表現されるのかを考察する。また、当時の風俗など、作品成立の時代的背景についても適宜触れてゆく。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。受講態度も評価に加味する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が六十点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学〔日本中世史〕	栗原修

講義のねらい

中世社会の歴史について講義します。とくに、古代→中世、中世→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、中世とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 荘園公領制と幕府  
 ～武士身分の誕生から鎌倉幕府の成立まで～  
 (後期) 中世社会の特質と近世国家の誕生

履修上の留意点

年表や日本史辞典を用意してほしい。

成績評価の方法

学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。

教科書

プリントを随時配布します。



科目名

担当者名

芸術学（1）〔日本美術〕

きたのよしえ  
北野良枝

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期 室町から桃山時代の絵画
- (1) ガイダンス
  - (2) 絵画に関する基礎知識
  - (3) ～ (7) 室町時代の水墨画
  - (8) 阿弥派
  - (9) 関東水墨画
  - (10) 土佐派
  - (11) 狩野正信・元信
  - (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇
- 後期 江戸時代の絵画
- (14) 江戸時代の狩野派
  - (15) ～ (18) 琳派
  - (19) ～ (20) 浮世絵
  - (21) 南蘋派
  - (22) 文人画
  - (23) 秋田蘭画と司馬江漢
  - (24) 円山四条派
  - (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
  - (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

スライドで映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒澤大学図書館に所蔵されている。

- 『原色日本の美術』（小学館）
- 『日本美術全集』（学習研究社）
- 『日本美術絵画全集』（集英社）
- 『日本美術全集』（講談社）

科目名	担当者名
芸術学(2)〔西洋美術〕	矢野陽子

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀まで、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの絵画を主たる対象とします。まず美術の主要な流れを把握し、それから作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 15世紀から18世紀までの西洋美術の流れ／絵画のジャンルについて／ 物語画  
後期 物語画以外の諸ジャンル／様式概念と様式分析／芸術庇護者と美術収集・美術館

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席すること。スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席率および授業態度を合わせて評価します。

参考書等

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円  
三浦篤著『まなごしのレッスン①西洋伝統絵画』（東京大学出版会）2,625円

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名
芸術学(3)〔音楽〕	浦本裕子

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のもので聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

音楽は、本来は、生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：ヨーロッパの音楽  
（民族音楽とクラシック音楽）  
後期：諸民族の音楽（アジアを中心に）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート  
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭他編『民族音楽概論』（東京書籍）

科目名

担当者名

哲学〔西洋思想の源流〕

かわ 河  
たに 谷  
あつし 淳

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。授業ではできるだけ具体的な事例を挙げることで「哲学する」ことを身近に感じてもらえるように努めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。

前期：（１）ギリシア哲学：哲学の始まり

ソクラテス以前の哲学

ソクラテスの「無知の自覚」

プラトンのイデア論

アリストテレスの質料形相論

後期：（２）キリスト教哲学：信仰と合理性

神の存在証明

普遍論争（唯名論と実在論）

（３）近代哲学：認識論的転回

大陸合理論：デカルトにおける「私」

イギリス経験論：ロック、バークリ、ヒューム

カント哲学：コペルニクス的転回

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名
論理学〔知の技法〕	伊古田 理

## 講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

## 履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

## 成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

## 教科書

本年度は、テーマとして「道德の理由（なぜ道德なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

## 参考書等

そのつど指示する。

## その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名
論理学〔知の技法〕	植野公稔

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なのかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいてほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてくれるのなら、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	担当者名
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋秀裕

講義のねらい

近年、近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題がしきりに議論されている。本講義では、古代から近代までの科学の歴史的発展を、「方法」や「思想」に眼を向けつつ総合的に学ぶことを通して、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解することを目標とする。とりわけ、近代科学が形成された、いわゆる「科学革命」の時代と呼ばれる17世紀西欧に焦点をあて、古代以来の自然認識の枠組がどう変革されたかを探るとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、古代ギリシャの自然哲学や幾何学の話題から出発し、近代科学の成立、発展の歴史を、自然観の変遷、宗教との関係、方法論の確立に注目しながら概観する。後期は、近代科学の成立、発展に積極的な役割を果たした「数学」の歴史的発展について講義する。とりわけ、近代西欧数学に特徴的な代数的思考法の重要な一側面である、代数的論証法の形成過程を、数学外的諸要因をも含めて考察する「総合的数学史」の観点から探る。

履修上の留意点

いわゆる自然科学・数学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、不明な点は質問してほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布

科 目 名	担 当 者 名
倫理学（1）〔人間観〕	古 田 知 章 <small>ふる た とも あき</small>

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―新しい時代の人間観
  1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
  2. 自己の内面性と他者の問題
  3. 人格 ―ロックを手がかりに―
  4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（２）（７）〔応用倫理学〕	黒崎 剛

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名
倫理学（３）〔価値観〕	滝沢 正之

講義のねらい

ねらいは二つある。  
 第一に、近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を丁寧に紹介すること。我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることがわかってくる。カントを手がかりに、倫理学の基本的な問題を体系的に考えてみたい。たとえば、他人の幸せのために嘘をついてもいいのだろうか。  
 第二に、現代に我々が生きる際に考えなければならない問題を、できるだけ多く紹介すること。カントの検討だけでは提示しきれない論点を挙げていきたい。たとえば、戦争、差別、宗教原理主義、少年犯罪など。難しい問題が多いので解決を提示するのは無理であろうが、考え方の方向性くらいは示したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の紹介を行い、後期に現代の諸問題の検討を行う予定。細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。  
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）  
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	担当者名
倫理学（４）〔応用倫理学〕	麻生 享志

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。現在、東大文学部21世紀COE「死生学の構築」に研究員として参加している関係で、生命倫理的内容が多く含まれるでしょうが、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を”楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）  
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3-4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名
倫理学（５）〔制度とモラル〕	滝口 清栄

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円



科目名	担当者名
倫理学（6）〔東洋倫理〕	末木 恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>
講義のねらい	倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思索は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。
講義の内容・授業スケジュール	授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年は環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐる議論が行われた。その中国古代の環境をめぐる議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。
履修上の留意点	ノートはしっかりと取る。
成績評価の方法	各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。
教科書	浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	担当者名
宗教学（1）〔比較宗教文化〕	池上良正 <small>いけ がみ よし まさ</small>
講義のねらい	宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。
成績評価の方法	年度末に筆記試験を行なう。
教科書	特に指定しない。
参考書等	『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	担当者名
宗教学（2）〔聖と俗〕	田中かの子

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート（後期中に提出）と学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	担当者名
宗教学（3）〔世界観と儀礼〕	小川順敬

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名
宗教学（４）〔日本人の宗教〕	矢野秀武

講義のねらい

宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期に日本宗教史ならびに外国に渡った日本宗教、現代日本に入ってきた外国の宗教などをとりあげる。後半では、現代日本において冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教がどのように変容しているのか、また現代の社会制度において宗教はどのように位置づけられているのかといった点を紹介する。また単なる事実の紹介だけではなく、宗教学（宗教人類学・宗教社会学）的な視点に基づいて解説を加える。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

教科書

なし

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
宗教学（５）〔生活と宗教〕	菅原壽清

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名
宗教学（6）〔民俗宗教の諸相〕	あざ かわ やす ひろ 浅 川 泰 宏

講義のねらい

宗教学の概念や方法を、現代社会における人々の関係性を読み解くツールとして活用する能力の獲得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

世俗化が進んだ現代の日本社会においては、一般論としての無宗教性と、その背後に依然として蓄えられている豊かな宗教性を両眼的に捉えることが重要となっています。本講義では、民俗宗教という観点から、我々の身近な日常生活に表出される宗教現象に着目します。

前期は、祖先祭祀や祭り、新宗教などをテーマに宗教学・宗教民俗学の基本的な視点や知識を学びます。後期には、ヒトやモノの移動が活発化し、様々な境界が溶け崩れていくなかで、着目が集まっている「巡礼」を中心に、民俗宗教を通して構築される関係性や当事者の意識の変化といった問題を考えます。

なお、講義では、毎回具体的なトピックをあげ、それについての講義と討論を行います。そのため授業中は皆さんの積極的な参加を期待します。

履修上の留意点

- ・ 講義中の私語は厳禁とします。
- ・ 受講生の理解度を確認し、講義内容に皆さんの意見を反映させるために、毎回コメントカードへの記入を求めます。御協力を御願ひ致します。

成績評価の方法

- 配点：レポート60点＋平常点40点＝合計100点
- ・ 平常点は、授業時に配布するコメントカードなどを参考に採点します。
  - ・ レポートは、特に理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は講義中に随時指示します。

科目名	担当者名
人文地理学（1）〔風土と文化〕	山口太郎

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理  
東京年表、同潤会（アパート）の歴史、東京の都市化・都市計画史、東京論の系譜
- 3 先達による都市観察・記述  
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、シカゴ学派、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、三浦展、泉麻人、吉見俊哉、森川嘉一郎、石井實、奥田道大、水内俊雄

(後期)

- 4 都市の中の差異  
時間地理学、認知地図、空間と権力、空間から場所へ
- 5 商品としての都市  
選好地図、場所のイメージ（軽井沢、湘南、代官山、下北沢、歴史的町並み）、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱  
故郷、原風景、郊外に住むということ、まちづくりの系譜

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。  
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。  
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）  
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）  
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）  
吉見俊哉・若林幹夫編『東京スタディーズ』（紀伊国屋書店）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についてのいろいろ考える場としたい。

科 目 名	担 当 者 名
人文地理学（2）〔風土と文化〕	高 橋 健 太 郎 <small>たか ばし けん たろう</small>

講義のねらい	人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	<p>全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。</p> <p>具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1)人文地理学からみた文化、(2)大衆文化と文化景観、(3)日本の基層文化の地域性、(4)照葉樹林文化とブナ帯文化、(5)環境決定論と環境可能論、(6)地域文化と観光、(7)地図、(8)地名、(9)空間認知。</p>
履修上の留意点	講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。
成績評価の方法	教場レポートの内容（30％）と定期試験の結果（70％）で採点する。
教 科 書	使用しない。授業時にプリントを配布する。
参 考 書 等	<p>主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に適宜紹介する。</p> <p>高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）          鈴木秀夫『風土の構造』、講談社（講談社学術文庫）          佐々木高明『日本文化の基層を探る』（日本放送出版会）          田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』（古今書院）          市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』（朝倉書店）          中島峰広『日本の棚田』（古今書院）          溝尾良隆『観光学』（古今書院）          若林幹夫『地図の想像力』、講談社（講談社選書メチエ）。</p>
そ の 他	この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	担当者名
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	伊藤修一

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。それでは、その限られた場所や空間に人々はなぜ集まるのか？この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。(1) イントロダクション、(2) 地図、(3～7) 都市の分布と立地、(8・9) 都市や地域の結びつき、(10) 都市の内部構造  
後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。(11・12) 人口変動と分布・人口移動、(13～18) 都市の居住構造の形成過程とその変化－郊外化・再都市化、(19) 都市と余暇活動、(20) 都市空間における知覚と認知

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

北川建次編『現代都市地理学』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-3044-0  
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2,730円、ISBN4-7722-4027-6  
ノックス P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』(古今書院) 6,090円、ISBN4-7722-5103-0  
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	担当者名
教育の思想	豊田千代子

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想(子ども観)
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	北村三子

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	伊藤茂樹

講義のねらい	私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・学校教育の本質と機能 ・近代日本における学校教育
履修上の留意点	自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名

担当者名

教育の思想

ほご わら けんじろう  
萩原 建次郎

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
  - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
  - (2) 発達の思想を学ぶ
  - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育の思想	坂本信昭

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円  
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	豊田千代子

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り  
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権  
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席状況、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	北村三子

講義のねらい	近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。
講義の内容・授業スケジュール	日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
参考書等	教場で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	伊藤茂樹

講義のねらい	学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
講義の内容・授業スケジュール	とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。 ・現代の教育問題 ・教育改革の動向
履修上の留意点	ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。
成績評価の方法	学期末試験により評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名

担当者名

教育と社会

萩原 建次郎

## 講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

## 講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

## 履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

## 成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

## 教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

## 参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）  
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

## その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
教育と社会	坂本信昭

講義のねらい	人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。
講義の内容・授業スケジュール	講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。 ・学校教育のあゆみ ・学校の社会的機能 ・学校教育の現実と課題 ・その他（教師論等）
履修上の留意点	授業の欠席は厳密にとる。
成績評価の方法	課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
参考書等	西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	小倉康仁

講義のねらい	人間の教育活動や教育問題に対して心理学的にアプローチする教育心理学の主要な関心事として、発達および学習に関する様々なトピックスがあります。この発達と学習の問題を中心に、教育者が理解しておくべき事柄を取り上げて授業を進めていきます。つまり、「人はどのようにして育ち学んでいくのか?」、「そのプロセスにおいて親や教師や友人等からの働きかけはどのようにかかわってくるのか?」といったことについて分析・考察していく予定です。
講義の内容・授業スケジュール	①発達の定義 ②発達の規定因（遺伝と環境） ③発達のメカニズム（成熟と経験） ④発達観と教育可能性 ⑤レディネス、臨界期と早期教育 ⑥発達の様子（発達時期・発達段階） ⑦学習のメカニズム（学習理論） ⑧学習と動機づけ（学びを支える意欲） ⑨教授-学習過程 ⑩個性・個人差と教授法（適性-処遇相互作用）
成績評価の方法	平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。
教科書	未定（配布プリントを中心に授業を進める予定ですが、教科書を併用する場合には、開講時に指示します）。
参考書等	必要な場合は、そのつど授業で指示します。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	大 浜 幾久子 <small>おお はま いくこ</small>

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	三 國 隆 子 <small>みくに りゅうこ</small>

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末にレポート試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名
発達と学習の心理学	飯田 都

講義のねらい	発達心理学・学習心理学は、教育現場で子どもを理解する際の基本的な視座を示す学問である。本授業では、そのトピックの中から、発達初期の愛着形成・学齢期の学習・思春期の自我発達の3つに主に焦点を当てて講義を行う。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 発達初期：子どもの愛着形成</li> <li>2) 学齢期の学習：認知発達と動機付け</li> <li>3) 思春期の自我発達：自我発達の特徴と友人関係の変化など</li> </ol>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の学校体験やこれまでの成長を振り返って記載してもらう機会があります。</li> <li>・ディスカッションやディベート、もしくは一つのトピックを定めた調べ学習などのワークを取り入れる可能性があります。</li> </ul>
成績評価の方法	<p>定期試験・レポート（授業の際の小レポート）</p> <p>出席を取ります。講義の半数以上欠席の方は単位取得を認めません。</p>
教科書	資料は必要に応じて配布します。
参考書等	<p>高野清純監修『図で読む心理学「学習」』（福村出版）2,060円</p> <p>川島一夫『図でよむ心理学「発達」』（福村出版）2,060円</p> <p>他は授業の中で適宜紹介します。</p>
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科 目 名	担 当 者 名
発達と学習の心理学	すみの野 ぜんじ

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因
- (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ
- (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属
- (12) 学習目標と遂行目標 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名	担当者名
カリキュラムと学習	小倉 康仁

講義のねらい	カリキュラムの基本的な構成原理を把握したうえで、日本の現行教育課程を理解し、児童・生徒の発達と学習のしくみを踏まえながら、教育効果を上げるための適切な教授法や評価法について考えます。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>①カリキュラムとは？</li> <li>②カリキュラムの構成原理と規定因</li> <li>③様々なタイプ（型）のカリキュラム</li> <li>④カリキュラムと学習の転移</li> <li>⑤学習指導要領の変遷</li> <li>⑥現行学習指導要領の特徴</li> <li>⑦カリキュラムと教授法</li> <li>⑧カリキュラムと評価法</li> </ul>
成績評価の方法	平常授業期間中に課す小レポート課題と学期末試験の成績によって評価を行う予定です。
教科書	未定（開講時に指示します）。
参考書等	必要な場合は、そのつど授業時に指示します。
その他	原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	大浜 幾久子

講義のねらい	はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。
成績評価の方法	レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。
参考書等	『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』（文部科学省） その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。
その他	前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	三 國 隆 子 <small>みくにりゅうこ</small>

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。</li> <li>・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。</li> <li>・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。</li> </ul>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の教育課程</li> <li>・学習指導要領の変遷</li> <li>・教授と学習の効果</li> <li>・カリキュラムと学習の効果</li> <li>・学校教育（１）教育制度・カリキュラムの実際について</li> <li>・学校教育（２）教育評価・今後の課題について</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。</li> <li>・学期末にレポート試験を行う。</li> <li>・小テストや課題の提出状況と学期末レポートを総合して評価を行う。</li> </ul>
教科書	教科書、参考資料等は、授業中に配布する。
その他	原則として、前期に「発達と学習の心理学」を受講していることを前提とします。

科 目 名	担 当 者 名
カリキュラムと学習	杉 山 二 季 <small>すぎやまふたき</small>

講義のねらい	カリキュラムという言葉には、学習指導要領に代表されるような、公的な教育計画の枠組みという意味があります。けれどももっと広義に捉えるときには、学習の経験や履歴という意味も持っています。本授業では、このようなカリキュラムの二重の意味に注目し、子どもたちの学習をデザインする方法と課題について検討していきます。この授業を通して、学校や教師が果たしている複数の機能についての理解を深め、望ましいカリキュラムのありかたについて考えていって欲しいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	<p>授業で取り上げるテーマは以下のものを予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①カリキュラムとは何か</li> <li>②学習指導要領の変遷</li> <li>③教育内容の編成と課題</li> <li>④かくれたカリキュラムとは何か</li> <li>⑤カリキュラムのデザインと評価</li> </ol>
成績評価の方法	毎回の授業中に課す小レポートと、学期末の試験成績とで総合的に評価します。小レポートの提出は出席を兼ねるので、必ず提出すること。
教科書	教科書は使用せず、資料プリントを適時配布して使用します。
参考書等	授業中に適時紹介します。

科目名	担当者名
カリキュラムと学習	すみの野善し

講義のねらい	この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) カリキュラム（教育課程）とは</li> <li>(2) カリキュラムに関する法制</li> <li>(3) カリキュラム編成の原則</li> <li>(4) 学習指導要領改訂の歴史</li> <li>(5-6) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針</li> <li>(7-8) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針</li> <li>(9) 学習指導要領をめぐるその後の動き</li> <li>(10-12) 平成10年改訂学習指導要領（平成15年一部改正）の下での教育評価</li> <li>(13-15) 補遺</li> </ul>
履修上の留意点	この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。
成績評価の方法	<p>免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。</p> <p>成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。</p>
教科書	<p>『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 総則編』</p> <p>講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。</p>
参考書等	講義の進行に合わせて、適時紹介します。

## 講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的（Macroscopic）なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。）
  - (2) 誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）
  - (3) 幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）
  - (4) 家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）。
  - (5) 消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…）
  - (6) 会社生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）
  - (7) 老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。
- この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

## 履修上の留意点

初回の講義で説明する。

## 成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

## 教科書

初回の講義で説明する。

## 参考書等

初回の講義で説明する。

## その他

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ  
 (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定  
 (16) 母平均・母分散の推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の推定  
 (19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定  
 (21) その他の推定・検定 (22) 演習  
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用  
 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）  
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）  
 永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）  
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	矢野 秀 武

講義のねらい

文化人類学とは、世界の民族などの集団を対象に、その文化・社会について、比較しながら特質を理解する学問である。またそれを通じて自分の文化や社会の前提を理解する学問である。本講義では、人間社会の多様な生業形態、コスモロジーなど世界の理解の仕方についての基礎的な考え方を身につけてもらいたい。さらに、多民族社会の様相、日本の民族や日本文化といった考え方の形成と変容についても学んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、文化人類学の基本的な考え方を紹介し、狩猟採集民、牧畜民、農耕民など、近代化によって工業化した社会とは異なる生活環境・生業形態における人々の生活や考え方をとりあげる。後期では、グローバル化の進む現代社会の特質を踏まえつつ、民族と文化という基本的な考え方を理解し、文化摩擦、民族の形成、多民族国家、文化の流動化といったテーマで授業を進める。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの期末に試験を行なう。試験形式や授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	担当者名
法学・憲法〔法と国家〕	お だ て る 織 田 晃 子

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 法とは何か
    - (1) 法と道徳
    - (2) 法の解釈
  - 2 日本国憲法と人権
    - (1) 人権の主体
    - (2) 私法関係と人権
    - (3) 生命・自由および幸福追求権
    - (4) 法の下での平等
    - (5) 精神的自由権
    - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
    - (7) 経済的自由権
    - (8) 社会権
    - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
    - (10) 新しい人権
  - 3 法と国家
    - (1) 日本における近代憲法の成立
    - (2) 日本国憲法の統治原理
    - (3) 司法権とその限界
    - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点 授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法 期末試験の成績による。

教科書 『判例法学』（有斐閣ブックス）、『コンパクト六法』（岩波）

その他 プリント配布

科目名	担当者名
法学・憲法〔法と権利〕	池田実

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。  
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括  
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）  
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）  
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限（土、日除く）

科目名	担当者名
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	横田匡紀

講義のねらい

現代社会は様々な課題に直面しており、問題解決のために政治の果たす役割が着目されています。同時に政治は我々の社会生活と密接にかかわってきます。こうした状況を踏まえて、本講義では政治が我々の社会生活とどのように関わっているのか、政治学は問題解決のためにどのように道筋をつけることができるのかを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は権力、デモクラシーなどの政治学の基本概念、ソーシャルキャピタル、ガバナンスなどの現代政治理論の争点を具体的事例に基づいて考えていきます。  
 後期はグローバルな政治に着目します。具体的には貧困、環境、人間の安全保障などのグローバルな課題、NGO、企業などの非国家アクターの役割をとりあげ、グローバル・ガバナンスの可能性を考えます。

履修上の留意点

出席点はない。  
 講義ではドキュメンタリービデオを随時用いて、抽象的な概念を身近な事例で理解できるように心がける。

成績評価の方法

原則として定期試験により評価する。

教科書

後期の内容に関しては、宮脇・庄司編『グローバル公共政策入門（仮題）』晃洋書房、近刊の使用を考えている。

科 目 名	担 当 者 名
経済学〔現代経済と人間〕	森 田 成 也 <small>もり た せい や</small>

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本の条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- （1）はじめに （2）社会と経済 （3, 4）商品・貨幣 （5, 6, 7, 8）資本と剰余価値
- （9）賃金 （10, 11）資本の蓄積 （12）利潤と利潤率 （13）利子生み資本と株式資本
- （14, 15）独占資本、国家、外国貿易 （16）世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ
- （17, 18）戦前の日本と戦後日本経済の出発 （19, 20）現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 （21, 22）企業社会の形成と日本的働き方の確立 （23）低成長期以降の企業社会の肥大化 （24）企業社会と女性 （25, 26）経済大国日本とバブル経済
- （27, 28）長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）



科目名	担当者名
社会科学論〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石 雄 爾

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようとすることによって、皆さんの思考力、書写能力も高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名

担当者名

教育学〔デス・エデュケーション〕

やなぎ ぼり おがこ  
柳 堀 素雅子

講義のねらい

「人間の死」の問題を多角的な視点から考えていく。今日、日本国内においても海外においても、「人間の死」に関する問題が語られない日はないと言ってよい。殺人事件、戦争による死者、医療ミスによる死、環境問題に関わる死の問題など数えればきりがない。これらの問題の原因を追求していくことが、講義のねらいである。明確な答えは出せないが、何らかの解決に向けた取り組みが提案できるようになればある程度の目的は達成されたことになる。最終目標として、人間が人間らしく生きるとはどのようなことかを考えていけるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は「殺人」の問題を哲学的、倫理的、宗教的視点から考え、後半は「バイオエシックス（生命倫理）」の問題を考える。古来から哲学者は人間の死に関する問題を考えてきた。殺人は人間の悪の問題としてもとらえられる。西洋の思想家を中心に、人間は死の問題をどのように考えてきたのかを探っていく（前半の内容）。「バイオエシックス（生命倫理）」とは、1960年代後半から登場してきた医療に関する新しい学問である。「患者の権利」という新しい概念を中心に展開されてきた。バイオエシックスの内容を具体的に説明していく（後半の内容）。

履修上の留意点

前半と後半で講義の内容が大きく変わるので、両方の内容を理解できるようにしてもらいたい。

成績評価の方法

レポートの提出（最低4本は提出してもらう予定。内容を厳密にチェックする）。出席状況も調べる。

教科書

なし。

参考書等

講義中に随時知らせるが、バイオエシックスに関するものだけあげておく。  
D. ロスマン『医療倫理の夜明け』（晶文社）  
ビーチャム、チルドレス『生命医学倫理』（成文堂）  
Ch. プロス／G. アリ編『人間の価値』（風行社）

その他

講義中心に行ないませんが、参加人数によって多少変更するかもしれません。配布した資料は必ず自分で読んで理解すること。

科目名	担当者名
教育心理〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	小田切 紀子 <small>おたぎのりこ</small>

講義のねらい

教育現場で出会う思春期の子どもたちを掘り下げて考える。思春期は、人間の一生の中で多様な心身の変化と社会的位置づけの変化、親との関係の変化が起きる時期である。その上、思春期は家庭や社会の影響をまともに受けやすいため、さまざまなストレスや問題行動を呈することもある。このような思春期の子どもたちに対して、教師、教育機関の専門的職業に携わる者、親はどのように向き合って関わっていけばよいのかについて心理学的観点から学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 思春期とは何か  
トピックス：身体の変化(第二次性徴)、親からの精神的自立と親密な仲間関係の形成、自己意識と他者意識の高まり
- 2 思春期の心の変化と行動の変化  
トピックス：学校生活への適応、メディアの影響、性に関する問題、少年犯罪、摂食障害

後期

- 3 思春期の課題としての進路選択  
トピックス：進路選択と職業選択、フリーターの問題
- 4 思春期と向き合う人々と諸機関  
トピックス：親と家族、教師のストレスとバーンアウト、養護教諭、スクールカウンセラー、児童相談所、少年鑑別所

履修上の留意点

思春期ならびに学校現場の問題を扱っていくので、教育現場の仕事(教員、スクールカウンセラーなど)に関心がある学生の履修を希望する。出席を重視する。

成績評価の方法

試験(前期・後期)60%、平常点(出席)40%によって評価を行う。

教科書

菊池武剋監修『思春期・青年期と向き合う人のための心理学』(中央法規)2004

参考書等

谷冬彦・宮下一博編著『さまよえる青少年の心』(北大路書店)2004  
小田切紀子著『離婚を乗り越える-離婚家庭への支援を目指して』(プレーン出版)2004

その他

テキストを用いての講義形式とする。

## 講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟  
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡  
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンプリアの爆発  
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない  
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計  
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか  
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比  
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ  
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果と r-K 淘汰 (3) 食う・食われる関係  
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲  
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り  
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)  
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する  
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム  
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で  
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸  
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも  
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環  
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に  
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり  
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯  
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバル化  
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

## 成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

## 教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

## 参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

## その他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

## 科目名

担当者名

地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕

小池敏夫

## 講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらう。

1. 海と陸の地質の特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

## 成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

## 教科書

特に定めない。

## 参考書等

授業の中で、そのつど紹介する。

## その他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じ OHP などを用いる。

科目名	担当者名
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1、2) 地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5、6) 生物の歴史と環境 (7、8) 生物の進化 (9、10) 生物の分布 (11、12) 環境への適応  
 (13) 前期のまとめと試験  
 後期 (14、15) 食物連鎖とエネルギー流 (16) 生態ピラミッド (17) 個体群  
 (18) 出生と死亡 (19) 競争と住み分け (20) 捕食 (21) 共生と寄生 (22) 土壌と分解者 (23) 物質循環 (24) 里山の生態系 (25) 人口問題と環境問題  
 (26) まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
数学（１）〔微積分学入門〕	小 沢 誠

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、直線と２次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる微分積分』（共立出版）2,100円（税込）
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科 目 名	担 当 者 名
数学（２）〔線形代数学入門〕	小 沢 誠

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立１次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と１次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる線形代数』（共立出版）2,100円（税込）
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。



科目名	担当者名
数学(3)〔現代数学入門〕	福田賢一

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。 本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理工分野を充実させる。さらに、経済工学・金融工学の数理的基礎を学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用、 後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎、
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要とともに、基本的な事項の十分理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。 学生諸君の経済的負担を軽減するため、関連する公的な機関等のサイト等を紹介する。
参考書等	必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。
その他	教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名	担当者名
情報数学〔情報と論理〕	坂野井和代

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された例題や課題を必ず解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと回答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科 目 名	担 当 者 名
物理学〔光と物質〕	篠 原 正 雄 <small>しの ほん まさ お</small>

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は15%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名
化学〔衣食住の化学〕	持丸真里

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁  
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

図書館書誌検索画面へ  
講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原正雄

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。  
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。  
太陽： 構造 エネルギー源  
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源  
後期は銀河をとりあげます。  
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域  
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（１）（６） 〔コンピュータの実際〕	小 沢 誠

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

㈱シーズ著『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（４）（９） [コンピュータの実際]	小 沢 誠

講義のねらい	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）に従ってネットワークの基礎を習得することを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	ネットワーキングの概要、ネットワークの基礎、ネットワーク メディア、ケーブルのテスト、LAN と WAN のケーブリング、イーサネットの基礎、イーサネット テクノロジ、イーサネット スイッチング、TCP/IP プロトコル スイートと IP アドレッシング、ルーティングの基礎とサブネット、TCP/IP のアプリケーション層とトランスポート層について学ぶ。
履修上の留意点	パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを使用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
成績評価の方法	期末テストで評価します。
教科書	シスコネットワークアカデミープログラム（CCNA 1）を使用します。教場のパソコンから閲覧可能です。
参考書等	シスコシステムズ『シスコ ネット ワーキングアカデミー CCNA 1 受講ガイド』（ソフトバンククリエイティブ）4,200円 Roads to Node ( <a href="http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/">http://www5e.biglobe.ne.jp/~aji/</a> )
その他	コンピュータの基礎的な知識と、インターネット使用の経験がある方が望ましい。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（２）（７） 〔コンピュータの実際〕	やまもとひろのぶ 山本博信

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーション・ソフトウェアの活用を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、実習だけでなく、練習問題や演習問題なども含みます。

前期では、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザによるコミュニケーションを取り上げます。後期には特に電子メディアの活用やレポートの作成を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本および確認  
 (5) Web メール (Active Mail) を用いたメールの送受信。パスワードの変更  
 (6～7) ワープロソフトと日本語変換  
 (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷  
 (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、検索、レポート作成  
 (最終授業) 確認試験の実施
- (後学期) (1・2) 授業オリエンテーション、基本ソフトの基礎 (3) Active Mail を用いたメールの送受信・パスワードの変更  
 (4) ワープロソフトによる文書作成、レポート作成・保存・印刷  
 (5～6) インターネットの活用 (電子メール、WWW サービス)  
 (7～8) 表計算ソフトの基本  
 (9～10) 表計算ソフトの応用  
 (11～12) ホームページの作成  
 (最終授業) 確認試験の実施

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートの提出、授業最終回で行う実技試験によって行います。ただし、本年度入学生の成績の評価方法は、GPA 制度に基づきます。

教科書

未定。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

実習のために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。毎時間ごとに授業レジュメなどのプリントを配布します。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎

## 講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

## 講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールや WWW などのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

## 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

## 成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

## 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

## その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎（５） [コンピュータの実際]	さわ ぐち たかし 澤 口 隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。



科 目 名	担 当 者 名
コンピュータ基礎 (10) 〔コンピュータの実際〕	まわ ぐち なる 澤 口 隆

講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上。

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (11) [コンピュータの実際]	元木光雄 <small>もと き みつ お</small>

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述する HTML の基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

- 8 / 1 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作
- 8 / 2, 3 インターネットの原理と実際の利用
- 8 / 4, 7 論理的構造を持った文書の HTML による記述

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日の1～3限

予備日：8月8日の1～3限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕	まかのい かずよ 坂野井 和代

## 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールや WWW といったサービスを、実習を通じて理解する。

## 講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールや WWW などのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

## 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習で作業をしながら進むので、講義は必ず出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで、1回以上休むことが当初から予想される学生は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

## 成績評価の方法

評価は2～3回程度の課題によって行う。

## 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

## 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

## その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限  
予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (13) 〔コンピュータの実際〕	やまもとひろのぶ 山本博信

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
  - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
  - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。  
 授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限  
 予備日：8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (14) [コンピュータの実際]	なが さか ひろ しみ 長 坂 浩 史

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

総合情報センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は假定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目は MO ディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っよい。  
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。  
授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限  
予備日：8月8日の1～3時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (15) (16) 〔コンピュータの実際〕	おがわ けんじろう 小川 健次郎

講義のねらい	インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。
講義の内容・授業スケジュール	多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。 なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。
成績評価の方法	評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。
教科書	必要に応じて適宜指定する予定である。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程：(15) 8月1日～8月4日・8月7日、1～3時限 : (16) 8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：(15) 8月8日の1～3時限 : (16) 8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (17) 〔コンピュータの実際〕	つかもと たつや 塚本 達也

講義のねらい	学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。
履修上の留意点	教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。
成績評価の方法	レポートにより行う。
その他	授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限 予備日：8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (18) 〔コンピュータの実際〕	小 沢 誠

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。  
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

㈱シーズ著『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』定価1,659円

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。  
授業日程：8月1日～8月4日・8月7日、4～6時限  
予備日：8月8日の4～6時限

科目名	担当者名
コンピュータ基礎 (19) (20) 〔コンピュータの実際〕	さかのい かずよ 代 坂野井 和 代

## 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

## 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

## 成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

## 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

## 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

## その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。



科目名	担当者名
コンピュータ応用 (1) (2) 〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代

## 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

## 履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで 3 回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

## 成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

## 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

## 参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円  
ISBN4-88135-718-2

## その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名
人類学 (1) (2) 〔人類の進化〕	篠田 謙一

## 講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ 1 回ないし 2 回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。  
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

## 履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

## 成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

## 教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN 4-06-258318-6

## 参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

## その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名
心理学〔人間関係を考える〕	たか 高 はし 橋 よし 良 ひろ 博

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。  
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。  
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

科目名	担当者名
心理学〔心を科学する〕	<small>ふか</small> <small>ぼり</small> <small>とも</small> <small>なり</small> 深 堀 友 覚

講義のねらい	身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。 本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。
講義の内容・授業スケジュール	パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。
履修上の留意点	短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。
成績評価の方法	講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。
教科書	特に指定しない。
参考書等	重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社) 1994年 中村昭二『心理学概説』(八千代出版) 1982年
その他	授業日程：8月1日～8月8日、1～5時限(土、日除く)

科 目 名	担 当 者 名
総合 I (1) [仏教と自然]	よつや こう どう 四津谷 孝 道

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解  
 インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解  
 肉食と菜食主義（概観）  
 ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義  
 祭式にみる肉食思想と菜食主義  
 バラモン教にみる肉食思想と菜食主義  
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）  
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）  
 インドの法典に示された肉食と菜食主義  
 パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義  
 三種浄肉（1）  
 三種浄肉（2）  
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）  
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）  
 植物は生き物か（1）  
 植物は生き物か（2）  
 大乘仏教における非肉食思想（1）  
 大乘経典における非肉食思想（2）  
 如来蔵・仏性思想と非肉食思想  
 慈悲と菜食主義  
 宮沢賢治（1）  
 宮沢賢治（2）  
 聖なる牛と不浄なる豚  
 ディープ・エコロジー（1）  
 ディープ・エコロジー（2）

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

授業において適宜に配付する。

参 考 書 等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名
総合 I (2) [仏教と社会]	くまもと えい にん 熊本英人

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p>社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。</p> <p>仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。</p>
成績評価の方法	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
総合 I (3) [仏教と芸術]	むらまつ てつ ぶん 村松哲文

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	<p>〔前期〕</p> <p>仏教美術の世界 (1~2)</p> <p>インドの仏教美術 (3~5)</p> <p>西域の仏教美術 (6~8)</p> <p>初期の敦煌石窟 (9~11)</p> <p>後期の敦煌石窟 (12~15)</p> <p>〔後期〕</p> <p>炳靈寺石窟 (16~17)</p> <p>麦積山石窟 (18~20)</p> <p>雲岡石窟 (21~23)</p> <p>龍門石窟 (24~27)</p> <p>朝鮮三国の仏教美術 (28~30)</p> <p>以上は予定で、講義の合間に特定の意匠 (仏像の胸飾・宝冠・袈裟など) についても考察する。</p>
履修上の留意点	博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
成績評価の方法	出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	講義中に適宜参考書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅲ（１）〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university - level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. An exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名
総合Ⅲ（２）〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としちろう</small>

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名
総合Ⅲ（３）〔ドイツの森林〕	野島 利彰 <small>の じま とし あき</small>

講義のねらい

私たちはドイツ語のWald（ヴァルト）を「森」と訳している。樹木が多数ある場所としてはその訳で間違っていない。しかしそれらの語からイメージされるものはまったく異なっている。自然の違いが樹種の違いを生み、樹種の違いがその利用の違い、さらに生活の違いを生む。この講義ではドイツの森でどのように利用され、そこでどのような生活が行なわれているかを話します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツの森林とその樹種およびその利用について講義し、後期は森林を舞台に行なわれる狩猟について講義します。

履修上の留意点

講義でいろいろな樹木の名が出ます。日本の樹木あるいは動植物の名を知っていることが授業の理解に役立つでしょう。通学路や公園で図鑑を手にして名を調べましょう。また新聞や雑誌で植物や動物関係の記事、あるいは環境問題の記事があつたら必ず目を通し、切り抜き、ファイルを作って下さい。普段から動植物や環境問題に興味を持つことが大切です。

成績評価の方法

樹木の葉とそのスケッチの提出および日本の森林利用や環境問題に関するレポートで成績を評価します。

教科書

授業で内容に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義に直接関係する参考書は  
K・ハーゼル著、山縣光晶訳『森が語るドイツの歴史』（築地書館）4,223円

その他

森林理解の第一歩として日本の植物図鑑があります。現在、多種多様な図鑑が出版されています。手に取り気に入ったものを是非一冊購入して下さい。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（１）〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 あきと 明人

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名
総合Ⅳ（２）〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむら 西村 ゆうこ 祐子

講義のねらい

アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市の自治体とNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。  
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
 コミュニティ・ビルディングとNPO  
 シアトルのまちづくり  
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO  
 アメリカにおける移民とNPO  
 自治体とNPOの協働について：日本との比較  
 神戸市の事例  
 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較  
 日本のまちづくり政策とNPO  
 世田谷区のまちづくりとNPO  
 まちづくり協議会とNPO  
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO  
 日本における移民政策とNPO 神奈川県下のNPO, MIC かながわとすまいサポートセンターの事例研究

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）

参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど）

その他

ゲストレクチャラーとして後期に世田谷区まちづくりセンター所長、およびMICかながわ所属医療通訳者を2回程度予定している。この授業と2002年制作ビデオをもとにe-learningの教材制作を予定している。



科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅳ（３）〔ポスト・モダンの世界〕	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の合理性批判とその主体性の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は、建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。欧米では依然としてポストモダンを問題としており、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）することあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（他者の他者）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、日常生における主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、時事的な問題を取り上げ、また事前にテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読む課題もあります。講義の骨子は以下の通りです。講義と課題が有機的にリンクするように指示していきます。

- 1) 総合Ⅳ（人文・社会・自然）の性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックス
- 3) 「モダン」と「ポストモダン」の定義
- 4) ルネッサンス以後の人間観、宇宙観、社会観の変化
- 5) ソシユールの言語観（言語の恣意性、ラングとパロール）と、テキストの遍在性とディスコースの効用
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の差異：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など
- 7) 西洋における理性批判の整理
  - ・モダン：ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス
  - ・ポストモダンの批判的源泉としてのニーチェの思想、ハイデガー、フランクフルト学派、
- 8) マックス・ヴェーバーの合理性と非合理性理の問題（ポストモダンに向けて）
- 9) ミッシェル・フーコーによるモダン批判：外部の力と内部の力
- 10) アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判
- 11) レビュー：ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題

成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

教 科 書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

科目名	担当者名
総合Ⅴ（１）〔イギリスの歴史と文化〕	石原孝哉 <small>いしはらこうさい</small>

講義のねらい	今日のイギリスに残された歴史的、文化的な遺産を教材に、その歴史と文化の特徴を様々な方面から考察する。
講義の内容・授業スケジュール	イギリスの歴史は、異民族との相克と調和によって織り成されている。例えば、ローマ、アングロサクソン、デーン、ノルマンといった異民族は、単に一時代を政治的に支配したばかりでなく、言語、習慣、伝統といった様々な文化的な遺産をもたらした。歴史の国イギリスには、このような文化的な遺産が実に豊富に残されている。 本講義では、こうした文化的な遺産を補助教材として、そこからイギリスの実像に迫ってみたい。スライドや映像などを活用するほか、インターネット上のホームページも参照する。
履修上の留意点	イギリスの歴史や文化に関心がある意欲的な学生の受講を望む。インターネットの活用や、メールによるレポート提出なども予定しているため、それに対応できる学生が望ましい。
成績評価の方法	主としてレポートによって評価するが、出席率、発表などの平常点を重視する。
教科書	プリント配布
参考書等	そのつど教場にて指示する。

科目名	担当者名
総合Ⅵ（１）〔民族とは何か〕	大野祐二 <small>おおのゆうじ</small>

講義のねらい	この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。
履修上の留意点	講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。
成績評価の方法	前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。
教科書	詳細については授業中にプリントで伝える予定です。
参考書等	原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科 目 名	担 当 者 名
総合Ⅵ（２）〔イスラム〕	あおやぎ 青柳 かおる

**講義のねらい** 現代の国際社会における平和的共存、異文化理解、宗教間対話といった諸問題を考える上で、13億人以上の信徒を持ち、世界中に広がっているイスラムに関する正しく客観的な理解は必要不可欠です。この講義では、イスラムの宗教的側面、思想について理解を深めることを目標とします。イスラムと関わりの深い中東の歴史、政治、思想について基本的知識を持つことも目標です。

**講義の内容・授業スケジュール** 以下の内容の予定ですが、若干変更する場合があります。

前期  
 イスラムに関する文献紹介  
 イスラム以前のジャーヒリーヤ時代  
 預言者ムハンマドの生涯  
 イスラムの教義（六信五行とイスラム神学）  
 コーランとアラビア語  
 メッカ大巡礼  
 イスラム法  
 イスラム世界のギリシア文明（イスラム哲学）

後期  
 スーフィズム（イスラム神秘主義）  
 シーア派とイランの歴史  
 イスラムにおける婚姻、女性、セクシュアリティ  
 中東の民族と宗教  
 聖地エルサレム  
 パレスチナ問題  
 イスラム原理主義運動

**履修上の留意点** 私語厳禁です。

**成績評価の方法** 期末試験（またはレポート）、出欠を兼ねた講義中の提出物、ビデオの感想文などにより、総合的に評価します。試験（またはレポート）ではイスラムに関して興味のあるテーマを自分で決め、参考文献を読み、調べて明らかになったことに対して、自分の見解を書いていただく予定です。

**教科書** 使用しません。

**参考書等** 中村廣治郎『イスラム教入門』（岩波書店 岩波新書538）1998年  
 中村廣治郎『イスラムと近代』（岩波書店 叢書現代の宗教13）1997年  
 青柳かおる『イスラムの世界観：ガザリーとラーズイー』（明石書店）2005年など。  
 詳しくは、第一回目の講義で文献リストを配布します。

**その他** 講義形式ですが、なるべく皆さんとの対話に努めたいと思っています。教材はプリントを配布します。数回ビデオを上映します。

科目名	担当者名
総合Ⅵ（３）〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？  
フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー  
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

- c. 家族とジェンダー  
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー  
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

資料を随時配布する。

その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	担当者名												
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	<table border="0"> <tr> <td>たかはし 高橋</td> <td>ひろき 洋城</td> <td>かわぐち 川口</td> <td>ゆきみ 幸美</td> </tr> <tr> <td>たけなか 竹中</td> <td>ちか 智香</td> <td>はらだ 原田</td> <td>けいちろう 啓一郎</td> </tr> <tr> <td>ひかさ 日笠</td> <td>かんじ 完治</td> <td>まつむら 松村</td> <td>いたる 格</td> </tr> </table>	たかはし 高橋	ひろき 洋城	かわぐち 川口	ゆきみ 幸美	たけなか 竹中	ちか 智香	はらだ 原田	けいちろう 啓一郎	ひかさ 日笠	かんじ 完治	まつむら 松村	いたる 格
たかはし 高橋	ひろき 洋城	かわぐち 川口	ゆきみ 幸美										
たけなか 竹中	ちか 智香	はらだ 原田	けいちろう 啓一郎										
ひかさ 日笠	かんじ 完治	まつむら 松村	いたる 格										

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城      トラブルが法の問題になるとき
- 2 松村 格        刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香      変化する市民生活と民法
- 4 川口 幸美      現代社会と商法
- 5 日笠 完治      トラブルを憲法的観点から考える
- 6 原田啓一郎    大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名
総合Ⅶ（２）〔都市論〕	<small>うちうみ まり うえの じゆんこ</small> 内海 麻利・上野 淳子 <small>うらた さきえ さかい あや</small> 浦田 早苗・坂井 文 <small>はやかわ よしき</small> 早川 純貴

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々6回又は4回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：4月・5月）  
 都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にもなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

上野淳子「都市再開発の論理と仕組み」（6回：6月・7月）  
 本講義では、汐留や六本木など都内各地で進行する「都市再生」プロジェクトを題材に、都市再開発を支える論理と仕組みを（1）欲望や競争をあおる言説、（2）グローバル化、産業構造の転換という社会的背景、（3）官民協働、都市経営の思想など行政の変化という3点から考える。

内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）  
 都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）  
 いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：11月・12月）  
 イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

教養教育

### 3. 外国語科目



外国語

### 3. 外国語科目

#### 《再履修クラス》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語Ⅰ〔再クラス〕	短英2年	通年	2	丸小哲雄	99
ドイツ語Ⅰ〔再クラス〕	短英2年	通年	2	南はるつ	100
フランス語Ⅰ〔再クラス〕	短英2年	通年	2	谷川かおる	101
中国語Ⅰ〔再クラス〕	短英2年	通年	2	蘭明	102
スペイン語Ⅰ〔再クラス〕	短英2年	通年	2	佐藤麻里乃	103

#### 《選択科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	短国・短英1・2選	通年	4	林明人	104
英文講読	短国・短英1・2選	通年	4	矢島直子	104
英文講読	短国・短英1・2選	通年	4	牧野輝良	104
時事英語研究	短国・短英1・2選	通年	4	竹村恵都子	105
時事英語研究	短国・短英1・2選	通年	4	林明人	105
時事英語研究	短国・短英1・2選	通年	4	岸本茂和	105
時事英語研究	短国・短英1・2選	通年	4	田中保	106
時事英語研究	短国・短英1・2選	通年	4	矢島直子	106
マルチ・メディア	短国・短英1・2選	通年	2	落合和昭	107
マルチ・メディア	短国・短英1・2選	通年	2	大庭直樹	108
マルチ・メディア	短国・短英1・2選	通年	2	西村祐子	108
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ロビン, G. F.	109
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ウェルズ, J. K.	110
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	111
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	レーン, C. M.	112
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ピアス, D. M.	113
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ササキ, M.	114
英会話Ⅰ	短国・短英1・2選	通年	2	ラッセル, S. J.	114
英会話Ⅱ	短国・短英2選	通年	2	ソルタ, P. N. F.	115
英会話Ⅱ	短国・短英2選	通年	2	ラッセル, S. J.	116
英会話Ⅱ	短国・短英2選	通年	2	ササキ, M.	117
英会話Ⅲ	短国・短英2選	通年	2	ウェルズ, J. K.	118
英会話Ⅲ	短国・短英2選	通年	2	ピアス, D. M.	119
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	甲斐捷子	120
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	搞美智子	121
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	西村祐子	121
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	加藤佐和子	122
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	太田雅子	122
英語LLⅠ	短国・短英1・2選	通年	2	久保ひさ子	122
英語LLⅡ	短国・短英2選	通年	2	太田雅子	123
英語LLⅡ	短国・短英2選	通年	2	外池一子	123
英語LLⅡ	短国・短英2選	通年	2	西村祐子	124
英語LLⅢ	短国・短英2選	通年	2	レーン, C. M.	125

外国語

英語 L L III	短国・短英 2 選	通年	2	西村祐子	126
英語 L L III	短国・短英 2 選	通年	2	久保ひさ子	126
英語 II	短国 2 選	通年	2	伊藤幸一	127
英語 II	短英 2 選	通年	2	矢島直子	127
ドイツ語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	薮下紘一	127
ドイツ語 I B (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	野島利彰	128
ドイツ語 II (選)	短国・短英 2 選	通年	2	井村行子	128
フランス語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	出口雅敏	129
フランス語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	前田祝一	129
フランス語 I B (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	菅原猛	129
フランス語 II (選)	短国・短英 2 選	通年	2	桑田禮彰	130
中国語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	吉田建一郎	130
中国語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	宮本厚子	131
中国語 I B (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	蘭明	131
中国語 II (選)	短国・短英 2 選	通年	2	三田村圭子	131
スペイン語 I A (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	亀山晃一	132
スペイン語 I B (選)	短国・短英 1・2 選	通年	2	ナバロ, ホワン J.	132
スペイン語 II (選)	短国・短英 2 選	通年	2	荻野雅司	132
ロシア語 I A (選)	短国 1・2 選	通年	2	クロチコフ, Y.	133
ロシア語 I B (選)	短国 1・2 選	通年	2	木村英明	133

# 《再履修クラス》

〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名
英語 I〔再クラス〕	丸 小 哲 雄

外国語

## 講義のねらい

広告の読みと理論。広告なくして、資本主義は生き延びることはできない。商品に夢を与え、不快なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き替えに広告は、世界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠します。広告は人々の欲望を管理しているので、消費者として解放される必要性から喪失した主体性の復権のための広告論を扱います。

## 講義の内容・授業スケジュール

英文法は総理解として、リーディングによって読込みと思考を促進し、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

## 履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

## 成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

## 教 科 書

*Decoding Advertisements* (英宝社)  
*A Complete College English Program Book 3* (金星堂)  
ISBN4-7646-3813-9

## 参 考 書 等

随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

## [ドイツ語]

科目名

担当者名

ドイツ語 I (再クラス)

みなみ  
南 はるつ

外国語

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞  
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、  
出席状況を総合して評価します。

教科書

南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2,300円

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

## 〔フランス語〕

科目名	担当者名
フランス語 I〔再クラス〕	谷川 かおる

### 講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

### 履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

### 成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

### 教科書

田辺 他『サリュ！』（駿河台出版社）2,650円、CD付

### 参考書等

授業中に紹介する。

### その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

## 〔中国語〕

科目名

担当者名

中国語 I〔再クラス〕

蘭 明

外国語

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一カ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 1』（朝日出版社）2,835円

## 〔スペイン語〕

科目名	担当者名
スペイン語 I〔再クラス〕	佐藤 麻里乃

外国語

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
履修上の留意点	教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。
成績評価の方法	試験は行わず、毎回の授業で行う課題により評価する（このため出席は必須である）
教科書	アルマラス他『プラサ・マヨールエ』（朝日出版社）
参考書等	『和西辞典』（出版社は不問）



## 《選択科目》

科目名	担当者名
英文講読	はやし 林 あき 明 と 人

外国語

講義の内容・授業スケジュール	現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。
成績評価の方法	試験、発表、レポート、出席の総合評価。
教科書	教員が作成したものを 사용합니다。

科目名	担当者名
英文講読	や 矢 じま 島 なほ 直 こ 子

講義のねらい	イギリス現代演劇を読んで、生きた英語に親しみ、作品を理解すること。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの意味を取り、内容を把握してもらいたいです。くだけた英語に慣れて下さい。戯曲の場合は、想像力をたくましくして読む必要があります。1年間で1冊読み終えたいですが、進度は参加者次第になるでしょう。
履修上の留意点	どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分ってから、授業にのぞんで下さい。
成績評価の方法	日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。
教科書	Laura Wada『 <i>Breathing Corpses</i> 』(Oberon Books) 2,550円(税別)

科目名	担当者名
英文講読	まき の あき 野 てる 輝 よし 良

講義のねらい	英語の長文の内容理解に努める。
講義の内容・授業スケジュール	英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。
履修上の留意点	テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。
教科書	『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

科目名	担当者名
時事英語研究	竹村恵都子

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

後日確定しだいお知らせいたします。

外国語

科目名	担当者名
時事英語研究	林 明人

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

*Sanseido's Dictionary of News English* (三省堂)

科目名	担当者名
時事英語研究	岸本茂和

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism” (人種差別主義)・“sexism” (性差別主義)・“political correctness” (政治的妥当性)・“multiculturalism” (多文化主義) などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の熟語等は随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあいは「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』(朝日出版社) 本体1,359円+税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名
時事英語研究	田中保

講義のねらい	The International Herald Tribune, The New York Times, AP 通信社、AFP 通信社、BBC News, VOA News 等のニュースをベースにしたテキストを使用して、時事英語を理解するとともに、時事的な基本用語やニュース英語の語学的特質の理解を深めていくことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	各章の本文読解と Vocabulary Buildup を中心に授業を進めていきますが、時間があるときは、ニュース類出用語を用いて、実際に英文表現の演習も取り入れて行きます。毎授業1章は進みます。発表形式で授業を行ないますので、予習をしてくること。
履修上の留意点	必ず下読みをして、不明な箇所を重点的に授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、出席状況等で総合的に検討して評価します。
教科書	『時事英語の総合演習—2006年度版—』(English for Mass Communication, 2006 edition) (朝日出版社) 1,500円 ISBN4-255-15427-9 C1082

科目名	担当者名
時事英語研究	矢島直子

講義のねらい	Newsweek の英文を読んで、読解力をつけてもらいたいです。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの意味を読み取ってもらい、世界情勢を知ること。教科書は前期くらいで読み終え、後半はプリントか別の教科書で、新聞記事を読んでもらいます。
履修上の留意点	どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。
成績評価の方法	日常点と、前期末・後期末試験の結果とを、総合して評価します。
教科書	『「ニューズウィーク」で読む日本と世界』(南雲堂) 1,600円 ISBN4-523-17499-7

**科 目 名**

マルチ・メディア

**担 当 者 名**落 合 和 昭  
おち あい かず あま

外国語

**講義のねらい**

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール**

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする（一人の場合と、対話形式の場合がある）。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

**履修上の留意点**

このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れない教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

**成績評価の方法**

定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

**教 科 書**

- 1) 『映画総合教材 トゥルーマン・ショー』（松柏社）2,100円  
ISBN4-88198-569-8 C3082
- 2) 『基本動詞で始める初級会話英作文』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円  
ISBN4-7773-6037 C3082
- 3) 『決まり文句書取練習帳』（鶴見書店）800円

科目名	担当者名
マルチ・メディア	大庭直樹

外国語

講義のねらい	<p>このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。</p> <p>第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。</p> <p>第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。</p> <p>第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。</p> <p>第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。</p>
履修上の留意点	<p>受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。</p>
成績評価の方法	<p>試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。</p>
その他	<p>受講生は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。</p>

科目名	担当者名
マルチ・メディア	西村 祐子

講義のねらい	<p>英語によるプレゼンテーション映像を制作しコンピュータ編集をするクラス。英語で演技、それを映像で確認することによるプレゼンテーション能力の強化をめざす。映像企画・構成・脚本・絵コンテ、ビデオ撮影の実習、コンピュータ編集によるビデオ作品完成までの全工程を学ぶ。映像制作およびウェブによる映像配信の実態も学習できる。前期後期でそれぞれ2作品の制作を目指す。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>以下の手順で前期後期それぞれ1作づつを共同制作する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常生活を題材に英語会話スキットの脚本をつくる。脚本に必要な絵コンテを書く。(コンピュータ使用)。</li> <li>2. 配役を決め、スキットを練習。カメラ撮影・音声収録指導あり。</li> <li>3. ディレクター、アシスタントディレクター、音声係などを決める。</li> <li>4. 撮影基礎学習、ドライ撮影</li> <li>5. 撮影(学外撮影含む)</li> <li>6. ビデオ編集、完成</li> <li>7. 上映会</li> </ol>
履修上の留意点	<p>受講人数制限あり。</p>
成績評価の方法	<p>平常点(出席点、提出物など)で評価。定期試験は行わない。</p>
教科書	<p>教場にて指定。</p>
参考書等	<p>2005年度マルチメディアクラス制作の英語ビデオ「Feelings and Emotions」(ウェブにて鑑賞の予定)</p>
その他	<p>学外撮影あり。アドビ・プレミア(編集ソフト)を使用。カメラ・三脚マイクその他撮影機材および編集施設は総合情報センターより提供されるが、個人でミニDVカメラなどがあれば便利。</p>

# 英 会 話 I

## 〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー550点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

### 講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

### 講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

### 成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

### 教 科 書

Warren Wilson, Roger Bernard *FIFTY - FIFTY: Student book 1* (Longman)  
ISBN0 - 13 - 920000 - 2

科目名

担当者名

英会話 I

ウェルズ, J. K.

外国語

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

## 講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

## 講義の内容・授業スケジュール

Twelve units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1 : Introductions / Classroom Language
- Unit 2 : Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3 : Locations / Telephoning (1)
- Unit 5 : There is ... There are ... / Quantities
- Unit 6 : Have ... , Want ... , Would like ... , / Shopping (1)
- Unit 7 : Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9 : Present Continuous / Telephoning (2)
- Unit10 : Fashion / Shopping (2)
- Unit12 : Present Simple / Occupations
- Unit13 : Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit14 : Transportation / Work & School
- Unit15 : The Present Tenses / Frequency

## 履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

## 成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

## 教科書

David Paul / *Communicate: book 1 a* / Macmillan Language House, ¥1,230  
ISBN0-435-26119-3



科目名

担当者名

英会話 I

レーン, C. M.

外国語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills, thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・  
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance  
25% Journal  
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students  
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

講義の内容・  
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

## 履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

## 成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting.

## 教科書

We will probably use Sociological Notes, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

## その他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

---

---

**科目名****担当者名****英会話 I**

ササキ, M.

外国語

## 講義のねらい

The goal of this course is for students to obtain the social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English. Social skills include how to express an opinion based on knowledge obtained from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

## 講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis. They will also be expected to give oral presentations based on thorough research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. The textbook will cover practical conversation skills needed for travel.

## 履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

## 成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

## 教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Language house  
教科書と英・英和辞典をいつも持参すること。

---

---

**科目名****担当者名****英会話 I**

ラッセル, S. J.

## 講義のねらい

English Conversation I is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

## 講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

## 履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

## 成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

## 教科書

*Fifty-Fifty Book 1* ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

# 英 会 話 II

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー650点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科目名	担当者名
英会話Ⅱ	ソルタ, P. N. F.

### 講義のねらい

English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

### 講義の内容・ 授業スケジュール

A textbook with 12 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are :

- Unit 1 : Personal information / Talking about likes and dislikes
- Unit 2 : Friends & Friendship / Personal experiences
- Unit 3 : Romantic relationships / Dating
- Unit 4 : Shopping
- Unit 5 : Summer vacations / Domestic & Foreign Travel ( 1 )
- Unit 6 : Jobs / Job Interviews
- Unit 7 : Opinions / Reasons for opinions
- Unit 8 : Music / Pop Groups
- Unit 9 : Personality / Strengths & Weaknesses
- Unit10 : Money & Budgets / Prices & Numbers
- Unit11 : Responses in various Situations / Stories
- Unit12 : Plans for the Future

### 履修上の留意点

Students must have passed English Conversation I, and they must be willing to take a class in which all teaching will be done in English only, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

### 成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attitude in class and class performance throughout the year (40%). End-of-term exams will normally be one-to-one interviews with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Dale Fuller & Corey Fuller 『*Face To Face : English for Today's Generation*』 Student's Book  
1 (Macmillan LanguageHouse) ¥2,100 + tax

外国語

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ラッセル, S. J.

講義のねらい

English Conversation II is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

*Within Your Reach : Keys to Conversation* (NAN'UN-DO)  
ISBN4-523-17444-X C0082

科目名

担当者名

英会話Ⅱ

ササキ, M.

講義のねらい

The goal of this course is for students to advance their social skills and academic knowledge necessary to hold intelligent conversations in English in order to develop friendly relations with native English speakers. They should already have the maturity and social skills necessary to express intelligent opinions based on what they obtain from watching the news, reading the newspaper, and searching for information on the Internet.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will be expected to explain in English "what happened in the news" on a weekly basis in great detail. They will also be expected to give sophisticated oral presentations based on excellent research. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation, tone, loudness, and speed. Students will be encouraged to develop their English accents. The textbook will cover practical conversation skills needed for home stay and living abroad.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）しないこと（成績評価は「不可」になる）。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

「*Viva! San Francisco*」 published by Macmillan Languagehouse  
教科書と和英・英和辞典をいつも持参すること。

外国語

# 英 会 話 Ⅲ

外国語

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア580点以上、TOEIC®のスコア800点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名

担当者名

英会話Ⅲ

ウェルズ, J. K.

講義のねらい

English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

成績評価の方法

Attendance : 50%  
Tests : 25% (one test each semester)  
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

## 講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

## 講義の内容・授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semiabstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc. in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of your for overseas university study.

## 履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

## 成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary.

## 教科書

Classes proceed closely according to the textbook; it is absolutely required that you bring the textbook to every class meeting.



# 英 語 L L I

## 〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL<sup>®</sup>のスコア450点、TOEIC<sup>®</sup>のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名
英語 L L I	甲斐捷子

### 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは前期の授業開始時に配布します。

### 履修上の留意点

ビデオ、CD のダビングは著作権法上できません。授業時間内の練習で十分です。

### 成績評価の方法

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

### 教科書

Hisako Murakawa 著『*Sounds Right! Sounds Good!*』  
(Macmillan Languagehouse) 2,000円

科目名	担当者名
英語LLI	埴 美智子

外国語

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりを見たり、自分なりに探求する習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text - (金星堂) ¥2,300
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増やす努力をする。

科目名	担当者名
英語LLI	西村 祐子

講義のねらい	基本的な表現をつかっただけで「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：基本的な会話表現を学習。シャドウイングによって短いセンテンスをくりかえし発音し覚える。ペアワークをおこなう。 9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。
教科書	前期は <i>Talk It UP</i> (1) (マクミラン社) 使用。
参考書等	教場で指定する。

科目名	担当者名
英語LLI	加藤 佐和子

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson, 1 Unit ずつ進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English 20』(英進社) 『Tune In to the TOEIC Test』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名
英語LLI	太田 雅子

講義のねらい	授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習します。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねます。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成します。
履修上の留意点	4月第1回目の授業で、授業内容、方法、その他履修上の注意点について説明をするので、必ず出席してください。その時に、自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。
成績評価の方法	毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。
教科書	矢作三蔵『Natural English for Beginner』

科目名	担当者名
英語LLI	久保 ひさ子

講義のねらい	海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

# 英 語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア500点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名
英語 L L II	おお たい まさこ 太 田 雅 子

講義のねらい	テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力の向上をはかります。
履修上の留意点	4月第1回目の授業時に人数制限をしますので、受講希望者は必ず出席してください。その時に授業内容、方法、その他履修上の留意点について詳しく説明します。自分のユーザーIDとパスワードをわかるようにしてきてください。全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しません。
成績評価の方法	毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。
教科書	小野田栄『BBC Understanding the News in English 3』

科目名	担当者名
英語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子

講義のねらい	最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。
履修上の留意点	英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。新聞を毎日読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。また、基本的なコンピューターの操作が出来ることが受講の必須条件です。
成績評価の方法	平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。
教科書	開講時に指示します。
その他	英語LLIを受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生のみが受講対象です。初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。また、コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

科目名

担当者名

英語LLⅡ

にしむら ゆうこ  
西村祐子

外国語

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-750程度。LLⅡにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 1-5まで。  
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。教科書はUnit 6-10までを学習。

履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダのなかに入れる為、受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway Pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)  
使用ビデオ：*Headway Elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および *(pre-intermediate)*、その他。

# 英語 L L III

## 〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア550点以上、TOEIC®のスコア800点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名
英語 L L III	レーン, C. M.

### 講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many "English as a second language" tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

### 講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

### 履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.

2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English every day. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

### 成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

### 教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名
英語LLⅢ	にしむらゆうこ 西村祐子

講義のねらい	レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。 9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返す。ビデオの英語による概略説明も続ける。
履修上の留意点	大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。
成績評価の方法	平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。
教科書	<i>New Headway Upper Intermediate</i> . (Oxford Univ. Press)
その他	少人数クラスなので毎回必ずプレゼンテーションがある。

科目名	担当者名
英語LLⅢ	くぼひさ子 久保ひさ子

講義のねらい	英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを、聞き取り、書きとり、解答し、再生し、反復練習する。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願いします。
成績評価の方法	試験と授業実習の合計点
教科書	World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名
英語Ⅱ	伊藤 幸一

講義のねらい

使用テキストの和名通り、12の世界的に著名な「食べ物・料理の歴史」を平明な英語で学ぶ。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また復習の為に、5月末、夏休み、大学祭後に、計3回、宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の予習、復習、「まとめ」の成果によるが、詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『*Food in History*』（英宝社）

科目名	担当者名
英語Ⅱ	矢島 直子

講義のねらい

英語を聞いて、聞いたものをくり返す練習と書く練習をして、表現力をつけてもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを聞いて意味を理解し、質問に答え、課題を書いてもらいます。1年間で教科書を1冊終える予定です。

履修上の留意点

どんどん当てますから、単語の意味だけでなく、内容も分かってから、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

日常点と、前期末・後期末試験とを、総合的に評価します。原則として、全出席数の3分の1以上欠席すると、受験資格がなくなります。

教科書

James Bean 『*Listen to this !*』 [Intermediate] (成美堂) 2,400円  
ISBN 4 - 7919 - 4579 - 4

科目名	担当者名
ドイツ語ⅠA(選)	数下 紘一

講義のねらい

ドイツ語はドイツ、オーストリアそしてスイスで使われている外に、ハンガリーやユーゴ諸国、ギリシア等でも通じる言語です。外国人でドイツ語を高校・大学で学んでいる数も数百万人以上にのぼっています。皆さんもその一人です。外国の学生とドイツ語で苦勞しながらも、何んとか読めたり書いたり話したりできるようになっていくのです。ドイツ語ⅠA(文法)で苦勞しておくと、あとが楽になります(2年生で)。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

在問『わかって楽しいドイツ語』(三修社) 2,200円+税



科目名

担当者名

ドイツ語ⅠB(選)

野島利彰

外国語

講義のねらい

英語と比べるとヨーロッパの他の言語はみな変化が多く、複雑に見えます。しかしその複雑さは共通しています。その意味で、ドイツ語を学ぶことは同時にヨーロッパ言語を知るきっかけになり、またドイツ文化さらにはEUを知る助けになります。

講義の内容・授業スケジュール

語学の勉強はただ授業を聴いているだけでは分るようになりません。自分で考え、練習して初めて理解できます。必ず予習をして下さい。その予習の結果を見るために練習問題の解答やテキストの訳を皆さんにやってもらいます。なお発音練習の代わりに教科書の最後についている動詞変化表を使い、同時に動詞の変化を覚えます。

履修上の留意点

CD付き教科書を使いますので、自宅で十分聞き、発音練習をして置いて下さい。言葉を学ぶことはまず真似ることです。テキストの音読を順番で指名します。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行う予定です。ヒアリングテスト、動詞変化テスト、定期試験(筆記試験)の成績が評価の基準になります。

教科書

大谷弘道著「新・問いかけるドイツ語」(三修社) 2,600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書ではなく、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名

担当者名

ドイツ語Ⅱ(選)

井村行子

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

全部で10課からなるテキストで、最初の3課は去年の復習なので、前期に第5課まで、後期に第10課まで進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog—ステップアップ版』(郁文堂)

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	出口 雅敏

講義のねらい	この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかり身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。
履修上の留意点	辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。
成績評価の方法	前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。
教科書	斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名
フランス語 I A (選)	前田 祝一

講義のねらい	フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ねで、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。
履修上の留意点	したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。
成績評価の方法	平常点とします。
教科書	内藤・玉田著『フランス語へのパスポート（改訂版）』（白水社）1,800円

科目名	担当者名
フランス語 I B (選)	菅原 猛

講義のねらい	英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	阿南婦美代『新アン・マルシュー フランス語初級 文法と会話』（駿河台出版社）2,730円

**科目名****担当者名**

フランス語Ⅱ(選)

桑田禮彰

外国語

**講義のねらい**

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

**講義の内容・授業スケジュール**

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

**履修上の留意点**

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

**成績評価の方法**

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

**教科書**

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2006』（朝日出版社）本体1,900円+税

**参考書等**

そのつど授業で指示します。

**科目名****担当者名**

中国語ⅠA(選)

吉田建一郎

**講義のねらい**

中国語の基本的な発音、語彙、文法をしっかりと身につける。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期は、中国式ローマ字表記（ピンイン）の読み方を集中的に練習した上で、基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について理解を深めていく。後期は、前期の復習を行いつつ、引き続き基本的な会話を題材として、発音、語彙、文法について練習を積んでいく。

**履修上の留意点**

しっかりと声を出して発音練習をするように心がけましょう。授業中は携帯電話の電源を切ってください。

**成績評価の方法**

出席、授業時の態度、宿題、小テスト、学期末テストをもとに総合的に判断する。

**教科書**

陳淑梅・蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名
中国語ⅠA(選)	宮本厚子

講義のねらい	中国語の基礎を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り(小テスト)を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。また、練習問題を配布するので、自習し提出するのが望ましい。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験(前後期末試験を含む)と平常点(暗誦・小テストを含む)で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名
中国語ⅠB(選)	蘭 明

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』(朝日出版社)2,835円

科目名	担当者名
中国語Ⅱ(選)	三田村圭子

講義のねらい	基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。 ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。
成績評価の方法	前・後期の間中期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。
教科書	遠藤光暁著『話す中国語 北京篇2』(朝日出版社)2,625円
その他	教科書名に十分注意して購入すること。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠA(選)	亀山晃一

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名
スペイン語ⅠB(選)	ナバロ、ホワンJ.

講義のねらい	スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン・J・ナバーロ『 <i>Español dinámico</i> 』(印刷中)

科目名	担当者名
スペイン語Ⅱ(選)	荻野雅司

講義のねらい	スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
履修上の留意点	言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
成績評価の方法	成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
教科書	佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(弘学舎)

科目名	担当者名
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名
ロシア語 I B (選)	木村英明

講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思っています。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

外国語

## 4. 保 健 体 育 科 目



# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育

## 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅱ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日					
1 時限										
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用	牧	前期・応用		
		バドミントン		ミニサッカー※		卓 球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用	野	後期・応用	野	後期・応用		
		バドミントン		ミニサッカー※		卓 球		バスケットボール		
3 時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	田	前期・基礎	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		フットサル		卓 球		バスケットボール
	濱	後期・応用	石	後期・基礎	中	後期・基礎	野	後期・基礎	野	後期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		フットサル		卓 球		バスケットボール
4 時限	大	前期・応用		鈴	木	前期・基礎	鈴	前期・応用	木	
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン		
	後期・応用	後期・基礎				後期・応用				
	簡化太極拳※	室内球技				バドミントン				

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

## 4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	短英2年	通年	2	秋田浩一	139
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	短英2年	通年	2	田中佳孝	140
健康・スポーツ実習(トレーニング) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	秋田浩一	141
健康・スポーツ実習(ソフトボール) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	下谷内勝利 高橋俊介	142
健康・スポーツ実習(卓球) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	下谷内勝利 山口良博	143
健康・スポーツ実習(バドミントン) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	牧野茂	144
健康・スポーツ実習(室内球技) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	鈴木淳平	145
健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳) 〔再クラス〕	短国・短英2年	集中授業	2	光永吉輝	146
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	短国・短英1選	半期	1	大石武士	147
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バドミントン)	短国・短英1選	半期	1	長濱友雄	148
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バドミントン)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(室内球技)	短国・短英1選	半期	1	鈴木淳平	148
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(室内球技)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(卓球)	短国・短英1選	半期	1	牧野茂	149
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(卓球)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(バスケットボール)	短国・短英1選	半期	1	牧野茂	150
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(バスケットボール)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/基礎(フットサル)	短国・短英1選	半期	1	田中佳孝	150
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/基礎(フットサル)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(簡化太極拳)	短国・短英1選	半期	1	大石武士	151
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(簡化太極拳)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(ミニサッカー)	短国・短英1選	半期	1	大石武士	151
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(ミニサッカー)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	短国・短英1選	半期	1	鈴木淳平	152
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バドミントン)	短国・短英1選	半期	1	長濱友雄	153
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バドミントン)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(卓球)	短国・短英1選	半期	1	牧野茂	154
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(卓球)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期/応用(バスケットボール)	短国・短英1選	半期	1	牧野茂	154
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期/応用(バスケットボール)	短国・短英2選				
生涯スポーツ実習(テニス) (集中前期・基礎/応用)	短国・短英1・2選	集中授業	1	江口淳一	155

生涯スポーツ実習（テニス） （集中後期・基礎／応用）	短国・短英 1・2 選	集中授業	1	江口淳一	156
生涯スポーツ実習（ゴルフ） （集中後期・基礎／応用）	短国・短英 1・2 選	集中授業	1	三幣晴三	157
生涯スポーツ演習Ⅰ（ゴルフ） （シーズン基礎／応用）	短国・短英 1・2 選	シーズン	2	館岡儀秋 他	158
生涯スポーツ演習Ⅱ（スキー・スノーボード） （シーズン基礎／応用）	短国・短英 1・2 選	シーズン	2	江口淳一 他	160

## 講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

## 【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明  
 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)  
 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)  
 4 時限目：〃(シングルスゲーム)  
 5 時限目：〃(シングルスゲーム)  
 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)  
 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)  
 8 時限目：〃(まとめと評価)  
 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)  
 10時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)  
 11時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)  
 12時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)  
 13時限目：〃(ダブルスゲーム)  
 14時限目：〃(ダブルスゲーム)  
 15時限目：〃(まとめと評価)

## 【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明  
 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)  
 3 時限目：〃(アタックとブロッキングの技術、ルール解説)  
 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)  
 5 時限目：〃(ゲーム)  
 6 時限目：〃(ゲーム)  
 7 時限目：〃(ゲーム)  
 8 時限目：〃(まとめと評価)  
 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)  
 10時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)  
 11時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)  
 12時限目：〃(ゲーム)  
 13時限目：〃(ゲーム)  
 14時限目：〃(ゲーム)  
 15時限目：〃(まとめと評価)

## 履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

## 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

## その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10時限目：〃 (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11時限目：〃 (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12時限目：〃 (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13時限目：〃 (ゲーム)
- 14時限目：〃 (ゲーム)
- 15時限目：〃 (ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃 (ゲーム)
- 6 時限目：〃 (ゲーム)
- 7 時限目：〃 (ゲーム)
- 8 時限目：〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目：〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目：〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目：〃 (ゲーム)
- 13時限目：〃 (ゲーム)
- 14時限目：〃 (ゲーム)
- 15時限目：〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

**科 目 名****担 当 者 名**健康・スポーツ実習(トレーニング)  
〔再クラス〕

あき 秋 た 田 こう 浩 いち 一

**講義のねらい**

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定  
 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定  
 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング  
 2日目 午後：トレーニング  
 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法  
 3日目 午後：トレーニング  
 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング  
 4日目 午後：12分間走  
 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング  
 5日目 午後：体力測定、まとめ

**履修上の留意点**

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法**

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

**そ の 他**

- 再クラス 集中授業コース実施について  
 (1) 実施期間：(前期) 7月19日(水)～23日(日)、(後期) 1月7日(日)～11日(木)  
 7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合  
 (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30  
 (3) 実施場所：玉川体育館  
 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』  
 は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
 (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健  
体育

健康・スポーツ実習(ソフトボール)  
〔再クラス〕しもやま かつとし たかはし しんすけ  
下谷内勝利・高橋 俊介

## 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 第1日目

午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

## 第2日目

午前：ゲーム

午後：〃

## 第3日目

午前：〃

午後：審判法・ゲーム

## 第4日目

午前：〃

午後：〃

## 第5日目

午前：〃

午後：〃

## 履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

## 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

## その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）  
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

健康・スポーツ実習(卓球)  
〔再クラス〕

しもや ちかつし やまぐち よしひろ  
下谷内勝利・山口 良博

## 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

## 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

## 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の实技テストは行なわない。

## その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）  
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



## 科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(バドミントン)  
〔再クラス〕

まさの  
牧野 茂

### 講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 一日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

### 履修上の留意点

- （1） 服装は、一般的な運動服とする。
- （2） 体育館シューズを用意すること。
- （3） ラケットは貸与する。

### 成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

### その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）  
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - （3）実施場所：玉川体育館
  - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

---

---

**科目名****担当者名**

健康・スポーツ実習(室内球技)

すずき じゅん へい  
鈴 木 淳 平

〔再クラス〕

## 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

## 履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

## 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

## その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月19日（水）～23日（日）、（後期）1月7日（日）～11日（木）  
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

保健  
体育

**科目名****担当者名**健康・スポーツ実習(トレーニング&太極拳)  
〔再クラス〕みつなが よしてる  
光 永 吉 輝

保健体育

**講義のねらい**

この講義では午前には、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1日目  
午前：オリエンテーション・体力測定  
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)
- 2日目  
午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定  
午後：第一組、第二組(3式)
- 3日目  
午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組(2式)
- 4日目  
午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合
- 5日目  
午前：体力測定  
午後：総合(1~11式)、テスト

**履修上の留意点**

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング上で行うので、体育館シューズを用意すること。

**成績評価の方法**

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。  
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

**その他**

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月19日(水)~23日(日)、(後期)1月7日(日)~11日(木)  
7月19日及び1月7日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

**科 目 名****担 当 者 名**

生涯スポーツ実習Ⅰ 前期・後期／基礎(簡化太極拳)

おお いし たけ し  
大 石 武 士

生涯スポーツ実習Ⅱ 前期・後期／基礎(簡化太極拳)

**講義のねらい**

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

保健  
体育**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

**履修上の留意点**

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館 2 階

**成績評価の方法**

出席率70%、総合評価30%で行う。

**科目名****担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バドミントン)

なが はま とも お  
長 濱 友 雄

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バドミントン)

保  
健  
体  
育**講義のねらい**

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： }  
                  } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： }  
                  } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

**履修上の留意点**

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

**成績評価の方法**

出席率70%、総合評価30%で行なう。

**科目名****担当者名**

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(室内球技)

すず き じゅん べい  
鈴 木 淳 平

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(室内球技)

**講義のねらい**

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

**講義の内容・授業スケジュール**

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

**履修上の留意点**

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

**成績評価の方法**

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(卓球)	まきの野
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(卓球)	しげる茂

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) スマッシュを打つことが出来る。
  - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
  - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
  - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
  - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
  - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
  - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
  - 7 時限目：シングルスゲームの練習
  - 8 時限目：
  - 9 時限目：
  - 10 時限目：
  - 11 時限目：
  - 12 時限目：
  - 13 時限目：
  - 14 時限目：
  - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(バスケットボール)	まきの野 茂
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(バスケットボール)	

保健体育

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス(1)、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス(2)、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(1)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク(2)、フルコート2対1、ゲーム(リーグ戦)
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	担当者名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／基礎(フットサル)	たなかよし たかたけ
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／基礎(フットサル)	田中 佳孝

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：基本戦術Ⅰ、ゲーム
- 7 時限目：基本戦術Ⅱ、ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科 目 名	担 当 者 名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(簡化太極拳)	大石武士
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(簡化太極拳)	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名
生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(ミニサッカー)	大石武士
生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(ミニサッカー)	

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：オリエンテーション
  - 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
  - 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
  - 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
  - 10 時限目～14 時限目：ゲーム
  - 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。



科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

鈴木 淳平

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

保健体育

講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バドミントン)

なが ほま とも お  
長 濱 友 雄

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バドミントン)

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。  
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

保健  
体育

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(卓球)

まきの野茂

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(卓球)

保健体育

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 9 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習Ⅰ前期・後期／応用(バスケットボール)

まきの野茂

生涯スポーツ実習Ⅱ前期・後期／応用(バスケットボール)

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE (3) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：モーション・オフENSE (1) ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：モーション・オフENSE (2) ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：モーション・オフENSE (3) ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム (リーグ戦)
- 13 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 14 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム (リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

生涯スポーツ実習(テニス)  
(集中前期・基礎/応用)

えぐちじゅんいち  
江口淳一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスがこなせる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)

3日目午後： (戦術と応用)

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月19日(水)～23日(日)  
7月19日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限(前期)

科目名

担当者名

生涯スポーツ実習(テニス)  
(集中後期・基礎/応用)

え ぐち じゅん いち  
江 口 淳 一

保健  
体育

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認

1日目午後：ラリーの応用練習

2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ

2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。

3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

3日目午後：ダブルス (平行陣への移行)

4日目午前：ダブルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

4日目午後：シングルス・ゲーム (メンタル面を考慮した)

5日目午前：団体戦形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：1月7日(日)～11日(木)

1月7日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合

- (2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

- (4) 定 員：40名とする。

- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限 (後期)

**科目名****担当者名**生涯スポーツ実習(ゴルフ)  
(集中後期・基礎/応用)み ねさ ほろ み  
三 幣 晴 三保健  
体育**講義のねらい**

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

**履修上の留意点**

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

**成績評価の方法**

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

**そ の 他**

- (1) 実施期間：1月7日（日）～11日（木）  
1月7日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

科目名

担当者名

生涯スポーツ演習Ⅰ(ゴルフ)  
(シーズン基礎/応用)

たておか よしあき  
館岡 儀秋 他

保健  
体育

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場

※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月17日(月) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月4日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎

実技: 13:00~17:30 打撃練習

※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月5日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則Ⅰ、その他

3日目 9月6日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則Ⅱ

4日目 9月7日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月8日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成18年9月4日(玉川校舎)・9月5日~8日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロウドインターナショナルホテル成田

286-0121 千葉県成田駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習場コース: ダイナミックゴルフ成田

289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月4日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月5日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月8日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成18年5月22日(月)~6月3日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。

成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

前期終了科目成績発表日（9月4日）と1日目授業（玉川校舎）の日程が重複しています。該当者は、1日目の午前中に、予め教務部窓口で成績表を受け取ってから授業に参加してください。



## 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月8日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月15日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月11日(木) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1日目 2月5日(月)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 2月6日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 2月7日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月8日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月9日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

## 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成19年2月5日(月)~2月9日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 20名  
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：平成18年5月22日(月)~6月3日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

## 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

## そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

### 1 国 文 科

国  
文  
科

## Ⅱ. 専門教育科目

### (1) 国文科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
国語演習Ⅰ	短国1選必	通年	4	藪部幹生	167
上代文学演習Ⅰ					
中古文学演習Ⅰ					
中世文学演習Ⅰ					
近世文学演習Ⅰ					
近代文学演習Ⅰ					
現代文学演習Ⅰ					
上代文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	佐原作美	168
中古文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	鈴木裕子	168
中世文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	坂口博規	169
中世文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	藪部幹生	169
近世文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	越後敬子	170
近代文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	石割透	170
現代文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	小林治	171
現代文学演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	松田直行	171
国語演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	片山晴賢	172
国語演習Ⅱ	短国2選必	通年	4	萩原義雄	173
卒業研究(上代)	短国2選必	通年	4	佐原作美	174
卒業研究(中古)	短国2選必	通年	4	鈴木裕子	175
卒業研究(中世)	短国2選必	通年	4	坂口博規	175
卒業研究(中世)	短国2選必	通年	4	藪部幹生	176
卒業研究(近世)	短国2選必	通年	4	坂口博規	176
卒業研究(近代)	短国2選必	通年	4	石割透	177
卒業研究(現代)	短国2選必	通年	4	小林治	178
卒業研究(現代)	短国2選必	通年	4	松田直行	178
卒業研究(国語学)	短国2選必	通年	4	片山晴賢	179
卒業研究(国語学)	短国2選必	通年	4	萩原義雄	180
国語学	短国1・2選	通年	4	片山晴賢	181
国語史	短国1・2選	通年	4	萩原義雄	182
日本語文法	短国1・2選	通年	4	片山晴賢	183
日本語教育	短国1・2選	通年	4	奥原淳子	184
表現法(話すこと)	短国1・2選	半期	2	萩原義雄	185
表現法(書くこと)	短国1・2選	半期	2	萩原義雄	187
テーマ研究Ⅰ	短国1・2選	半期	2	松田直行	188
テーマ研究Ⅱ	短国1・2選	半期	2	休講	
テーマ研究Ⅲ	短国1・2選	半期	2	休講	
テーマ研究Ⅳ	短国1・2選	半期	2	休講	
テーマ研究Ⅴ	短国1・2選	半期	2	佐原作美	188
テーマ研究Ⅵ	短国1・2選	半期	2	休講	
テーマ研究Ⅶ	短国1・2選	半期	2	休講	
テーマ研究Ⅷ	短国1・2選	半期	2	休講	

## 国文科

異文化コミュニケーション	短国1・2選	通年	4	奥原淳子	189
情報言語学	短国1・2選	通年	4	休講	
国文学概論	短国1・2選	通年	4	佐原作美	190
国文学特殊研究	短国1・2選	通年	4	休講	
古典文学史	短国1・2選	通年	4	鈴木裕子	190
近・現代文学史	短国1・2選	通年	4	石割透	191
中国文学史	短国1・2選	通年	4	休講	
文献資料を読むⅠ	短国1・2選	通年	4	休講	
文献資料を読むⅡ	短国1・2選	通年	4	休講	
古典文学を読むⅠ	短国1・2選	通年	4	佐原作美	191
古典文学を読むⅡ	短国1・2選	通年	4	休講	
古典文学を読むⅢ	短国1・2選	通年	4	休講	
古典文学を読むⅣ	短国1・2選	通年	4	休講	
近・現代文学を読むⅠ	短国1・2選	通年	4	休講	
近・現代文学を読むⅡ	短国1・2選	通年	4	石割透	192
中国文学講読	短国1・2選	通年	4	田熊信之	192
原典講読Ⅰ	短国1・2選	半期	2	佐原作美	193
原典講読Ⅱ	短国1・2選	半期	2	佐原作美	193
歌謡Ⅰ	短国1・2選	通年	4	休講	
歌謡Ⅱ	短国1・2選	通年	4	坂口博規	194
和歌文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	休講	
和歌文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	坂口博規	194
物語文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	鈴木裕子	195
物語文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
物語文学Ⅲ	短国1・2選	通年	4	休講	
物語文学Ⅳ	短国1・2選	通年	4	休講	
日記文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	休講	
日記文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	坂口博規	195
随筆・評論Ⅰ	短国1・2選	通年	4	鈴木裕子	196
随筆・評論Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
歴史文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	藺部幹生	196
歴史文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
説話文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	藺部幹生	197
説話文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
軍記文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	坂口博規	197
軍記文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
連歌・俳諧Ⅰ	短国1・2選	通年	4	越後敬子	198
連歌・俳諧Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
短歌Ⅰ	短国1・2選	半期	2	休講	
短歌Ⅱ	短国1・2選	半期	2	井上優	198
俳句Ⅰ	短国1・2選	半期	2	休講	
俳句Ⅱ	短国1・2選	半期	2	石割透	199
近・現代詩Ⅰ	短国1・2選	通年	4	休講	
近・現代詩Ⅱ	短国1・2選	通年	4	井上優	199
現代小説Ⅰ	短国1・2選	通年	4	休講	
現代小説Ⅱ	短国1・2選	通年	4	内藤寿子	200
児童文学Ⅰ	短国1・2選	通年	4	小林治	201

児童文学Ⅱ	短国1・2選	通年	4	休講	
比較文学	短国1・2選	通年	4	木村朗子	201
文芸創作	短国1・2選	通年	4	休講	
文化概論	短国1・2選	通年	4	休講	
有職故実	短国1・2選	通年	4	近藤好和	202
話芸	短国1・2選	半期	2	桂右團治	202
女性史	短国1・2選	通年	4	休講	
女性学	短国1・2選	通年	4	内藤寿子	203
女性と職業	短国1・2選	半期	2	休講	
メディアと表現	短国1・2選	通年	4	休講	
地域文化論	短国1・2選	半期	2	休講	
海外から見た日本	短国1・2選	半期	2	休講	
非言語コミュニケーション(音楽)	短国1・2選	半期	2	土井晴人	203
非言語コミュニケーション(囲碁)	短国1・2選	半期	2	松田直行	204
非言語コミュニケーション(将棋)	短国1・2選	半期	2	藪部幹生	204
映画と文学	短国1・2選	通年	4	小林治	205
美術と文学	短国1・2選	通年	4	休講	
映像論	短国1・2選	通年	4	石割透	205
古典戯曲演劇	短国1・2選	通年	4	休講	
近代戯曲演劇	短国1・2選	半期	2	松田直行	206
現代演劇	短国1・2選	半期	2	松田直行	206
芸能研究	短国1・2選	半期	2	松田直行	207
服飾文化を考える	短国1・2選	半期	2	休講	
食文化を考える	短国1・2選	半期	2	内藤寿子	207
住まいの文化を考える	短国1・2選	半期	2	休講	
手話	短国1・2選	半期	2	井上路代	208
点字	短国1・2選	半期	2	金子昭	208
書道実習Ⅰ	短国1・2選	通年	2	金子大蔵	209
書道実習Ⅱ	短国1・2選	通年	2	那須隆吉	209
編集実務	短国1・2選	通年	4	長谷川孝	210
ジャーナリズム研究	短国1・2選	通年	4	籾野寿雄	211
ビジネス実務総論	短国1・2選	半期	2	森本正恵	212
オフィス実務演習	短国1・2選	半期	2	森本正恵	213
情報処理	短国1・2選	通年	4	谷本玲大	214
応用情報処理	短国1・2選	通年	4	谷本玲大	216

国  
文  
科

科目名

担当者名

国語演習 I  
 上代文学演習 I  
 中古文学演習 I  
 中世文学演習 I  
 近世文学演習 I  
 近代文学演習 I  
 現代文学演習 I

その べ みき お  
 菌 部 幹 生

国  
文  
科

講義のねらい

今年度は、国語学・上代・中古・中世・近世・近代・現代の各文学の受講生が集まるので、それぞれの受講生ひとりひとりが、それぞれのテーマを見つけて、さまざまな面から掘り下げ、研究し、発表する（ただし、テーマについては、他の受講生との兼ね合いから、年度の初めに調整を行う必要がある）。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、語学・文学に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。1ガイダンス。2・3各受講生のテーマ決定と調査・研究方法に関する講義。4～25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

担当したテーマについての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな要件となる。また、各自が担当するテーマが異なるため、具体的な調査・研究の方法、および、観賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じてレポートを提出してもよいが、定期試験その他の筆記試験は一切行なわない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。



科目名

担当者名

上代文学演習Ⅱ

佐原 作美

国  
文  
科

講義のねらい

奈良朝の社会と人々の生活を素材として成る、わが国最初の仏教説話集『日本霊異記』をもとに演習を行う。授業では、受講生による調査の発表を中心に進めるが、その狙いは、古代社会の底辺に生きる人々が何を求め、何を願って生きていたか・また、その願いは何に向けられていたかなど、その心的ありようを諸仏信仰の面から探っていくことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的のために、授業では、観音菩薩・弥勒菩薩・阿弥陀如来・薬師如来・地藏菩薩・妙見菩薩、などへの信仰を主題とする説話を中心に見ていきたい。仏教美術や古代史などをも視野に入れながら、発表者を中心にして、受講者みんなできじっくりと読んでいきたい。それと同時に、後世の作品への影響など、その史的展開についてもあわせて見していきたい。

履修上の留意点

仏教に関する事柄が濃厚な作品である上に、身近な親しみやすい内容の作品であるので、じっくりと腰をすえて読み、かつ調べていってほしい。作中に見られる苦しみや願いなど、それらを自分自身の問題として考えることも忘れないでほしいと思う。

成績評価の方法

出席状況や調査発表の内容などを勘案して総合的に評価する。

教科書

小泉道編『日本霊異記』（新潮日本古典集成）（新潮社）2,200円

参考書等

必要なものは授業の中でその都度紹介する。

科目名

担当者名

中古文学演習Ⅱ

鈴木 裕子

講義のねらい

この授業の主な目的は、次の三つ。  
 ①古典文学、とくに歌物語を深く読み味わうこと。  
 ②古典文学、とくに歌物語を正確に読む力を養うこと。  
 ③自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・  
授業スケジュール

『伊勢物語』を読む。歌物語とは何か、和歌はどう機能しているかなど、作品理解のための基本的なことはもちろん、物語や注釈にみられる様々なジェンダーの問題についても考えてみたい。以下の計画で、受講生の発表と批評を行う予定だが、進行状況により柔軟に対応する。  
 (前期)『伊勢物語』概説  
 初段・第四十五段  
 第二段・第三段・第四段・第五段・第六段・第九段・第六十五段・第六十九段  
 (後期)第十六段・第八十二段  
 第二十一段・第二十三段・第二十四段・第六十段・第六十二段・第六十三段

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進める。それぞれの担当者は、各自が作成したレジュメをもとに発表する。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求める。

成績評価の方法

授業中の発表内容、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末提出のレポート（日時・論題等は授業時に提示）から総合的に行う。

教科書

片桐洋一編『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）

参考書等

授業中に指示する。

科目名

中世文学演習Ⅱ

担当者名

坂口博規

講義のねらい

鎌倉時代中期（仁治年間末頃説）に成立した、藤原信実（父は歌人であり「似絵＝肖像画の名手隆信）作と伝えられる説話集『今物語』を、島原市立図書館蔵松平文庫本の写本影印を以て読んでゆく。平安末期から鎌倉初期にかけての五十三編の説話が収録されていて、多く和歌が詠じられた事情が語られており、それぞれの説話は「やさし」「いみじ」「をかし」「おもしろし」「ふしぎなり」等の評を有している。その説話内容を確認することで、こうした評言の言語感覚を理解することが出来よう。

講義の内容・授業スケジュール

開講時に説話文学について解説し（1）、『今物語』の作者や作品内容について解説する（2・3）。テキストは写本影印なので草仮名の読みも学びながら演習のレポート作成の方法などを説明する（4～6）。6月頃より順次受講者に作品を分担して、本文読解を中心に発表してもらう。

履修上の留意点

収録された説話の中には、先行説話集などに収められた話があり、その本文内容の比較を必要とするものもあるので、調査・分析に努めてもらいたい。草仮名の読みも積極的に学んでほしい。

成績評価の方法

演習なので定期試験は行わない。各報告者の発表内容、及び出席状況や授業に取り組む姿勢などを参考に評価する。

教科書

授業にて配布する（無料）。

参考書等

授業の初めに紹介する。

国文科

科目名

中世文学演習Ⅱ

担当者名

菌部幹生

講義のねらい

中世文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年かけて、その説話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考え、他者に説明できるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれに追加・訂正の発表もおこなうので、年間の発表回数は一人5～6回程度となる。  
1 ガイダンス。2 方法論講義。3～25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。なお、同じ担当者の「卒業研究（中世）」を合わせて履修することが望ましい。受講希望者があまりにも多い場合は、「卒業研究（中世）」を合わせて履修する学生を優先して履修許可証を発行する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行なわない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名

担当者名

近世文学演習Ⅱ

越後敬子

講義のねらい

「古典文学は難しい」という先入観を捨てて、数百年前の日本人のありさまを、さまざまな方向から楽しんでほしい。この授業では江戸時代の代表的作家、井原西鶴の『日本永代蔵』を取り上げる。本書は、全三十話からなる短編小説集で、立身出世談や破滅談を通して、お金と町人との関わりを描いた作品である。古文を現代語訳するだけではなく、当時の人情・風俗・経済生活等にも触れ、本作品の面白さをレポートしてほしい。演習という科目の性質上、各自が調査・研究した上で自分の考えをまとめ、それを他の受講生にわかりやすく伝えることが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～4) 近世文学・西鶴・『日本永代蔵』等に関する概説  
(5～13) 演習発表  
(後期) (1～13) 演習発表

履修上の留意点

受講者の分担発表を中心として進める。各自の担当箇所はもちろん、他の受講者の発表に対しても問題意識を持ち、積極的に議論に加わってほしい。

成績評価の方法

担当の発表内容に、出席状況を加味する。

教科書

授業時にプリントを配布する。

参考書等

新潮日本古典文学アルバム『井原西鶴』(新潮社)、日本古典文学大系『西鶴集 下』(岩波書店)、新潮日本古典集成『日本永代蔵』(新潮社)、新編日本古典文学全集『井原西鶴集 三』(小学館)、その他授業時に紹介する。

国  
文  
科

科目名

担当者名

近代文学演習Ⅱ

石割透

講義のねらい

自然主義のわが国の代表作といわれる作品をとりあげて、作品の構造を緻密に分析し、自然主義、私小説のあり方を、創作、享受など多様な側面をも検討し、同時代の文化状況を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

島崎藤村「破戒」「家」田山花袋「蒲団」「少女病」「田舎教師」をとりあげ、受講者の発表に基づいて、授業を進めていく。発表する者は、その時間に口頭で発表する内容を、まとめて受講者にコピーして配布すること。

履修上の留意点

発表者は、とりあげる作品を緻密に読み、問題点を考え、それを授業時に報告、その内容を中心にクラス全員で考えていくことになる。発表を予定していない者も全員、作品を緻密に読み、授業に臨むこと。

成績評価の方法

年に一、二度の発表、それを更に深めたレポートの提出に、授業態度、出席状況を考慮して評価する。

教科書

島崎藤村『破戒』『家』(新潮文庫)  
田山花袋『蒲団』(新潮文庫)など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

発表を中心にして、受講者が中心となって、授業を進めていく。発表者は特に、作品を十分に読み、担当する個所の重要性、問題点を、しっかりと把握して発表にのぞむこと。

科目名	担当者名
現代文学演習Ⅱ	小林 治

講義のねらい

安部公房、深沢七郎、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の小説作品、あるいは宮沢賢治の散文作品を読み、日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

国文科

科目名	担当者名
現代文学演習Ⅱ	松田 直行

講義のねらい

演劇ワークショップの応用編となる。舞台上で演劇を上演することを目的とするわけではなく、演技の訓練法とその応用により、身体表現とコミュニケーション能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ワークショップとは何か (2) スピーチ・ディスカッション・ディベート  
(3) エチュードの応用 (4) ステータス (5) 相互インタビュー など

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。また共同作業となるため、欠席すると他の学生に迷惑となるので、基本的に毎回出席することが必要になる。また夏休みに富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を予定している。

成績評価の方法

試験・レポート提出は行わないが、ワークショップの成果と個々の参加姿勢により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

その他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

科目名

担当者名

国語演習Ⅱ

かた やま ほる かた  
片 山 晴 賢

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配付する。

参考書等

授業時間に指示する。

## 講義のねらい

百科辞書『塵袋』（鎌倉時代）と『瑤囊鈔』（室町時代）を読む。前記書物の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、1998年印融上人展が、横浜市歴史資料館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写完本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本（零本）などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠にも成っている。この書の成立について、本文記載内容から考察し、以下の課題項目について言及してみる。そして、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感得することでもある。古人の知的関心度とは、如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- ①『塵袋』そして『瑤囊鈔』、『塵添瑤囊鈔』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ②書写者、「印融上人」って、どんな人？次の「行誓」という人物は？
- ③項目内容の目次作成って、どういう作業なの？
- ④ことばの索引は、なぜ近代まで作成されなかったの？
- ⑤書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの？
- ⑥問答体による記述方法って、質問応答する人物は複数なの？
- ⑦鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの？
- ⑧この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの？
- ⑨この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの？
- ⑩この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度にして抄録したの？
- ⑪この書籍の文章内容を実際に音読するとき、どう読むの？
- ⑫読めない文字漢字って、どんな漢字？その筆法は？
- ⑬特徴のある古語・古句は、どんなふうに使っているの？
- ⑭回答内容は、当代にあって蘊蓄のある解釈表現からなっているの？
- ⑮この百科型辞書を編集するに、どんな着想でどの程度の年月をかけて成ったの？
- ⑯後世、この書物がどのように影響しているの？
- ⑰この書物と発想を同じくする内容の書物は、他に知られていないの？
- ⑱現代人の目からみて、どんな事柄が実際役立つの？
- ⑲現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの？
- ⑳この内容を一枚の絵として仕上げることができますか？……。

## [検討作業にともなう計画表案]

04月 受講手続き確認（※最初に情報センター使用手続きを再度説明）  
 05月第2週受講再確認とカード表の入力締め切り  
 本格的に作業確立のための資料準備  
 分析「ことば」に基づく調査とその方法  
 <夏休みに展示資料館など現地調査を行う>  
 09月下旬調査結果の報告書の作成  
 10月以降結果報告を公開発表  
 01月中旬 評価決定

## 履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。  
 ※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

## 成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえた上で、提出発表していきます。個人が年間分析する上記問答の数を20としています。この一問答ずつを単位として評価します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自身が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待

します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

私家版『塵袋』『壺囊抄』<情報言語学研究室版“テキストデータ”。  
URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>>を使用する。

参考書等

山崎 誠編『塵袋』の研究 (勉誠社)  
佐竹昭広編『壺囊抄』(臨川書店)  
原装影印版 増補 古辞書叢刊『壺囊抄』(大東急記念文庫蔵・雄松堂出版)

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP (情報言語学研究室) 上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP (情報言語学研究室) 上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
卒業研究(上代)	佐原 作美

講義のねらい

『万葉集』や『古事記』、『風土記』あるいは『日本霊異記』など奈良朝から平安初期にかけての作品や作者を対象に、各自が選んだ研究テーマをもとに調査研究したその成果を論文にまとめることを目的としている。それに必要な基礎的な事項について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけて論文作成に必要な事項を講義し、その間に各自による研究テーマを決定して貰うと共にその作業を進めていく。かくして、12月の最終授業に提出して貰うことになる。

履修上の留意点

2年間の学修の決算としての性格をもつだけに自主的に取り組んでほしい。卒業論文を書くことはその後の人生に大きな喜びと影響をもたらすことであろう。それほどに意義深いことと思われるので最善をつくしてほしい。

成績評価の方法

論文作成に至るまでの取り組み方やその意欲や態度、その上での論文の内容などをあわせ、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを使う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名
卒業研究(中古)	すずき ひろこ 鈴木 裕子

講義のねらい	中古文学を対象に、各自が決めた作品とテーマによって、研究論文を作成するための講座。論文作成に必要な基礎的な事項について、個別に指導する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>具体的な資料や研究論文等を例示しながら、テーマの決め方、研究の方法、文献や資料の使い方等について助言する。</p> <p>①テーマの決定……4月・5月          ②資料収集と研究……6月～8月          ③目次の提出・中間報告(随時)……9月          ④研究・中間報告(随時)……10月～11月          ⑤清書・提出……12月          ⑥面接……1月</p>
履修上の留意点	二年間の学修の総決算として、研究論文という形にすることはとても有意義なことである。是非意欲的に取り組んで欲しいと思う。なお、特曜日に設定されているが、実際の指導時間は、別に各自と相談の上定めるので、まず、直接担当者に面談に来ること。
成績評価の方法	作成された論文の内容による。
教科書	特に指定しない。参考書等は指導中に指示する。
参考書等	指導中に指示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名
卒業研究(中世)	さかぐち ひろき 坂口 博規

講義のねらい	中世時代(鎌倉・室町時代)に成立した作品やその作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに中世文学を概観し、論文をまとめる準備として研究方法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じて段階を決めてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。
履修上の留意点	中世文学で研究レポートを作成する者は、出来る限り「古典文学史」の授業を履修して欲しい。また「中世文学演習Ⅱ」といづれかの受講となるので、出席状況もチェックする。
成績評価の方法	卒業研究のレポートの内容とその準備作業をもとに評価する。
教科書	授業時にプリント等で学ぶ。



科目名	担当者名
卒業研究(中世)	その べ みき お 菌 部 幹 生

講義のねらい

短期大学2年間の集大成として卒業論文を作成することは、卒業後の人生のためにも、たいへん意義深いものがある。この時間では、中世文学に関連した卒業論文(原稿用紙30枚以上)を作成するための助言・指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として、卒業論文作成のためのテーマ設定や資料集めとその読解、後期は、卒業論文の構成と作成に関する助言・指導を行なう。

履修上の留意点

授業時間は、特曜日に設定されているが、実際には、各受講生と都合をあわせてうえで、空き時間を利用した授業となるので、履修届を提出する前に、必ず相談に来ること。

卒業論文としてふさわしいテーマ性とストーリー性を持ったテレビゲームを研究対象とした学生は、この講義内容を読み次第、すぐに msonobe@komazawa-u.ac.jp に eメールで問合せ、履修登録してもよいかどうかの確認を取ること。

成績評価の方法

完成した卒業論文によって評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

国  
文  
科

科目名	担当者名
卒業研究(近世)	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規

講義のねらい

近世時代(江戸時代)に成立した作品や作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに近世文学の流れを概観し、論文をまとめる準備として研究法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

近世文学で研究レポートを作成するものは、「近世文学演習Ⅱ」を必ず受講してほしい。

成績評価の方法

研究レポートの内容と、その準備作業をもとに評価する。

教科書

授業時にプリント等で学ぶ。

科目名	担当者名
卒業研究(近代)	いし かり 石 割 透

講義のねらい

2年間の学習成果のまとめとして、各自が最も関心がある学習テーマについて研究し、400字詰原稿用紙30枚以上の論文を作成する授業。研究、調査していく過程の中で、また書くという営みを通して、学習し、考え、知ることの喜びが味わえることと思う。また、その中で、研究ということの深さ、知らない不明な点までも明らかになり、知らないこと、不明なことを知ることが勉強することである、という実感が味わえる筈である。研究方法やそれに必要な文献、資料については、その都度示唆を与えるので、教員に質問する積極的な姿勢、意欲を見せてほしい。書くことの意味をくみとるためにも、是非、分野を問わず〈卒業研究〉の授業をうけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究テーマを各自ができるだけ早い時期に決め、そのテーマに基づき、学習の方法、進行についての助言を与えていきたい。

履修上の留意点

不明な点があれば、いつでも質問をすること。テーマをできるだけ、しぼり、それまでの研究成果を踏まえて、新しい何かをつけ加えるほどの意欲、熱意を見せてほしい。

成績評価の方法

年度末に提出する原稿用紙30枚以上の論文の内容によって評価する。

教科書

各自のテーマに従って、指示する。

参考書等

各自のテーマに従って、指示する。

その他

論文執筆を試みれば、完成までに、いろいろな疑問や不明なことが生じるはずである。そうした執筆過程でぶつかった疑問、不明な点、問題点は、自己のうちに追究するとともに、その都度教員に積極的に相談して欲しいと思う。

国  
文  
科

科目名

担当者名

卒業研究(現代)

こばやし ちか  
小林 治

講義のねらい

二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と方法論を学びつつ、論文作成のための実際的な指導を受けることになる。なお、この科目は、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ぶようとする者が受講する科目である。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月は、論文の具体的テーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ作家、作品ごとに、指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰め原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。

履修上の留意点

二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味でより多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながることであろう。

成績評価の方法

完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。

教科書

特に指定しない。

科目名

担当者名

卒業研究(現代)

まつだ なおゆき  
松田 直行

講義のねらい

1年間かけて、卒業論文、または論文にかわる卒業制作作品(小説など)を完成させる。内容に応じて個別に指導する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として近代以降の演劇・芸能関係で卒業論文を書く場合、また論文にかえて、それに相当する内容の文芸創作作品(小説や戯曲など)を提出する場合に、私が担当することになる。小説の場合、400字×200枚程度で構想する。

履修上の留意点

受講者は必ず科目登録の前に申し出ること。小説など卒業制作作品の提出は、原則として1年次で「文芸創作」を履修していることを条件とする。またその場合、個人指導のほか、履修者全員によるグループ指導や合評会を行う。

成績評価の方法

提出された論文または作品により評価するが、完成に至るまでの過程も重視する。

教科書

指定しない。

参考書等

個別に指示する。

国文科

科目名

担当者名

卒業研究(国語学)

かた やま はる かた  
片山晴賢

講義のねらい

国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教科書

面談の中で指示する。

国  
文  
科

講義のねらい

- 1, 歴史文献史料の活用
- 2, 仏教文献資料の活用
- 3, 国文学文献資料の活用
- 4, 漢籍文献資料の活用
- 5, 海外文献資料の活用

上記5項目の文献資料に基づき、総合的な立場で文献資料の日本語学研究を主な学習目標とします。統計計量言語分析や文の形態構造解析、さらには語彙分類体系や書記文字の変遷について様々な角度から学習を試み、その成果を公開していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターでの情報機器利用手続担当責任者説明
- 02の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 04の講義内容 現在の研究成果と研究領域活用の手続き
- 05の講義内容 研究テーマ文献素材の入手及びデータ入力作業
- 06の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用（「今昔文字鏡」等）
- 07～11の講義内容 原文解読入力作業その1～その5
- 12～15の講義内容 図式表の処理（データ加工）→機器スキャナーに依る取り込み
- 16～20の講義内容 解読資料の整理記述
- 21～25の講義内容 口頭研究発表
- 26の講義内容 卒業研究論文の提出

履修上の留意点

- ※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。
- ※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても要確認（著作権問題）をお願いします。  
また、総合教育研究学部（日本文化部門）& 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教 科 書

随時、講義時間の前後で報知します

参 考 書 等

随時、講義時間の前後で報知します

そ の 他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。  
情報機器を利用します。講義資料は HP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名

担当者名

国語学

かた やま はる かた  
片 山 晴 賢

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。  
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。  
なお、概要は次の通りです。

- ・ 音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか  
          どのように声を作っているのか  
          音声をどのように表記するのか  
          アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・ 文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷  
          仮名遣いの諸問題
- ・ 語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。  
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名

担当者名

国語史

萩原 義雄

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明  
『古事記』(国宝真福寺本)
- 02の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 03の講義内容 『万葉集』(「萬葉」と「万葉」の表記、現存『万葉集』最善本の内容、文字表記「万葉仮名」)
- 04の講義内容 『竹取物語』(成立と現存書写資料)
- 05の講義内容 『伊勢物語』(書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井勇作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』)
- 06の講義内容 『土左日記』(爲家本と定家本との異なり)
- 07の講義内容 『源氏物語』(人物系図、京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』による漢字の頻度計量国語学的考察)
- 08の講義内容 『大鏡』歴史物語
- 09の講義内容 『方丈記』鴨長明・白筆本の表記形式及び内容
- 10の講義内容 『平家物語』清盛の日宋貿易と『太平御覧』、天草版、真名本
- 11の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』(源頼朝・頼家・実朝、北条政子とその一族)
- 12の講義内容 夏季課題の取扱い手続き方法について説明
- 13の講義内容 夏季課題の提出
- 14の講義内容 『小倉百人一首』『小椋』と「小倉」
- 後期講義に向けてその方向性と準備を説明
- 15の講義内容 講義文献資料とその催し展の動向と現地見学
- 16の講義内容 『正法眼蔵』 山は山水是水〔山水経〕
- 17の講義内容 『蒙古襲来絵詞』図絵と文
- 18の講義内容 『徒然草』吉田兼好、随筆と謎
- 19の講義内容 『義経記』判官びいき 義経、女人静、奥州平泉文化
- 20の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎(浦島伝説・浦島太郎伝説の謎)・ものくさ太郎・鉢かづき・酒呑童子・一寸法師、一寸法師
- 21の講義内容 『好色一代男』江戸上方・井原西鶴・元禄の英雄
- 22の講義内容 『奥の細道』松尾芭蕉・風雅のこゝろ
- 23の講義内容 『浮世風呂』庶民のサロン
- 24の講義内容 『南総里見八犬伝』滝沢馬琴・勸善懲惡物
- 25の講義内容 『航米日録』近代への架け橋、『欧米巡航記』
- 26の講義内容 冬季課題の提出

履修上の留意点

- ※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。
- ※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し & FD (ネットへの添付資料) にして、最終締め切り日に提出します。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
ご自分が調査した関連語句 (書名・人名・用語など) の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。  
また、総合教育研究学部 (日本文化部門) & 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理

国  
文  
科

運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎『日本の書物』（新潮社（品切れ）・新潮文庫・著作集・筑摩文庫）時価  
インターネット公開型テキスト“国語史” [URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】（笠間書院）3,800円（税別）  
ISBN4-305-70307-6

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名

担当者名

日本語文法

かた やま はる かた  
片山晴賢

講義のねらい

普段、母語として自然に身につけ会話している現代日本語の疑問点を挙げ、現代日本語を分析し、文法を理解し、興味を抱いて現代日本語に対することを目的とします。日頃、何とも思っていなかったり、考えてもみなかったところに規則性（文法）が存在していたことを知り、文法について考える時間を持ち、現代日本語に対する意識を呼び起こし知識を養います。

前期では古典文法を中心に文法に対する理解を深めます。後期には現代日本語文法について考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕古典文法についての概説・品詞の説明での説明  
〔後期〕現代日本語ぶんぼうについての説明

履修上の留意点

現代日本語を分析的な目で捉え、興味を深めていくことを目的としますので、講義をあまり欠席しないことが希まれます。

成績評価の方法

学年末試験と受験生の提出物の内容に依拠して行います。

教科書

その時間のトピックスとなるプリントを毎回配布します。



科目名

担当者名

日本語教育

おくはら じゅんこ  
奥原 淳子

国  
文  
科

講義のねらい

目的は、二つあります。一つは「日本語教育とはどういうものを学ぶこと」、もう一つは「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」です。

「国語教育」と「日本語教育」は違います。これまでみなさんが学んできたのは「国語教育」で、それは幼い頃から自然に無意識のうちに身に付けた言語知識を基に学ぶものでした。一方、「日本語教育」は、その自然に身に付けた日本語を、外国語としての日本語という視点から改めて捉えなおしていくものです。

本講義では、日本語教育に関する現況と基本的な理論を提示します。そして同時に、具体的に日本語を分析していくことで、問題発見能力、帰納的に考察していく力、相手に伝える力を養っていきたいと考えます。さらに、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題もさぐります。

講義の内容・授業スケジュール

- 日本語教育の概観：日本語教育とは何か／日本語学習者の周辺
- 日本語：音声／文法／文字・語彙／社会言語学／心理学
- 日本語教授法：いかに日本語を教えるか、その具体的な方法
- 日本語分析：我々はどんな日本語をどう使っているのか

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。グループ活動も多いので、自分の考えをしっかりと伝えるように心がけてください。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用予定

参考書等

- 『はじめての日本語教育・1 [日本語教育の基礎知識]』高見澤孟 監修（アスク）1996年
- 『はじめての日本語教育・2 [日本語教授法入門]』高見澤孟 監修（アスク）1996年
- 『日本語教育演習シリーズ①教えるためのことばの整理 Vol. 1』丸山敬介（凡人社）1994年
- 『日本語教育演習シリーズ②教えるためのことばの整理 Vol. 2』丸山敬介（凡人社）1994年

## 講義のねらい

話し方には一対一で向かい合って特定のひとと話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがあります。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方自体はどう変貌するのでしょうか……。たとえば、青森出身のひとと鹿児島出身のひととが互いに話しをしたら、どうでありましょう。また、ことばが豊富で多様性の高いひととまったくことばの知らない狹隘性のひととが会話したらどうなるのでしょうか……。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するのでしょうか……。実際の「話し方のパフォーマンス」表現者たちをこの授業時間にお招きし、その会話表現の奥義を掴み取って見ようではありませんか。このことから、その話し方の特性について解明を進めて見たいと考えております。

## 2. 読むこと

声にだして読む、これを「朗読」といいます。声に出さずして目でおって読む、これを「黙読」といいます。後者の「黙読」は、どの程度のスピードで、どの程度理會して読んでいるのか第三者には定かではありません。ですが、前者の「朗読」については、声の質や抑揚で、ある読み上げのテンポやリズムカルさなどから、朗読する側の伝達感狀況がつぶさに伝わってきます。ここで、その読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明

利用する機器 (IP 電話「skype」) とその機能 (個人登録)

02の講義内容 「話す」ことの実例

03の講義内容 「話す」基礎的技能

04~08の講義内容

話し方のパフォーマンス表現者ゲストの顔ぶれ

- 1、海外生活者 (邦人) のゲスト
- 2、海外生活者 (異邦人) のゲスト
- 3、駒澤大学出身のゲスト
- 4、芸術分野の世界を生きるゲスト
- 5、日本企業の経営者ゲスト

已上5人 (時間調整と出向交渉のため変更すべきことも今後ありますので、1から5としましたが、順位不動とさせていただきます) の方々をお招きし、トーク&ディスカッションを交えながら、とっときな乙なお話を聞かせていただくとともに、その会話の魅力に迫ってみたいと考えています。

09の講義内容 4分間スピーチ原稿の提出と添削

10の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ) 併せて提出と添削

11の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ) 併せて提出と添削

12の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ) 併せて提出と添削

13の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ) 併せて提出と添削

14の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ) 併せて提出と添削

15の講義内容 4分間スピーチの開始 (12人ずつ)

## 履修上の留意点

※教室収容人員に併せて62名を対象とします。出席者は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう! また、ID チェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP (情報言語学研究室) 上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても応対可能とします。また、大学 IT 機器随時利用の不可能な時季には、短大資料室前にその審査狀況一覧を掲示しますので併せて参照願います。

## 成績評価の方法

課題は、毎回お招きした方々からの貴重な意見やその洞察力を素に自らがどこまでそれらの話し方のパフォーマンスを習得しえたか、そこから得た実際の密度の高い能力を、最後に4分間スピーチを通してまとめることで表現してみます。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句 (書名・人名・用語など) の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部 (日本文化部門) & 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待

します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

教科書

随時、講義時間の前後で報知します。

参考書等

随時、講義時間の前後で報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

講義のねらい

次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在します。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し、伝えようとするメッセージ作成システムでもあります。これを受信した人が、これをどう見つけ、どう捉え、どう表現しているものでありましょか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術能力をどのように活用していくのかを含め、大いに追求していきたいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期の最後に実施した話すパフォーマンスをこんどは画像と書記文字という形態を用いて活写していきます。多くの書くためのポイント要素を私自身が皆さんに毎回問いかけ、これをキャッチしていただきながら電子の紙芝居を作っていくを試みます。書くことの素晴らしさ、楽しさを存分に味わってみてください。

- 1 電子紙芝居とは、いったいどんなものか？ 実際、プレゼンテーションします
- 2 電子紙芝居（「パワーポイント」の操作と手順）の説明
- 3 画像面を最低十枚を設定構成してみます 画像面のファイル取り込みと加工
- 4 画像に併せてセリフ文章を収録します 複写→再編成
- 5 このなかに、名言名句・慣用句・四字熟語などをちりばめて調和の取れた文脈にしてみました
- 6 接頭辞「御（お、み、ゴ、ギョ）」を用いた表現がどの程度反映されているかを知覚してみましよう
- 7 象徴語表現（オノマトペア）を入力し、場面を引き立ててみましょう
- 8 二人称会話表現をとりいれ、会話表現がなされたものとしてみましょう
- 9 題名を確認してから作品を提出し、これを実際に動かしてみましょう

履修上の留意点

※出席は、教場 IT 管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、ID チェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4 週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。  
 ※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT 機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

電子紙芝居による作品の提出をもって評価します。画像面は最低十画面とし、はじめと終わりまでが一続きのものとして仕上げてください。評価は、4 から 8 までの講義課題を基準点としまして最終評価します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても要確認（著作権問題）をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）& 短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義時間の前後で報知します。

参考書等

随時、講義時間の前後で報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料は HP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料は HP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメ PDF 資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	担当者名
テーマ研究 I	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、現代文（評論・論説文）を中心に講義する。国語の試験問題では、本文の要旨を正確に読み取った上で、設問における出題者の意図を把握し、論理的な文章で簡潔な解答を書くことが要求される。実際に出題された問題を使って解法を講義することにより、単に試験で点数を取るだけでなく、論理的な思考力と記述力を身につけるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(1-2) 論説文を読む (3-4) 論旨とは何か (5-6) 論理的な構成を読み解く  
(7-8) 出題の意図を考える (9-10) 記述式問題の答え方 (11-12) 論述力の養成  
(13) 模擬試験

履修上の留意点

1年次の後期に「テーマ研究Ⅱ」を受講した学生が継続して受講することを基本にしている。「テーマ研究Ⅱ」を履修していなくても受講できるが、その内容をよく把握していない場合は、初回の授業に出席して説明を受けること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況により採点する。

教科書

教科書・参考書は授業で指示する。

科目名	担当者名
テーマ研究 V	さ ほう さく み 佐 原 作 美

講義のねらい

奈良朝から平安朝頃にかけて成立した文学作品を通して「上代の日本人の精神生活を探求する」をテーマに見ていきたい。精神風土と文学のありようについて、作品の鑑賞をまじえながら授業をすすめていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマ①上代人の呪的信仰について  
はじめに「呪的信仰」とは何かについて、その概念規定を行ったのち、具体的な作品たとえば『古事記』上巻の「イザナギノミコトの黄泉国訪問」神話や『万葉集』『日本霊異記』等の作品を素材に検討を加えていく。  
テーマ②上代人の言霊信仰について  
「呪的信仰」とともに上代人にとって重要な事柄として言霊信仰がある。『万葉集』や『風土記』あるいは『続日本紀』などの史書の中からそれらに関する作品や記録をもとに考えていきたい。  
テーマ③上代人の夢信仰について  
上代人は「夢」をどうみていたかについて、『万葉集』や『風土記』や『日本霊異記』あるいはその他の文献をもとに見ていきたい。

履修上の留意点

教材はプリントを事前に配布したいと思うので、その時は予め目を通しておいてほしい。常に問題意識を呼び起すようにつとめて貰いたい。

成績評価の方法

出席状況や時々のレポートなどを見て総合的に判断する。

教科書

教科書を用いず、毎回プリントを配布する。

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

## 科目名

異文化コミュニケーション

担当者名

おくはら じゅんこ  
奥原 淳子

### 講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？  
日本人というのは誰をさすのか。  
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？  
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？  
日本はどのようにメディアに映されているのか。  
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？  
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。  
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 「日本の社会・文化」とは？  
「日本はどんな国ですか」、「今、日本ではどんなことが問題となっていますか」という問いにどう答えるか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

### 成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

### 教科書

プリント使用。

### 参考書等

開講時指示します。

**科目名****担当者名****国文学概論**

佐原作美

**講義のねらい**

日本文学は文字による記録以前の口承時代を含めると実に長い歴史と伝統の上に成り立っている。その間、神話や物語や和歌をはじめ多種多様なジャンルのもとに数多くの作品が、その時代や社会情勢との関わりの中で創作され享受されて来た。そこでかかる日本文学とはいかなるものかを主なテーマとして、時代とその変遷の視点から考察を加えその何たるかを考えていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

はじめに、日本文学史の時代区分と文学上のジャンルを概観し、つぎに各時代別にそれぞれのジャンルの作品の一端にふれながら、作品と時代や社会などの背景との関係、あるいは後世の作品への影響、さらにはそれらを貫流する文学の理念等を見ていきたい。

**履修上の留意点**

テキストを用いるのでそれに添う形で授業を進めるので事前にテキストを購入し読んでおくこと。

**成績評価の方法**

学年末の定期試験あるいは時折課するレポートの提出、及び出席状況などを見て総合的に判断評価する。

**教科書**

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』（右文書院）2,000円

**参考書等**

授業の中で必要に応じ指示する。

国  
文  
科**科目名****担当者名****古典文学史**

鈴木裕子

**講義のねらい**

上代から近世までの日本文学の歴史を解説する。漢詩や和歌、物語や日記文学など古典作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが長い時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか調べたり、考えたりしてみよう。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期は、神話・伝説の発生から和歌文学、物語文学の発生と『源氏物語』まで。後期は、後期物語と歴史物語、説話文学の世界、劇文学まで取り上げる予定。それぞれの時代の作品について、韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら編年的に概観するだけでなく、作品の特色や時代の思潮、政治や社会の構造を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにしたい。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となるが、担当者の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す。

**履修上の留意点**

授業で紹介する図書を含め、積極的に本を読んで欲しい。

**成績評価の方法**

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行う。

**教科書**

『日本古典文学史』（双文社出版）

**参考書等**

参考書等は授業中に指示する。

科目名	担当者名
近・現代文学史	石 割 透

講義のねらい	わが国の明治維新以後の文学の歴史の流れについて概観する。作品に見られる表現の方法の展開、人間の生き方、人間の関係性の変容などを、作品に即して考えていきたい。この時間では、主に明治・大正から昭和の初期までを中心にして扱ってきたい。
講義の内容・授業スケジュール	明治から昭和までの文学の流れについて、特に小説を中心にして検討し、あわせて〈文学〉〈近代〉の概念についても考えていきたいと思っている。作品名を羅列するのではなく、代表的な作品の幾つかをとりあげて、時代にとまなう文学作品の変容を紹介したい。
履修上の留意点	明治、大正の、現代から見れば、古典ともいべき小説の代表作をこの時間の受講を契機にして、できるだけ多く読んでほしいと思います。
成績評価の方法	出席状況を重視する。その都度、授業でとりあげた作品を批評するレポートを提出、それによって評価する。
教科書	年表の会編集『近代文学年表』（双文社出版） 1,200円
参考書等	授業時に指示する。
その他	授業形式は、講義の形をとる。

国  
文  
科

科目名	担当者名
古典文学を読むⅠ	佐 原 作 美

講義のねらい	授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を収める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。
講義の内容・授業スケジュール	憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせてその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら学生と共に読んでいきたい。
履修上の留意点	授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向うようにしてほしい。
成績評価の方法	出席状況や質疑、およびレポートなどの提出物などを見て総合的に評価する。
教科書	土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円
参考書等	授業時に必要に応じてその都度紹介する。



科目名	担当者名
近・現代文学を読むⅡ	いしわり 石割透

講義のねらい

近代の小説、この時間は特にわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的傾向、文化的な諸問題を検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげる作家、小説は大体次の通りです。志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」「十一月三日午後の事」「焚火」「小僧の神様」、谷崎潤一郎「刺青」「痴人の愛」「小さな王国」「春琴抄」、芥川龍之介「鼻」「芋粥」「秋」「奉教人の死」、江戸川乱歩「二銭銅貨」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」など。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は、短編小説が中心である。前もって必ず緻密に読んでおいて下さい。

成績評価の方法

年度に2、3回、作品について論じたレポートを提出。原稿用紙7枚以上のレポートとともに、出席状況、授業時の態度によって評価する。

教科書

プリントを随時配布。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）を常に備えておくこと。とりあげる作品の多くは、文庫本で読めます。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進める予定。

国  
文  
科

科目名	担当者名
中国文学講読	た くま のぶ 田熊信之

講義のねらい

広大な中国の大地には古くからさまざまな民族が隆替を繰り返したが、その隆替の中心にいた漢民族は、音、義、形を備える特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使して多岐にわたる独特な表現世界を発展させた。本講座は、中国の大地に生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して読み解き、赏析していこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごも人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を用いて綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混ぜて行なう。

科目名	担当者名
原典講読Ⅰ	佐原 作美

講義のねらい

文学は読む作業を通して享受するものであるが、ここでは「活字」ではなく手書きされたものを読んでいく。活字以前の古典のことも雰囲気、変体仮名で味わいつつ独特の書体に読み慣れることを目指していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

作品として、複製の『竹取物語』を扱うのであるが、時間的に全文は無理なので要所を選んで読んでいきたい。

履修上の留意点

大切なのは問題意識や関心を寄せることであることを肝に銘じて取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑やレポートなどを見て総合的に判断する。

教科書

片桐洋一編『竹取物語』（新典社）1,000円  
神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

国  
文  
科

科目名	担当者名
原典講読Ⅱ	佐原 作美

講義のねらい

古典和歌の中から秀歌百首をもって撰集された「小倉百人一首」をテキストとして、一首一首味読していきたい。いわゆる活字体のものではなく、変体仮名で書かれた写本の複製本を用いて読む。写本や変体仮名に慣れると共に、古典のもつ雰囲気をも味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、その配列順に従って一首ずつ、学生と共に読んでいきたい。また、和歌には様々な逸話や伝承がついているので、そうした和歌にまつわる伝承や史話などもあわせて読んでいきたい。それと共に、日本人にとっての和歌のもつ意味なども含め、広い視野から見ていきたい。

履修上の留意点

和歌はあまりなじみがない学生も多いかと思うが、和歌は日本人にとって大きな精神的要素を形成し、担って来た一大国民的文学の柱でもあった。そうした視点から単に和歌を解釈するのではなく、出来るだけ深く読み取ろうとする態度、意欲的な姿勢をもって取り組むことが望まれる。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑、及びレポートなどの提出物などを見て、総合的に評価する。

教科書

有吉保他編『影印本百人一首』（新典社）750円  
神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名

担当者名

歌謡Ⅱ

さか ぐち ひろ き  
坂 口 博 規

講義のねらい

古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を読む。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（文学性）を担っているかを考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7～9）や表現様式や歌体（10～14）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以て挿入されているのかを理解してもらうため、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、『古事記』と『日本書紀』の成立の問題も含めて考察したい。

履修上の留意点

古典文学としての『古事記』や『日本書紀』は、その表現内容において難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。講義の主たるポイントは「ウタ」の機能をいかに理解するかにある。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況等を参考にして評価する。

教科書

プリント使用。

参考書等

授業において紹介する。

国  
文  
科

科目名

担当者名

和歌文学Ⅱ

さか ぐち ひろ き  
坂 口 博 規

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集（＝個人歌集）『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文（＝詞書）と韻文（＝和歌）が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時（1・2）は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介（3）、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する（4～13）。後期は似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め（14～25）、和歌文学の魅力を考える（26）。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点

和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書

久徳高文編『建礼門院右京大夫集』（おうふう）1,890円

科目名	担当者名
物語文学Ⅰ	すずきひろこ 鈴木裕子

講義のねらい

『源氏物語』『賢木』巻を読む  
『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔から多くの人に読み継がれて来た日本文学の傑作である。この物語のどこにそのような価値があるのだろうか。受講者各自に答を見つけてもらいたい。現代に生きる私たちが『源氏物語』の世界を理解することは容易ではないが、実際に古典の言葉に触れることで作品の世界を感じ、現代に通じる人間の心や苦悩を味わうことができるとよいと考えている。作品を支える文化を理解し、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになることが理想である。

講義の内容・  
授業スケジュール

「賢木」巻は、野宮での光源氏と六条御息所の別離、光源氏の庇護者であった父桐壺院の崩御、秘密の恋の相手藤壺の出家、光源氏と朧月夜の密会露見など、光源氏の人生を大きく変転させるさまざまな出来事が描かれる巻である。この巻を読むことで、『源氏物語』の表現の特色や作品の構造、主題への理解が深まるようにしたい。はじめに『源氏物語』を概説し、この物語の根幹である光源氏と藤壺の恋の経緯を解説した上で「賢木」巻の作品世界に分け入ることにする。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行う試験(論題等は授業時に提示)・出席状況(遅刻・早退をしないことは大前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

阿部秋生ほか校注訳 古典セレクション『源氏物語3』(小学館)

国  
文  
科

科目名	担当者名
日記文学Ⅱ	さかぐちひろき 坂口博規

講義のねらい

日記文学の文学性の本質は「自照(=自己観照)精神」に見る。自己の内面に向き合う作者の自己省察の姿勢や精神を考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

開講時(1・2)に日記文学の歴史や文学性を概観し、特に『土佐日記』と『蜻蛉日記』の果たした意義を考える(3~5)。5月中旬頃より、中世の女流日記文学を考察(6)、鎌倉時代後期、後深草院の後宮に出仕した二条という女性の回想記『とはずがたり』の紹介をする(7)。以後前期のうちに巻一のうちより主要部分を講読(8~13)、後期に入って巻二・巻三より主要部分を取り上げて講読する(14~25)。作者二条の波乱に豊んだ人生を総括する(26)。作者は後深草上皇に愛されると同時に、他に二人の男性からも愛され交渉をもつ。その愛憎の苦悩からのちに出家、理想と仰ぐ西行法師にならって諸国行脚の修行の旅をした。その特異な人生体験の回想の記より、作者二条の自照精神を考えてもらう。

履修上の留意点

作品の講読を主とするが、作品全体を味読することは叶わないので、取り上げた以外のところも、是非目を通してほしい。授業時注釈書等参考資料を紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況等を参考にして評価する。

教科書

次田香澄校注『とはずがたり』(明治書院)2,100円

科目名	担当者名
随筆・評論Ⅰ	鈴木裕子

講義のねらい

『枕草子』を読む。表現の特色は何か、またこの作品はいかなる美意識に支えられているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなどを考察しながら読み、作品のおもしろさを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』に描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、作品のおもしろさを味わう。以下の計画で、精選した『枕草子』の章段を読む予定であるが、進行状況により柔軟に対応する。

(前期) ①『枕草子』概説

②枕草子の美意識…初段・第三四段・第八九段・第九八段・第二二四段～二二七段

③宮仕え生活1…第一七九段・第二〇段・第二一段・第七八段・第九五段

(後期) ④宮仕え生活2…第四六段・第一二八段・第一三一段・第一三二段・第一〇二段

⑤中関白家没落…第一五六段・第八〇段・第五段・第六段

履修上の留意点

授業は主としてテキストやプリント教材を用いての講義形式だが、頻繁に小作文などの課題を課す。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

石田穰二訳注 角川文庫『枕草子上・下』(角川書店) ※必ず上下とも購入のこと。その他プリント教材。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
歴史文学Ⅰ	籾部幹生

講義のねらい

歴史文学のなかから、代表的な歴史物語である『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学Ⅱ」の講座のなかで、『大鏡』を読み、雑雑物語(昔物語)の一部と、その関連作品を中心に扱ったので、今年度は、序文と、雑雑物語(昔物語)の続きに当たる部分を講読する。ただし、『大鏡』の他に、『栄花物語』のような、関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ること、歴史文学についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』序文と雑雑物語(昔物語)や関連作品を読み進める。1 ガイダンス。2 歴史文学概説。3 大鏡概説。4～8 序文講読。9～24 雑雑物語(昔物語)および関連作品の講読。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する短い意見文(400字)を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡(該当者・テーマ・提出期限など)を行なうので、必ず出席すること。

教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつと紹介する。

科目名

担当者名

説話文学 I

その べ みき お  
園 部 幹 生

講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)

参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつと紹介する。

国  
文  
科

科目名

担当者名

軍記文学 I

まか ぐち ひろ ま  
坂 口 博 規

講義のねらい

軍記文学の代表である『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』は平家一門の滅亡の物語で、その原因をなした平清盛の悪行を探るとともに、平家一門を滅亡に追い込んだ木曾義仲や源義経自体も滅びに至る存在であり、いわば『平家物語』の三主人公の無常なる姿への関心を求めたい。

講義の内容・授業スケジュール

物語の主題である「盛者必衰」に即して、上記三人の栄光と没落の姿に「無常」の文学性を考えるが、本年は特に平清盛を中心に作品を読む。開講時に軍記文学について解説し(1)、次いで『平家物語』について概説する(2～5)。特に『平家物語』は複雑な成立事情を持っており、伝本も多い。琵琶法師の語りを前提とした語り本系諸本(流布本もその系統)や書冊の読み本として成立した読み本系諸本とがあり、内容も変化している。こうした諸伝本の問題や文学性等を解説した後、清盛の非業の最期に至る前半部を読む。時間的に可能であれば、義仲や義経の悲劇についても考えたい。

履修上の留意点

作品の読解を中心に進めるが、『平家物語』全体を通読することは叶わないので、受講者には、出来るだけ授業で読まない物語部分についても目を通してほしい。

成績評価の方法

定期試験の成績に、出席状況を加味して判定する。

教科書

野村宗朔著『昭和校訂平家物語』(武蔵野書院) 1,800円

科目名	担当者名
連歌・俳諧 I	越後敬子

講義のねらい

連歌の発生・隆盛から初期俳諧への移行、芭蕉の蕉風俳諧確立へという、連歌・俳諧の歴史的な流れを把握するとともに、連歌・俳諧が複数の作者によって長句(五・七・五)と短句(七・七)を交互に付け連ねてゆく「付合文芸」であることを理解する。また、いくつかの実作品を鑑賞することによって、その魅力に触れてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- |      |                  |                |
|------|------------------|----------------|
| (前期) | (1・2) 付合文学とは何か   | (3・4) 連歌の歴史—発生 |
|      | (5・6) 連歌の歴史—隆盛   | (7・8) 連歌作品鑑賞   |
|      | (9・10) 初期俳諧—貞門俳諧 | (11・12) 貞門作品鑑賞 |
| (後期) | (1・2) 初期俳諧—談林俳諧  | (3・4) 談林作品鑑賞   |
|      | (5~7) 芭蕉と元禄俳諧    | (8~10) 蕉風作品鑑賞  |
|      | (11・12) 芭蕉以降の俳諧  |                |

履修上の留意点

適宜、影印資料(当時の書籍をコピーしたもの)を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編『連句の世界』(新典社) 1300円

参考書等

櫻井武次郎『連句文芸の流れ』(和泉書院)  
 乾裕幸・白石悌三『新版連句への招待』(和泉書院)  
 その他授業時に紹介する。

科目名	担当者名
短歌 II	井上優

講義のねらい

携帯電話の普及で、メールを三十一文字でやり取りする携帯短歌が若者の間でブームになっている。また現代短歌では、例えば「宇宙船に裂かるる風のくらし色しづかに機械(メカ)はうたひつつあり」(井辻朱美)、「ハーブティにハーブ煮えつつ春の夜の嘘つきはどらえもんのはじまり」(穂村弘)といった、サブカルチャーをも取り込んだ表現世界の拡大が果敢に試みられてもいる。この授業では、日常の思いをメールにのせてコミュニケーションする若者をもあらためて魅惑し続ける短歌の実践の跡や可能性について、考察をして行く。

講義の内容・授業スケジュール

明治期以降の短歌を読むが、年代順に注釈と解釈を加えることを毎時間繰り返すのは、とかく無味乾燥になりがちなので、テーマをいくつか立て、それに即してさまざまな歌人の作品を横断する方法をとりたい。具体的には、I病、II性、III死、IV幻想といった観点からアプローチして行く予定。また、短歌作品に限らず、小説や随筆をはじめ、文学内のジャンルや他の学問領域をも自由に越境して、広く近現代の文化を読み解く能力を身につけることを目指す。そうした意味で、短歌をステップボードのひとつにして私たちの文化の営みを検討し直すことにしたい。

履修上の留意点

感性といったようなことに頼らず、毎時間が論理的にものを考える連続となるので、辛抱強い学習態度が要求される。短いレポートを書いたり、考えを口述してもらい討論したりもするので、科目登録はそうした努力を継続する意志が強固かよく内省して行くこと。授業中に私語や携帯電話の使用などをした者は以降の出席を許可しない。

成績評価の方法

学期末に教場筆記試験の予定だが、出欠状況や学習態度なども合わせて総合的に評価する。

教科書

主にプリントを配布して使用するが、文庫本で入手できるものは購入してもらう。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。

科目名	担当者名
俳句Ⅱ	石割透

講義のねらい

近代から現代にいたるまで、文学の主流とは離れた位置にありながら、その短い形式の所為もあって、根強い愛好者を持ち、創作、鑑賞の両面にわたって関心をもたれ続けてきた俳句の特質を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

俳句の歴史は近世をもって創始されるが、江戸時代の代表的な俳人の、松尾芭蕉、与謝蕪村、小林一茶などの名句から、近代での俳句革新をなしとげた正岡子規などの名句を鑑賞していく。また、互いに俳句を創作し、それを互いに発表し、鑑賞しあうことや、連句をつくる機会ももうけたい。また、これも多くの人々に愛されている川柳についても触れたい。また、俳画についても、実際に描いてみることも考えている。

履修上の留意点

俳句は、創作、鑑賞とも手軽で気楽な点に特色がある。古典的な名句については、読んできてほしいが、これといって特に前もって準備する必要もありません。

成績評価の方法

出席を重視する。またそのうえで、俳句創作、鑑賞についてのレポートなどで評価する。

教科書

現在、検討中。コピー、印刷物など、授業に際して、教員が準備することも考えています。

参考書等

授業時に指示する。

その他

俳句の創作については、互いにその作品を批評しあうことも試み、連歌俳諧をつくるに際しては、その都度、考えて進めていきたい。

国文科

科目名	担当者名
近・現代詩Ⅱ	井上優

講義のねらい

私たちは、目の前にあるものや現実中存在し得るものだけを表現するわけではない。近現代の詩作品を見渡せば、そこには直接目に見えるものを疑い、手につかむことができるものに安心することなく、それから逃れ続けるもの、すなわち近代の物質主義や合理主義、科学主義が廃棄しようとしたものを追い求め、それをいかに言語化するかという表現者たちの苦闘の跡を辿ることができる。この授業では主に、人間の、現実の奥深くに潜在する本質や神秘といったもの、これらの何をいかに詩は表象しようとしてきているのかを考察してみたい。またそれのみではなく、詩を読み書く行為の中で、それにたずさわる者白らが無意識に抑圧し忘却しているものはどのようなことかも考え直して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

明治期の石川啄木や高村光太郎たちから、現代の伊藤比呂美などまでの詩人たちの作品をいくつか取り出し、テーマを立てて、それに即して検討する。具体的には、前期はⅠ言語、Ⅱエロティシズム、Ⅲ引用、後期はⅣ象徴、Ⅴ情調、Ⅵイメージ、Ⅶジェンダーといった観点を予定。詩だけに限らず小説や評論、随筆などと同時に分析したり、また他の学問領域との自由な越境もしつつ、詩を足掛かりの一つにして文化現象を広く読み解く能力を身につけることを試みたい。

履修上の留意点

毎時間が論理的にもの考える連続となるので、辛抱強い学習態度が要求される。短いレポートを書いたり、考えを口述してもらい討論したりもするので、科目登録はそうした努力を継続する意志が固くかよく内省して行うこと。授業中に私語や携帯電話の使用などをした者は以降の出席を許可しない。

成績評価の方法

学年末に教場筆記試験の予定だが、出欠状況や学習態度なども合わせて総合的に評価する。

教科書

主にプリントを配布して使用するが、文庫本で入手できるものは購入してもらう。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。



科目名

担当者名

現代小説Ⅱ

ないとうひさこ  
内藤 寿子

講義のねらい

『世界の中心で、愛をさけぶ』『いま、会いにゆきます』。2004年度を象徴するこの2冊のミリオンセラーを担当した編集者たちは、「直木賞よりロードショー」を合い言葉にしていたそうです。つまり、本を作るにあたって、著名な文学賞を取るよりも映画化の実現を意識していたのです。このような小説と映像の不可分の関係は、どのように形成されてきたのでしょうか？講義では、小説と映像の関係を多角的に考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期)  
(1～3) 「ミステリー」の現在およびその特徴 (宮部みゆきほか)  
(4～8) 「ミステリー」の歴史およびその特徴 (松本清張ほか)  
(9～13) 「ミステリー」の映像化について考える (角川映画ほか)  
(後期)  
(1～3) 脚本家の仕事を考える (新藤兼人ほか)  
(4～8) 原作小説と脚本の関係を考える (『青の炎』ほか)  
(9～12) 映像化不可能な小説は存在するのか？ (13) まとめ

履修上の留意点

授業は講義形式ですが、映像資料も使用する予定です。また、担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物と出席状況をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

江藤茂博『映画・テレビドラマ 原作文芸データブック』(勉誠出版) 4,310円

その他

「現代小説Ⅰ」を履修していない人も、履修できます。

科目名	担当者名
児童文学Ⅰ	小林 治

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治が書いた童話をはたして児童文学とすることができるかという点についてはこれまで様々な議論があった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、ひいては「児童文学」という場合の「児童」の単なるジャンル名ではない、そのような物語を求める精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品（生前発表した唯一の童話集『注文の多い料理店』中の作品を含め）と、『風の又三郎』、『銀河鉄道の夜』など、後に「少年小説」とも名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出席状況を加味して評価する。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』、『同第8巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

国文科

科目名	担当者名
比較文学	木村 朗子

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまな可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心に課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名
有職故実	近藤 好和 <small>こん どう よし かず</small>

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、装束について、公家・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。

成績評価の方法

前・後期各一回の試験で判定する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

必要に応じて提示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名
話芸	桂 右團治 <small>かつら うだんじ</small>

講義のねらい

話芸の中の、講談・落語・浪曲それぞれの特徴をおさえ、その後落語の構成と面白さを探る。

講義の内容・授業スケジュール

話芸の成り立ち、構成を解説する。  
落語の登場人物とその背景を分析する。

履修上の留意点

日常の生活の中で、周りの人物を観察・分析してみてください。

成績評価の方法

話芸・落語に関する知識を択一・短答試験で問う等

教科書

必要に応じてプリント配布をいたします。

科目名	担当者名
女性学	内藤 寿子 <small>ないとう ひさこ</small>

講義のねらい

「女性」を取り巻く現在の状況は複雑です。家庭内の暴力に脅える「妻の姿」がとりざたされ、「涙は女の武器」といった表現が繰り返されます。さらに、「女は怖い」というイメージも消費されています。が、その一方で、世界各地から届けられるニュース映像は、「日本に生活基盤を持つ女性は本当に弱者なのか？」と、実は問いかけているのです。情報の洪水のなかで生きるわたくしたち。この事実と向かい合うためには、さまざまな情報を〈読む技術〉を磨くことが不可欠です。講義では、〈女性の現在〉を考えながら歴史をふりかえり、わたくしたちが生きる場所を〈読む技術〉を磨いていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)  
 (1～6) わたくしたちはどのような場所に生きているのか？(最新のニュースを題材に)  
 (7～12) 〈わたしの現在〉と〈女性の現在〉の関係を表現する(小論文演習)  
 (13) まとめ  
 (後期)  
 (1～6) 「近現代日本における女性の歴史」の再考(絵本・映画などを題材に)  
 (7～12) 〈わたしの現在〉と〈女性の歴史〉の関係を表現する(小論文演習)  
 (13) まとめ

履修上の留意点

担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間内に「小論文演習」をおこない、実践的な〈技術〉の習得を目指します。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物と出席状況をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

鹿野政直『現代日本女性史 フェミニズムを軸として』(有斐閣) 2,310円

国  
文  
科

科目名	担当者名
非言語コミュニケーション(音楽)	土井 晴人 <small>どい はるひと</small>

講義のねらい

音楽をコミュニケーションツールとしての側面から考察する。言葉は伝えたいコトを正しく伝えるために記号化、定義化している言語であるが、伝えたい内容を自分の言葉で明確化できない感情を伝えるにはとても不自由な言語でもある。音楽が言語としてどのように有効なのかを現代のモバイルコミュニケーションとともに推考する。

講義の内容・授業スケジュール

音楽の学術面よりも文化性に着目する。記号化された言語で正しい情報を伝達するためには、その言語の持つ定義を共有していなければならないように、感情などのあいまいさを正しくコミュニケーションするためには価値観を共有していなければならない。受け手が自由に価値観を創造してしまう聴覚表現は映像や絵画、文字などの視覚表現と比べるとミスコミュニケーションやディスコミュニケーションのリスクが高くなる事例を検証する。音楽が持つ一定のルールや法則がどのように琴線に触れるのかを紹介しながら、同じ価値観を共有することとはどういうことなのかを考える。また、コミュニケーションツールとしての携帯電話端末における着メロなども自己表現例として分析する。

履修上の留意点

授業に出席することが前提。

成績評価の方法

出席状況と最後の授業で提出していただくレポートにより評価する。

教科書

教科書、参考書は指定しない。資料はプリントして授業で配付する。

科目名

担当者名

非言語コミュニケーション(囲碁)

まつ だ なお ゆき  
松 田 直 行

講義のねらい

囲碁は「手談」と呼ばれる。言葉で会話するのではなく、手で碁石を並べることだけで互いの意図を察し、自分の考えを表現し、また相手の着手によって常に変わる新たな状況へ対応し続けることが必要になる。言語を使わないコミュニケーションとして日本の伝統文化に深く根ざした囲碁を、実際の対局を通して体験的に学び、言語によるコミュニケーションである国文学に対する視座をさらに広げてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

まったくの初心者を対象として囲碁のルールを講義し、実際に対局を行う。最初は9路盤(通常の19×19の碁盤より小さい9×9の初心者用)から始め、途中から13路盤を使用する。すでにルールを知っている者は、初心者への指導にあたってもらう。基本的な考え方や上達するためのヒントとともに、囲碁の文化史に関する講義もあわせて行う。(1)ガイダンス (2-3)基本ルール (4-5)囲碁の文化史 (6-7)対局の実際 (8)石の取り方 (9)死活 (10-12)実戦対局 (13)教場試験

履修上の留意点

授業での対局が主になるので、毎回出席することが前提となる。碁石と碁盤は、こちらで用意するので、購入の必要はない。

成績評価の方法

囲碁の基本と文化史に関する教場試験を実施し、出席状況ともあわせて評価する。

教科書

梅沢由香里著『すぐに打てる9路盤』(日本放送出版協会)税別1,000円を使用する。

科目名

担当者名

非言語コミュニケーション(将棋)

その べ みき お  
園 部 幹 生

講義のねらい

将棋の対局は、指し手を通した相手とのコミュニケーションによって成り立っている。本講座では、国文学の関連科目として、その中にある「言語によらないコミュニケーション性」を考えることを第一の目的とする。合わせて、将棋の文化史的な側面も講義したい。

講義の内容・授業スケジュール

将棋のルール、棋譜のつけ方等について講義し、時間中の実戦をもとにレポートを書くことで、言語によらないコミュニケーション性について考える。おりに触れて、将棋の歴史、将棋に関する格言等についても講義し、将棋の文化史的な側面についての理解も深める。1ガイダンス。2ルール。3実戦。4棋譜。5実戦。6戦術。7実戦。8多面指し。9実戦。10戦術。11実戦。12レポート。13教場試験。

履修上の留意点

時間中に実際に対局し、また、その実戦を基にレポートを書くので、遅刻をしないこと、また、出席をすること。

成績評価の方法

提出されたレポートとしての棋譜および自戦記による評価(勝敗によるものではなく、指し手についてのコミュニケーション性をどのように理解し表現してあるかをポイントに評価する)と、出席状況を総合して判断する。

教科書

テキストは必要に応じてプリントを配布するが、用具として、各自、将棋の駒(どのようなものでもよい)・盤(折り盤・紙盤・マグネット盤など、何でもよい)を用意すること。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	担当者名
映画と文学	小林 治

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円  
 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円  
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

国  
文  
科

科目名	担当者名
映像論	石 割 透

講義のねらい

フランスの画家、ダゲールが〈現像〉の技術を発展させ、〈写真術〉を発明したのは1839年、〈実〉をうつす写真は、折からの科学的、実証的精神の浸透、産業の進展によって急速に進歩し、普及する。こうした写真の構図は、絵画の影響を強く受けつつ、一方では絵画からの影響を離れ、独自のジャンルを獲得するにいたる。一方、絵画も〈写真〉の出現によって、大きくその役割の転換を余儀なくされ、絵画独自の美の追求に向かう。絵画と〈写真〉は、このように互いの強い影響関係のもとに、その歴史を展開させていく。この時間は、絵画とは異なる写真の独自性とは何か、というテーマを、絵画の展開と関らせながら考えていきたい。またエジソンがキネトスコープを完成したのは1889年、フランスのルミエール兄弟がシネマトグラフを発表したのは1895年、以後映画も急激に20世紀に入り、普及浸透し、急速な進歩発展をとげた。この時間は、後期には、簡単に、わが国の映画の歴史を説明しながら、とりあえずは、映画の技法を知るための映画用語を、実際に小津安二郎、溝口健二の映画を見ながら、確認していきたい。

履修上の留意点

写真や映画の歴史を知るために、古い写真、映画にできるだけ接してほしいと思う。

成績評価の方法

年間に2度ほど課題を与え、レポートを提出。その書かれた内容によって、評価する。それに出席状況、授業での態度などを考慮する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義により進行する。劇映画のビデオなどを実際に見ながら進める形式を、後期には時折採る予定。

科目名

担当者名

近代戯曲演劇

まつ だ なお ゆき  
松 田 直 行

講義のねらい

日本における近代演劇の成立と展開を中心とした演劇史の講義を進めながら、近代戯曲を読む。戯曲のテキスト研究だけでなく、パフォーマンスという表現＝コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考としたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) カイダンス (2) 歌舞伎開化 (3) 近代リアリズム演劇 (4) イプセンとチューホフ (5) 壮士芝居と新派 (6) 文芸協会と新劇の誕生 (7) 帝国劇場と女優の誕生 (8) 宝塚少女歌劇 (9) 浅草オペラ (10) 自由劇場と大正戯曲時代 (11) 築地小劇場 (12) 教場試験 (13) リポート提出

履修上の留意点

授業で実際に戯曲の一部を読み、またビデオを使って上演の一部を見ることもあるが、作品を通読する時間はないので、残りは各自で読んでおくことになる。

成績評価の方法

近代戯曲を読んで書くレポート1つと、近代演劇史に関する教場試験を行い、その合計で評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

演劇史についてはすべてプリントを配布する。読んでもらう戯曲や参考書は、適宜授業で指示する。

国  
文  
科

科目名

担当者名

現代演劇

まつ だ なお ゆき  
松 田 直 行

講義のねらい

様々なメディアに囲まれた現代社会において、生身の俳優の演技を観客が目の前で見る演劇という表現形式が持つ意義と役割を考える。現代演劇を鑑賞するための基礎知識としての現代演劇史を講義し、「演劇におけるリアル」とは何かを考えるが、その上で実際の舞台を見に行つてほしい。授業でVTRを使い上演の一部を見ることもあるが、演劇はその場に行つて体験しなければ作品に触れたことにはならないので。

講義の内容・授業スケジュール

講義では鴻上尚史作・演出の『天使は瞳を閉じて』、『トランス』と『リンダリンダ』を主に取り上げる。

履修上の留意点

授業期間内に上演される演劇作品を、自分で実際に見に行くことが必要になる（授業で随時公演の案内を配布する）。

成績評価の方法

実際の上演を見に行つた上で書いていただくレポートを最後に提出し、それに出席回数による平常点を加えて評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

科目名	担当者名
芸能研究	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行

講義のねらい

芸能とは何か。人間は、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為をなぜか必要としている。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為である。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能の本質を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代の呪術や神事と芸能の関係から説き始め、現在でも各地に伝わる風習や伝説、相撲、民俗芸能、大道芸などを素材として近代以前の芸能に触れるが、それをあくまで現代社会とつながる心性としてとらえたい。授業のスケジュールは、(1) 芸能を検索する (2-3) 相撲の起源と呪術 (4-5) 異界と異人 (6-7) 通過儀礼と境界の時間 (8) 花伝書を読む (9-10) 大道芸と放浪芸 (11) 漫才と喜劇 (12) 遊園地と博覧会 (13) 教場リポート作成

履修上の留意点

情報センターの教場で、パソコンを使用する。ログインするのにIDとパスワードが必要になる。キーボード入力とホームページを見る程度の初歩的な操作ができればよいので、特にパソコン操作に詳しくなくても問題はない。

成績評価の方法

出席と小レポートによる平常点に加え、最後に教場レポートを課す。レポートはすべてパソコンのワープロで作成し、メールで提出する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

国文科

科目名	担当者名
食文化を考える	ない とう ひさ こ 内 藤 寿 子

講義のねらい

日本が経済大国としての地位を確立した1980年代から、じょじょにわたくしたちの食文化は変わってきました。たとえば、現在、東京では世界のあらゆる国の食文化を体験することができますが、このような豊かさを支えるものは、いったい何なのでしょう。講義では、食文化を窓口に、わたくしたちと世界各国との関係などについて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1~3) ペットフードはどこから来るのか？(食文化と経済力の関係ほか)
- (4~8) わたくしたちはどんな「肉」を食べているのか？(「肉食」の歴史ほか)
- (9~12) 「料理」に関するメディアについて考える (13) まとめ

履修上の留意点

担当者の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)をおこなってもらう予定です。日程は調整しますが、フィールドワークをおこなうことが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物と出席状況をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

辺見庸『もの食う人びと』(角川文庫) 686円  
世相風俗観察会編『現代風俗史年表』(河出書房新社) 3,900円



科目名	担当者名
手話	いの井 うえみち よ代

講義のねらい 聴覚障害について理解し、簡単なコミュニケーションがとれるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 理論と実技

履修上の留意点 遅刻しないこと。欠席しないことが原則。

成績評価の方法 実技と筆記試験（出席率）

教科書 全日本ろうあ連盟『手話入門』

参考書等 全日本ろうあ連盟『わたしたちの手話』

その他 講義と実践、プリント配布

国  
文  
科

科目名	担当者名
点字	かねこ おきろ 昭

講義のねらい 日本点字の習得

講義の内容・授業スケジュール ①～②50音 ③濁音・半濁音 ④拗音・拗濁音 ⑤数字、アルファベット ⑥～⑦かなづかい ⑧数を含む言葉、外文字 ⑨一つづきを書く言葉 ⑩～⑬分かち書き ⑭～⑮符号など

履修上の留意点 教室での静粛、積極的参加

成績評価の方法 テスト

教科書 田辺淳也（たなべ・じゅんや）著『点字練習帳』（東京ヘレンケラー協会点字出版所業務課 Tel：3200-1310）900円＋消費税  
「点字器」点字器 N632（オレンジ／ブルー／グリーン／ピンク／グレーの5色スケルトンカラー）1,030円（非課税）20面以上単価980円（非課税）  
「点字用紙」90キロ厚 寸長サイズ（一人50枚）約110円～115円（税込み）  
※点字器と点字用紙は、日本点字図書館用具事業課（Tel：3209-0751）

参考書等 当山啓（とうやま・ひらく）著『改訂版点字点訳基本入門』（産学社）1,890円（本体価格）  
日本点字委員会『日本点字表記法・2001年版』大活字 1,200円（本体価格）

その他 視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時短時間、講義に含める。

科目名	担当者名
書道実習Ⅰ	かねこだいそう 金子大蔵

講義のねらい

書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることができる書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組めるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醜泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

国  
文  
科

講義の内容・  
授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書 (4・5) 牛橛造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醜泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書  
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書 (24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さにも拠るところが大きいです。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。

教科書

『書Ⅰ』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

科目名	担当者名
書道実習Ⅱ	なすたかよし 那須隆吉

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名

担当者名

編集実務

はせがわ  
長谷川 孝

国  
文  
科

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたらかしは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトと編集姿勢など、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択（評価）して、自分の表現をつくり出し発信する力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止め取捨選択するという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

科目名	担当者名
ジャーナリズム研究	はた の とし お 篠 野 寿 雄

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を実例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。時事問題の解説、朝日新聞社の見学も行う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、実学的な授業にする。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（質問・意見発表）歓迎。

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

**科目名****担当者名**

オフィス実務演習

もりもとまさ  
森本正恵**講義のねらい**

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

**履修上の留意点**

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけること。基本的事項については個別学習（予習）により理解をしておくこと。クラスでは、創造的学習を目標とする。  
・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。  
・疑問や質問は積極的に発言すること。  
『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていきますので、共に受講することを勧めます。  
また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

**成績評価の方法**

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

**教科書**

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』（嵯峨野書院） 2001年刊 2,400円

**参考書等**

プリントの他、授業で示します

**その他**

出席、レポート提出を自己管理できること。  
欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。  
連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp  
TEL&FAX：0467-33-1631

## 講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

更に「情報をどのように利用し、どのように発信するか」、また、「ネットワーク上で他者とのように付き合うか」（電子メール、文章表現、著作権問題、プライバシーの問題など）についても考えてゆくこととした。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 前期

- 1 教師紹介／講義内容解説／履修許可／アンケート
- 2 情報倫理概説（パスワードとIDについて）／起動～ログオン～終了／FDD 初期化／検索エンジンと WWW 体験
- 3 インターネット上で就職自己診断／情報サイトに登録／進学情報／資格取得／パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 4 電子メールのマナー／電子メール実習／URL の仕組み
- 5 パスワードの管理／タイピング練習
- 6 DOS コマンド（FDD のフォーマット）、バックアップのための FDD 同士のコピー、ファイルとフォルダの操作
- 7 解凍ツールの使い方／ファイルの種類と拡張子／メモ帳の利用／Word の基本操作
- 8 Word の基本操作（クリップボードの使用／ショートカット／縦書き／段組み／段区切り／脚注／ルビ／改ページ／ページ設定／印刷プレビュー／ヘッダーとフッター／印刷）
- 9 Word の基本操作（ワードアート／クリップアート／図形の調整／順序／グループ化／描画キャンバス／オートシェイプ／テキストボックス／図形描画ツールバー／テキストの折り返し／罫線と表の挿入／行や列の挿入と削除／セルの大きさの設定／罫線の種類／網掛け）
- 10 Word 実習、IME と難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
- 11・12 Word 実習 入力課題
- 13 背景設定・スクリーンショットの活用
- 14 ペイントによる描画・画像処理・画像フォーマット変換と拡張子・メールと添付ファイル
- 15 予備

## 後期

- 16 Excel 基礎講座（日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定）
- 17 Excel 基礎講座（セル・行・列の操作／Sort／ワークシートの操作）
- 18 Excel 基礎講座（数式の基本／簡単な計算／相対参照と絶対参照）
- 19 Excel 応用講座（基本統計量・関数の利用 AVERAGE,SUM,MIN,MAX）
- 20 Excel 応用講座（グラフ作成）
- 21 Excel 応用講座（関数の作成・関数の利用 COUNTIF,IF,NOW,DATE）
- 22 Excel 応用講座（財務関数 FV,PMT の使用）
- 23 素材と著作権／ハイパーリンク／相対パス・絶対パス／HTML のタグ
- 24～28 My ホームページを作ろう
- 29 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）
- 30 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

## 履修上の留意点

初心者～初・中級向け。受講希望者多数の場合は1年生を優先する。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

## 成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点（40%）、課題・レポート（60%）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

## 教科書

漢字文献情報処理研究会編『インターネットで広がる古典の世界 電脳国文学』（好文出版）2000/10、3、360円 ISBN：4-87220-041-1

参 考 書 等

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』  
(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN：4-061496034

国  
文  
科



## 講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。特に「情報活用」と「表現技術」について、就職・進学活動の視点も考慮に入れてアプローチしてゆくこととしたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 前期

- 1 教師紹介／講義内容解説／履修許可／アンケート
- 2 Wordの基本操作（クリップボードの使用／ショートカット／縦書き／段組み／段区切り／脚注／ルビ／改ページ／ページ設定／印刷プレビュー／ヘッダーとフッター／印刷）
- 3 Wordの基本操作（ワードアート／クリップアート／図形の調整／順序／グループ化／描画キャンパス／オートシェイプ／テキストボックス／図形描画ツールバー／テキストの折り返し／罫線と表の挿入／行や列の挿入と削除／セルの大きさの設定／罫線の種類／網掛け）
- 4～9 Wordの検索・置換機能と国文学研究への応用
- 10 Word実習、IMEと難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
- 11・12 Word実習 入力課題
- 13 MS-DOSコマンド、フィルタツール、正規表現
- 14 レポートの書き方講座
- 15 予備

## 後期

- 16 Excel基礎講座（日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定）
- 17 Excel基礎講座（セル・行・列の操作／Sort／ワークシートの操作）
- 18 Excel基礎講座（数式の基本／簡単な計算／相対参照と絶対参照）
- 19 Excel応用講座（基本統計量・関数の利用 AVERAGE,SUM,MIN,MAX）
- 20 Excel応用講座（グラフ作成）
- 21 Excel応用講座（関数の作成・関数の利用 COUNTIF,IF,NOW,DATE）
- 22 Excel応用講座（財務関数 FV,PMT の使用）
- 23 PowerPoint基礎講座（素材と著作権／新規スライドの作成、スタイルとデザインの適用、文字列の入力、保存、新しいスライドの挿入、書式設定、箇条書き、テキストボックス）
- 24・25 PowerPoint実習 マナー研究
- 26～28 PowerPoint発表会
- 29 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）
- 30 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

## 履修上の留意点

初級～中・上級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

## 成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点（40%）、課題・レポート（60%）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

## 教科書

漢字文献情報処理研究会編『インターネットで広がる古典の世界 電腦国文学』（好文出版）2000/10、3,360円 ISBN：4-87220-041-1

## 参考書等

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書1603 2002/04、714円 ISBN：4-061496034

# Ⅱ 專 門 教 育 科 目

## 2 英 文 科

英文科

## Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、国文科の専門教育科目のページに掲載しています。

### (2) 英 文 科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英米文学概論	短英1必(一類)	半期	4	高野秀夫	223
	短英1・2選必(二類)				
英語講読Ⅰ	短英1必(一類)	半期	2	ランドルフ, M.	223
Oral CommunicationⅠ	短英1必(一類)	半期	2	キーズ, P.	224
英文学史	短英1必(一類)	半期	4	永田喜文	225
英語講読Ⅱ	短英1必(一類)	半期	2	梅原敏弘	225
Oral CommunicationⅡ	短英1必(一類)	半期	2	キーズ, P.	226
Intensive EnglishⅠ	短英1必(二類)	半期	2	レオーネ, J. V.	227
Intensive EnglishⅡ	短英1必(二類)	半期	2	クボ, M. F.	228
Intensive EnglishⅢ	短英1必(二類)	半期	2	ブラック, A.	229
Intensive EnglishⅣ	短英1必(二類)	半期	2	サリバン, C.	230
Intensive EnglishⅤ	短英1必(二類)	半期	2	レオーネ, J. V.	231
Intensive EnglishⅥ	短英1必(二類)	半期	2	クボ, M. F.	232
Intensive EnglishⅦ	短英1必(二類)	半期	2	ブラック, A.	233
Intensive EnglishⅧ	短英1必(二類)	半期	2	サリバン, C.	233
英語学概論	短英1・2選必	半期	4	岡本誠	234
言語と文化	短英1・2選必	半期	4	岡本誠	235
日英語比較	短英1・2選必	半期	4	梅原敏弘	236
英文法論	短英1・2選必	半期	4	梅原敏弘	236
英語音声学	短英1・2選必	半期	4	モエ, R. A.	237
作品作家研究〔イギリス文学と映画〕	短英1・2選必	半期	4	広川治	238
作品作家研究〔20世紀アメリカ小説〕	短英1・2選必	半期	4	休講	
作品作家研究〔19世紀英文学〕	短英1・2選必	半期	4	高野秀夫	238
作品作家研究〔アメリカ20世紀文学〕	短英1・2選必	半期	4	湯浅陽子	239
米文学演習	短英1・2選必	半期	4	休講	
20世紀イギリス文学	短英1・2選必	半期	4	高野秀夫	240
アメリカ演劇	短英1・2選必	半期	4	ランドルフ, M.	240
20世紀アメリカ文学	短英1・2選必	半期	4	休講	
戯曲研究	短英1・2選必	半期	4	広川治	241
英米文学講読	短英1・2選必	半期	2	ブラック, A.	242
英米文学講読	短英1・2選必	半期	2	高野秀夫	242
英米文学講読	短英1・2選必	半期	2	湯浅陽子	243
聖書研究	短英1・2選必(一類)	通年	4	水島陽子	244
	短英1・2選(二類)				
西洋古典文学	短英1・2選必(一類)	通年	4	水島陽子	244
	短英1・2選(二類)				
イギリス史	短英1・2選必(一類)	半期	4	休講	
	短英1・2選(二類)				
イギリス文化事情	短英1・2選必(一類)	半期	4	アシュウェル, T.	245
	短英1・2選(二類)				

アメリカ史	短英 1・2 選必 (一類) 短英 1・2 選 (二類)	半期	4	ランドルフ, M.	245
アメリカ文化事情	短英 1・2 選必 (一類) 短英 1・2 選 (二類)	半期	4	休講	
時事英語	短英 2 選必	半期	4	岡本誠	246
英語演習 [英語音声の基礎]	短英 2 選必	半期	4	岡本誠	246
英語演習	短英 2 選必	半期	4	デンドウ, G.	247
英語演習 [ポキヤビュラリービルディング]	短英 2 選必	半期	4	梅原敏弘	247
英語演習 [時事英語へのアプローチ]	短英 2 選必	半期	4	セイジ, K.	248
英語演習	短英 2 選必	半期	4	ランドルフ, M.	249
英語演習	短英 2 選必	半期	4	ブラック, A.	249
英語表現	短英 2 選必	半期	4	梅原敏弘	250
英語表現	短英 2 選必	半期	4	岡本誠	250
英語表現	短英 2 選必	半期	4	高野秀夫	251
英語表現	短英 2 選必	半期	4	セイジ, K.	252
英語表現	短英 2 選必	半期	4	デンドウ, G.	253
英語表現	短英 2 選必	半期	4	ハードグレープ, B.	253
英語翻訳法	短英 2 選必	半期	4	梅原敏弘	254
通訳法 I	短英 2 選必	半期	4	内山浩道	254
通訳法 II	短英 2 選必	半期	4	内山浩道	255
Advanced English A	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	ランドルフ, M.	255
Advanced English A	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	デンドウ, G.	255
Advanced English A	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	サリバン, C.	256
Advanced English B	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	ランドルフ, M.	256
Advanced English B	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	デンドウ, G.	256
Advanced English B	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	サリバン, C.	257
News English	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	ハードグレープ, B.	257
English through Movies	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	岡本誠	258
英語とコンピュータ I	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	ブラック, A.	259
英語とコンピュータ II	短英 2 選 (一類) 短英 2 選必 (二類)	半期	2	ブラック, A.	260
同時通訳入門	短英 1・2 選 (一類) 短英 1・2 選必 (二類)	半期	4	トランブリー, J.	261
コンピュータ I	短英 1 選	半期	2	野崎芳秀	262
コンピュータ II	短英 1 選	半期	2	野崎芳秀	263
ビジネス実務総論	短英 1・2 選	半期	2	森本正恵	264
オフィス実務演習	短英 1・2 選	半期	2	森本正恵	265
オフィス・マナーズ	短英 1・2 選	半期	2	森本正恵	266

プレゼンテーション・スキルズ	短英 1・2 選	半期	2	湯浅陽子	267
ジャーナリズム研究	短英 1・2 選	通年	4	旗野寿雄	268
ビジネスイングリッシュ	短英 1・2 選	通年	4	杉山泰彦	268
日本語教育法 A	短英 1・2 選	半期	4	石田小百合	269
日本語教育法 B	短英 1・2 選	半期	4	石田小百合	269
※表現法 (話すこと)	短英 1・2 選	半期	2	萩原義雄	185
※表現法 (書くこと)	短英 1・2 選	半期	2	萩原義雄	187

英文科

---

---

**科目名****担当者名**

英米文学概論

たかのひであつ  
高野秀夫

## 講義のねらい

中世（古英語650-1150、中世英語1150-1500）からいろいろな時代を辿り、最後にロマン派時代を経て来た19世紀英文学と、アメリカ入植のビュリタニズムからネオ・クラシズムを経て来た19世紀米文学とは、互いに係わり合いながら独自性を発揮し現代に至る。それぞれの英米文学の流れを概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前半
1. 19世紀までの英文学
  2. ヴィクトリア女王朝 (The Victoria Age) 1837-1901
  3. 19世紀末および20世紀初頭
  4. 現代
- 後半
1. ロマンティシズムの時代 (1830-南北戦争)
  2. リアリズムの時代 (南北戦争後-第1次世界大戦)
  3. モダニズムの時代 (第1次世界大戦-第2次世界大戦)
  4. ポストモダニズムの時代 (第2次世界大戦-現在)

## 履修上の留意点

19、20世紀英米文学の作品を読み、文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

## 成績評価の方法

中間、期末テストと出席代わりのレポート。

## 教科書

教場にて指示。

英  
文  
科

---

---

**科目名****担当者名**

英語講読 I

ランドルフ, M.

## 講義のねらい

This is an introductory Reading in English course. Students will be required to read passages on a variety of topics, and pass five tests based on in-class reading. Students will learn a variety of techniques to increase vocabulary, reading retention, and fluency.

## 成績評価の方法

Students will be graded on test scores, homework assignments, class participation, and attendance.

## 教科書

『Active Skills for Reading: Book I』(Thomson)



## 講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The main text covers seven skill areas. These are communications, business, socializing, travel, hotels, money, and food and drink. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

## 履修上の留意点

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation reviewing what has been learnt

## 成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

## 教科書

Although the text will be announced later the students will require the following : An A 4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).

An English - Japanese dictionary.

---

---

**科目名****担当者名**

英文学史

なが たい よし かつみ  
永 田 喜 文

## 講義のねらい

イギリス文学の流れを概観する。各時代の社会的背景とともに、代表的な作家や作品を紹介・説明することで講義を進める。場合によっては写真やビデオも使用する。しっかりノートを取ること。授業中いかに集中するかが、単位習得につながる。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の流れは以下のとおり。

1. a) 授業の説明。b) イギリス概略。英文学とは何か。
2. 古英語期 (650-1150) の文学。『ベオウルフ』
3. チョーサーの時代。 4. ルネッサンスの時代。15世紀から16世紀。
5. 劇の発展。奇蹟劇からトマス・キッド、マーロウらシェイクスピアの先駆者たち。
6. シェイクスピアの登場。4期に分けて説明。
7. ミルトンの時代。ピューリタン革命前後
8. ドライデンの時代とポープの時代。 9. 小説の発展とジャーナリズムの確立。
10. ジョンソン博士の時代。 11. ワーズワスの時代。ロマン派の登場。12. テニソンの時代。
13. ハーディの時代から現代まで。

英  
文  
科

## 履修上の留意点

出欠はとる。レポート提出あり。レポートに関しては提出期日を必ず守ること。正当な理由なくして期日を守らない場合は、受け取らない。

## 成績評価の方法

出欠とレポート及び授業内提出物で平常点を出す。平常点と試験で評価をつける。

## 教科書

使用しない

## 参考書等

神山妙子編著『はじめて学ぶイギリス文学史』(ミネルヴァ書房)  
日本イギリス文学・研究所編『イギリス文学ガイド』(荒地出版)  
川崎寿彦『イギリス文学史入門』(研究社)

---

---

**科目名****担当者名**

英語講読Ⅱ

うめ ほん とし ひろ  
梅 原 敏 弘

## 講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、文型を中心とした構文の知識の整理と再確認を主眼としたハンドアウトを配り、例文を読みながら構文力の基礎の充実を図ります。その後で、雑誌や新聞の記事をハンドアウトにして配布し、読んでいくことにします。

## 履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

## 成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

## 教科書

使用しない

## 参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書 (*Longman Dictionary of Contemporary English* や *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English* 等の) を購入し、利用してください。

## 講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

## 講義の内容・授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the students can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas – such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

## 履修上の留意点

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

## 成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

## 教科書

Although the text will be announced later the students will require the following: An A 4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).

An English – Japanese dictionary.

## 講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their English, with emphasis on speaking and speech-making skills.

## 講義の内容・授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other.

## 履修上の留意点

Any student with 6 or more absences will fail the class automatically. Students who are unable to attend class due to illness or other circumstances should inform the teacher as soon as possible. Students who arrive after the teacher takes attendance will be marked 'late'. Two lates = One absence. In order to be marked late, you must explain to the teacher why you were late after class. If there is no explanation, the student will be marked absent.

## 成績評価の方法

Students' grades will be based on grades from:

40% : Speeches and Presentations (oral or written, details provided at first class meeting)

30% : Class Participation (speaking English in class, homework, class work, etc.)

30% : Attendance

The teacher will give letter grades for speeches and presentations, class participation and attendance. For speeches and class participation, here are the grades and their approximate values:

A = 90 - 100 points

B = 80 - 89 points

C = 70 - 79 points

D = 60 - 69 points

F = 0 - 59 points

For attendance, here are the grades and number of absences:

A = 0 - 2 absences

B = 3 absences

C = 4 absences

D = 5 absences

F = 6 absences

## 教科書

The text for this class is *let's Talk 2* (Cambridge University Press)

## 参考書等

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebooks, dictionaries, etc. with them.
- sit towards the front of the class.
- turn off all telephones, pagers, etc. before class.

## その他

My email address is centvin50@hotmail.com

## 講義のねらい

In this course students will develop their ability to write longer texts in English. The main aim is for students to produce 3,500-word assignments. These may be essays or formal reports. Students will also keep journals in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves.

## 講義の内容・授業スケジュール

Students are required to produce three essays or reports which need to be researched and drafted. These pieces of writing will involve the students in synthesizing information they have found through discussion or research and in presenting a point of view on a topic using evidence to support their position. Organising the writing so that it becomes a clear and reasoned statement of the student's own position will be a principle focus of the class. Each week students will also be asked to make entries of a particular length in their journals.

## 履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

## 成績評価の方法

Students are graded as follows:

1) Three Assignments = 75% (Assn. 1, 2, and 3 = 25% each).

Each assignment receives one of five grades:

Very good▲ (5 points)

Good▲ (4 points)

OK▲ (3 points)

Poor▲ (2 points)

Weak▲ (1 points)

To pass this course students need to have accumulated 11 points from the three assignments. If students are concerned that they are not accumulating enough points, they can re-submit assignments any number of times until a final deadline in December.

2) Journal assignments = 25% (0 × 2.5)

## 教科書

No textbook will be used.

## 講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L.L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

## 履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

## 成績評価の方法

Class Participation 25%  
Test Results 75%

## 教科書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

## 参考書等

None.

## その他

Class will be conducted in the language laboratory.

## 講義のねらい

(1) By the end of the course students will be able to speak English with improved confidence in situation they are likely to encounter when travelling abroad or when in a home stay;

(2) Students will increase their general fluency in spoken English.

## 講義の内容・授業スケジュール

The emphasis in this course is on spoken English. Students will be judged on how functionally communicative they become in the set situations and on the improvements they make in their general conversational fluency. Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

Students will take Entrance and Exit Tests at the beginning and at the end of the course. Improvement between the Entrance and Exit Tests is worth about a third of the final grade. Students will also take up to 5 Mini Tests through the semester to check on progress on material covered in class. Students will do 'Partner Taping' each week for homework.

## 履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

## 成績評価の方法

Students will be assessed on their English oral ability at the beginning and at the end of the semester. They will also have up to five mini tests on the material covered. Grades will be based on:

1. improvement in speaking ability over the semester based on the Entrance and Exit Test results (=30%);
2. performance on mini tests;
3. completion of homework partner taping;
4. effort shown in class;
5. attendance.

## 教科書

None. All materials will be provided by the teacher.

## その他

Students will need a mini cassette recorder and a B5 notebook.

## 講義のねらい

The purpose on this class is to help students improve their English, with emphasis on speaking and listening skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other.

## 履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebooks, dictionaries, etc. with them.
- sit towards the front of the class.
- turn off all telephones, pagers, etc. before class.

## 成績評価の方法

Students' grades will be based on grades from:

- 40% : Reports (details provided at first class meeting)
- 30% : Class Participation (speaking English in class, homework, class work, etc.)
- 30% : Attendance

The teacher will give letter grades for speeches and presentations, class participation and attendance. For speeches and class participation, here are the grades and their approximate values:

- A = 90 - 100 points
- B = 80 - 89 points
- C = 70 - 79 points
- D = 60 - 69 points
- F = 0 - 59 points

For attendance, here are the grades and number of absences:

- A = 0 - 2 absences
- B = 3 absences
- C = 4 absences
- D = 5 absences
- F = 6 absences

Please note: Any student with 6 or more absences will fail the class automatically. Students who are unable to attend class due to illness or other circumstances should inform the teacher as soon as possible. Students who arrive after the teacher takes attendance will be marked 'late'. Two lates = One absence. In order to be marked late, you must explain to the teacher why you were late after class. If there is no explanation, the student will be marked absent.

## 教科書

The text for this class is *Interchange 2*

## その他

My email address is centvin50@hotmail.com



## 講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material (graded readers) in order to develop confidence and fluency in reading. This approach, which is broadly called 'extensive reading', has been shown to be an effective way of helping learners to gradually improve their ability to comprehend more and more complex extended texts. The intention is to make reading English an everyday activity through which students cultivate a reading habit.

講義の内容・  
授業スケジュール

In the first class of the course, students will take a test to determine their reading level. Students will then start reading books at the appropriate starting level by borrowing them from the Book Bags which are brought to class or by borrowing them from the university library. Students are only allowed to borrow one book at a time from the Book Bags. After a student has read 5 to 7 books at her beginning level, she will move up one level and read the same number of books again at this new level. The target number of pages to be read over 12 weeks is 600 pages. Students will probably, therefore, move up two levels during the course of the semester. They will have to read 50 pages on average each week. In the penultimate week of classes in July a second test will be given to ascertain which level the students are reading at by this stage. In addition, students write reports (Reaction Reports) on every book they read. These are checked by the teacher and then returned to the student who then sticks the report into her notebook.

## 履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

## 成績評価の方法

Below is an explanation of how the course is graded : 50 pages read 601 and over improvement in level between the first and second reading tests 25 quality of Reaction Reports  
+ attendance  
+ effort shown  
+  $\alpha$  [to be determined by individual teachers]

## 教科書

All graded readers are provided. [Individual teachers may ask students to buy a textbook to supplement the graded readers].

科目名

担当者名

Intensive English VII

ブラック, A.

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than of IE III.

講義の内容・  
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L.L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Class Participation 25%  
Test Results 75%

教科書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参考書等

None.

その他

Class conducted in the language laboratory. All material and instruction in English.

英  
文  
科

科目名

担当者名

Intensive English VIII

サリバン, C.

講義のねらい

In this class we will work on improving your TOEIC score. At the same time you will practise speaking English so that your speaking ability continues to improve.

講義の内容・  
授業スケジュール

Initial and final mock TOEIC tests and two practice tests will be taken and training in effective test taking strategies will form the backbone of this course.

履修上の留意点

You will not be graded on scores on the real TOEIC test, but are encouraged to take this test either during the course or soon after its completion. A good score on the real test can be used to obtain credits within the Eibunka curriculum.

成績評価の方法

Your grade in this class will be calculated in the following way:  
25%Final TOEIC Test score compared to score on Initial TOEIC Test. (70points higher = 25%; 50points higher = 20%; 30points higher = 15%; 10points higher = 10%; no change = 5%; a drop = 0%)  
25%Scores on two Practice Tests. (Practice Test: Much better than previous Test = 12%; a little better than previous Test = 9%; no better than previous Test = 6%; a little worse than previous Test = 3%; much worse than previous Test = 0%)  
25%Completion of 10self-set TOEIC Homework tasks. (To be written in notebooks clearly labelled with the date. To be handed in every other Tuesday)  
25%Performance in class.

教科書

You will be expected to buy a Japanese TOEIC taking book of your own choosing and to work through this as your homework for the course.

科目名

担当者名

英語学概論

おかもと まこと  
岡本 誠

英  
文  
科

講義のねらい

英語は言うまでもなく、まずイギリスの言語であったわけで、それは現在でもそうであるわけだが、アメリカを代表とする若い国々の言語ともなり、さらに世界各地で使われるようになってきた。英語を母語とはしていない人までも国際的な場でのコミュニケーションの手段として英語に頼る。分かりやすく言えば、日本と韓国の人でさえ英語でなら話し合えるのだ。つまり、非英語圏での外国語教育のナンバーワンは英語である。言ってみれば、英語という言語は非常に出世したのである。

どうして英語はこのように出世したのであろうか。中学校以来、英語の学習をつい当たり前のように思ってしまったのかもしれないが、なぜだろう、即ち、なぜ英語はかくも世界中で使われるようになったのか、考えてみることは意味のあることであろう。

ところで、その世界のあちこちで使われているという英語がどれもびったり同じというわけではない。ご先祖のイギリスの地を離れて各々いざさか趣を変えている。このことは、社会が言語に影響を与えるという普遍的な側面を窺い知ることができる。

この講義では、上に記した趣旨に従って、国際的な視野で英語という言語を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歴史的区分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。英語の方言ならびにその変異種。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイは切っておくこと。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、小テスト、出席状況等を総合的に勘案して行う。

教科書

*What's Behind the Word* (英語の歴史こぼれ話)  
(Macmillan Languagehouse)

参考書等

適宜プリントを配布するが、お金があまっていてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。

ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』(研究者) 2,000円

科目名

担当者名

言語と文化

おかもと 岡本 誠

講義のねらい

日本は高 context 文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待ってて。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で “I'm here at the station” と電話すればそれこそ “What do you mean?” と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほのめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合う You and I are equal の世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもったない。「愚妻」だとか「豚児」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくる。英文のテキストを事前に配布した際には読みこなしておくように。

成績評価の方法

出席状況、発表状況、レポート提出、小テスト等を総合的に勘案して行う。

教科書

*How Culture Affects Communication* (ことばに映る文化の違い)  
金星堂出版

参考書等

適宜教場で指示する。

英  
文  
科

科目名	担当者名
日英語比較	梅原敏弘

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後に目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。

成績評価の方法

学期末の試験、レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用せず。

参考書等

小島義郎 著『日本語の意味 英語の意味』（南雲堂）  
 国広 編 『日英語比較講座』全5巻（大修館）  
 国広哲哉 著『日英語の比較』（現代英語教育-8）（研究社）  
 榎垣 実 著『日英比較表現論』（大修館）  
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻（研究社）

科目名	担当者名
英文法論	梅原敏弘

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が特に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

ハンドアウトに従って、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、指定の教科書の中から、時制、アスペクト（完了相、進行相）、法助動詞と仮定法、不定詞、冠詞、前置詞等の重要な文法項目もしくは日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説をし、練習問題をこなしていくことにする。

履修上の留意点

数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみること。

成績評価の方法

平常の授業時間内に2-3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。

教科書

Raymond Murphy 著 *Grammar in Use* (Cambridge University Press)

参考書等

クワーク著『現代英語文法』（紀伊国屋書店）  
 松波 有編『英文法』（大修館）  
 正保富三著『英語の冠詞がわかる本』（研究社）  
 江川泰一郎著『英文法解説』（金子書房）

## 講義のねらい

To introduce and teach students how to recognize and correctly produce English sounds through phonemic exercises based on the principles of Phonetics.

講義の内容・  
授業スケジュール

In class, students will be introduced to the principles of Phonetics through exercises which are designed to improve their aural recognition and oral production skills. Rather than teach the theory of Phonetics, key aspects will be introduced by example and pointed out when they occur. Prerecorded native English materials will be used in class. The course will begin with an introduction of the basic phonetic symbols to be used in the course. Students will be expected to memorize them and be able to write them from memory.

## 履修上の留意点

In addition to class lectures introducing Phonetics, students are encouraged to study individually outside of class using a computer program ("Sound Studies") designed specifically for that. The students can use any Windows system computer for this practice. In addition to individual study and practice, students will be required to periodically test their proficiency and progress at the college for grading purposes. Proficiency in recognizing and writing the phonetic symbols is very important and will directly affect grades. Students are expected to use these phonetic symbols to represent English sounds they hear rather than katakana. The "Sound Studies" program is comprised of five levels: Phonetic Sounds and four levels of vocabulary. The more than 3,500 words in the database correspond in level from easy to difficult. To go from one level to the next, students must have an accuracy of 95% or better. 20 points is given for successfully passing a level.

## 成績評価の方法

Grades will be based on ability and attendance. Ability is based on two factors: one is the level in Sound Studies which they have passed and the other is the average of any tests given in class. Attendance will then be factored into to obtain a Final Grade.

## 参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

## その他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科目名

担当者名

作品作家研究〔イギリス文学と映画〕

ひろかわ おおむ 治

講義のねらい

イギリス文学の作品とその映画化を1～3作ほど取り上げ、原文、翻訳、シナリオ、ビデオなどを活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、映画化作品のビデオ、DVDの入手状況も考慮した後に決定する。文学作品（小説または劇）がいかに映像化されているか、原作と映画化の比較を中心に授業を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

(9月) アンケート、レポート等説明  
(10月) 作品研究Ⅰ  
(11月) 作品研究Ⅱ  
(12月) テスト・発表・まとめなど

履修上の留意点

授業への参加を重視するので、遅刻（欠席と同じ扱いにする）、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点になるので注意。予習や復習よりも、まず授業中の集中度が勝負の授業。

成績評価の方法

出席などの平常点に課題レポートや小テストなどの点数を加えた総合評価となる。

教科書

プリント配布の予定。

参考書等

野町二、荒井良雄（著）、広川治、逢見明久（増補）『イギリス文学案内』（朝日出版社）4,800円

英  
文  
科

科目名

担当者名

作品作家研究〔19世紀英文学〕

たかの ひで おお 夫

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

教科書

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさまよう。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

この物語を原書で読み、他の作品の物語も言及する。登場人物の様々な問題点（孤独、神、偶然等）を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

(1) 口頭発表 (2) レポート (3) 7枚程度の論文

教科書

(1) George Eliot: *Silas Marner*  
(2) プリント

## 講義のねらい

今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍した Francis Scott Key Fitzgerald の『The Great Gatsby』を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。

若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、某男性化粧品会社の化粧品の名前にも「Gatsby」が使われている。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるかを感じとってほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 4月 映画に描かれている” The Great Gatsby”鑑賞  
レポートの書き方について（文献検索、引用表記等）
- 5月 第1章（19ページ）第2章（14ページ）第3章（19ページ）第4 & 5章（33ページ）
- 6月 第6章（13ページ）第7章（31ページ）第8章（15ページ）第9章（17ページ）
- 7月 レポート提出 Fitzgeraldとこの作品および家族の関係、あるいはこの作品のテーマ、作者の人生観や女性観について等、論文の書き方の練習も兼ねて、Microsoft Wordを使用して作成し、提出してもらう。なお、場合によっては授業中に小テストもある。

## 履修上の留意点

テキストを分担し発表してもらう。発表は前に立ち、コンピュータや書画カメラを駆使して資料を提示しながら、次の要領で行う：

1. 担当した部分の一部を Reading し、担当部分の要約をする。【文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうかが Reading で判るので重視する。また、全体の把握ができているかどうかは、自分の言葉で語る要約ができているか否かで判る。訳本をそのまま読むようなことをすると大幅な減点になる。】
2. 辞書で調べた注目すべき単語、英語表現、文法等について発表する。その部分に関係する作家のエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等を添えて発表するとなお良い。

発表の日に欠席しないこと。発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に発表に関する評価をコンピュータ上の所定ファイルに記入し提出する。発表に関するこのコメントの記入内容が、発表者以外の人の授業への参加度点として、評価の対象になる。

## 成績評価の方法

毎回の出席（50%）、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れないなどに見られる授業への参加度点（20%）、発表平均点（20%）、その他（10%）の総合点で評価する。

## 教科書

F. Scott Fitzgerald: *The Great Gatsby* (Arrow社またはその他の会社のものでも可)

## 参考書等

野崎孝編『20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald』(研究社)  
小堀用一朗著『スコット・フィッツジェラルド-人と作品-』(弓書房)  
ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳『ゼルダ-愛と狂気の生涯』(新潮社)  
Fitzgerald's *The Great Gatsby*-The Novel, The Critics, The Background Henry Dan Piper 著 (Charles Sc

## その他

第1回日の授業時に受講許可書を発行する。受講許可書を受理した者のみ、履修登録をすることができる。



---

**科目名****担当者名**

20世紀イギリス文学

たかのひでお  
高野秀夫**講義のねらい**

- (1) Natural Speed で英語の聞く能力を高める。  
(2) 教科書：

19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- (1) テープの英語  
(2) 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

**履修上の留意点**

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

**成績評価の方法**

研究発表、筆記試験、平常点（出席、レポート等）

**教科書**

授業時に指示する。

---

**科目名****担当者名**

アメリカ演劇

ランドルフ, M.

**講義のねらい**

This course will explore many aspects of American Theater. Students will study a variety of plays by notable American playwrights, chiefly from the 20th century. Students will learn performance techniques, interpretation, staging, and other aspects of theater. Through text and film, students should develop a clear understanding of some of the most influential plays from the US.

**成績評価の方法**

The course will be graded on attendance, participation, and preparedness. Students will receive grades on test scores, homework, and a final performance presentation.

**教科書**

To be announced.

**科目名****担当者名**

戯曲研究

ひろ かわ  
広 川 治**講義のねらい**

Shakespeareを中心に他の英米の劇作家の作品を1～3作ほど取り上げ、原文、翻訳、研究書ばかりでなく、上演、録音、ビデオなども活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、劇場での英米演劇上演予定も考慮してから決定する。授業では、セリフを聞き取るリスニングを行ったり、セリフを読む練習もすることもあるので、英会話の練習になる部分もあるだろう。単なる読む「戯曲」としてでなく、あくまでも「演劇」の台本としてテキストをとらえ、上演面や映画化の問題も研究していきたい。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- (4月) アンケート、上演予定、レポート等説明
- (5月) 作品研究Ⅰ
- (6月) 作品研究Ⅱ
- (7月) テスト・発表・まとめなど

**履修上の留意点**

授業への参加を重視するので、遅刻（欠席と同じ扱いにする）、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点となるので注意。予習復習よりもまず授業中の集中度が勝負の授業。

**成績評価の方法**

出席、授業内の発表などの平常点に、観劇レポート（配布するリストの公演より数本の舞台を選んで、各自がチケットを購入して〔1500～8000程度必要〕観劇後、レポートにまとめる）やセリフの暗記、英訳のテストなどの点数を加えた総合評価で成績をつける。

**教科書**

プリント配布の予定。

**参考書等**

野町二、荒井良雄（著）、広川治、逢見明久（増補）、『イギリス文学案内』（朝日出版社）4,800円

英  
文  
科

---

---

**科目名****担当者名****英米文学講読**

ブラック, A.

**講義のねらい**

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read. We will practice the following types of reading in class:

1. Skimming (speed reading and reading aloud without any tools)
2. Reading for Comprehension (using dictionaries and grammar books)
3. Interpretation and Analysis
4. Translating
5. Reading for Pronunciation

**講義の内容・  
授業スケジュール**

Although we will mainly read selections from the Harry Potter books, I hope to cover a broad range of materials, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics, dependent on student ability. I would like to welcome both continuing students as well as those beginning to read the Harry Potter series.

**履修上の留意点**

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

**成績評価の方法**

Attendance 25%  
Participation (Answering Questions, Reading Assignments) 25%  
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.) 25%  
Final Test 25%

**教科書**

No textbook will be used in this course.

**参考書等**

Students are required to bring both a bilingual dictionary and their notebook folders with them to each class.

**その他**

The class will be conducted bilingually.

---

---

**科目名****担当者名****英米文学講読**たかのひでお  
**高野秀夫****講義のねらい**

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- (1) Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
- (2) 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

**履修上の留意点**

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

**成績評価の方法**

中間、期末筆記試験、平常点 (出席点、レポート等)

**教科書**

- (1) *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)
- (2) プリント

## 講義のねらい

「Lost Generation」という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ（1899～1961）が、最初の長編 *The Sun Also Rises* の扉にガートルード・スタイン（1874～1946）の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。「Lost Generation」は、文学史上ではその世代に属する F・スコット・フィッツジェラルド（1896～1940）、ジョン・ドス・パソス（1896～1970）、ウィリアム・フォークナー（1897～1962）、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされている。

その世代の中から、ヘミングウェイの *A Farewell to Arms*（武器よさらば）を読む。ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。アメリカを代表する偉大な作家でありながら、必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がろうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることと死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 9月 映画に描かれている "A Farewell to Arms" を鑑賞し、どのような内容かを把握する。  
ただし、原作と異なる部分も多々あるので要注意。
- 10月 Book One 第1章～第12章  
11月 Book Two 第13章～第24章  
時間の関係で Book Three 第25章～第32章は省略。  
11月 Book Four 第33章～第37章  
12月 Book Five 第38章～第41章

## 履修上の留意点

ゼミのような発表形式の授業を行う。この授業はいわば「プレゼンテーション」の実践の場である。発表は前に立ち、コンピュータや書画カメラを駆使して資料を提示しながら、次の要領で行う：

1. 担当した部分の一部を Reading し、担当部分の要約をする。【文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうか、自分が Reading で判るので重視する。また、全体の把握ができているかどうかは、自分の言葉で語る要約ができているか否かで判る。】
2. 辞書で調べた注目すべき単語、英語表現、文法等について発表する。その部分に関する作家のエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等を述べる。  
自分の発表の日に欠席しないこと。発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に発表に関する評価をコンピュータ上の所定ファイルに記入し提出する。発表に関するこのコメントの記入内容が、発表者以外の人の授業への参加度点として、評価の対象になる。発表者でないからといって気を抜かず、傾聴すること。

## 成績評価の方法

毎回の出席（50%）、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れないなどに見られる授業への参加度点（20%）、発表平均点（20%）、その他（10%）の総合点で評価する。

## 教科書

Ernest Hemingway: *A Farewell to Arms* (Arrow 社またはその他の会社のものでも可)

## 参考書等

佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)  
石 一郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)  
中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)  
E.L. アレン著 藤久米ネ訳『オンリー・イエスタディー1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

## その他

前期科目の「作品作家研究」の第1回目授業時に、併せてこの「英米文学講読」について「受講許可願」を提出してもらおう。その時間に他の科目に出席していて、「英米文学講読」の教場に来れない場合は、授業後に、短大英文科事務室まで来て、「受講許可願」を提出してもらいたい。

受講を許可されると引き換えに、「受講許可書」を受け取る。定員を超えた場合はそれが無いと、履修登録してあっても無効となるので注意されたい。

また、受講予定していたが、後期になって受講を取り消す場合もあり得るであろう。その際は、後期授業開始時に短大英文科事務室に来て、その旨を科目担当者に伝え、「受講許可書」を返還していただきたい。これは最低限のルールである。

科目名

担当者名

聖書研究

みずしま ようこ  
水島陽子

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について  
(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)  
後期……主として新約聖書について  
(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。  
いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとうわりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらおう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・または筆記試験・出席重視

教科書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

英  
文  
科

科目名

担当者名

西洋古典文学

みずしま ようこ  
水島陽子

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシアに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシアにあると言っても、過言ではないだろう。  
そのギリシアの、自他ともに認める後継者となったのは、古代ローマ人であった。本講義では、ギリシア文化とローマ文化の差異に留意しつつ、両文化の神話の集大成である、ローマ人オウィディウスの『変身物語』を読む。その中で、数々のエピソードの原型と、後代への影響を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人  
『変身物語』(上)  
後期……ギリシア文化とローマ文化  
『変身物語』(下)

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。受講人数によっては個々に発表してもらおうかもしれない。また、各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

発表・筆記試験及びレポート

教科書

オウィディウス『変身物語』(上・下)(岩波文庫)

---

---

**科目名****担当者名**

イギリス文化事情

アシュウェル, T.

**講義のねらい**

このコースでは、現在のイギリス社会を色々な角度から考察する。イギリス社会を知ることにより、日本社会を客観的に見る目を養い、視野を広げることを目指す。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

まずイギリスの地理をとりあげ、その後、いくつかのテーマ授業スケジュールを柱としてみていく。教材には、既製の映像教材（ビデオ：映画）のみでなく、教師自身がイギリスで収集した生の資料や、彼自身の経験もふんだんに使い、イギリスの内側からの生きた情報も盛り込む。

**履修上の留意点**

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Three or more absences will incur a 5 - point penalty in the final grade for each absence above three. Two times late makes one absence.

**成績評価の方法**

Grades will be based on i). mini tests; ii). mid term and final tests; iii). effort shown in class; iv). attendance.

**教科書**

You will be advised about which textbook to buy in the first class.

英  
文  
科

---

---

**科目名****担当者名**

アメリカ史

ランドルフ, M.

**講義のねらい**

Students in this course will learn about roughly 300 years of America's history. From the early European colonies, and its formation into a sovereign state, to the events that led to a Civil War, Western expansion, the rising of the US as a super power in the 20th century. Information is provided through lectures and worksheets from the Internet reading and supplementary material.

**成績評価の方法**

The course is divided into five sections. Each section will have a quiz based on lectures and worksheets. Each test will represent 20% of the final grade will be calculated by test scores, homework assignments, and a final project. Attendance is crucial in order to get the information required to pass each test.

**教科書**

This course will use Internet based materials for the primary reading. Students will be required to do additional research in the library.

科目名

担当者名

時事英語

おかもと  
岡本誠

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

英  
文  
科

科目名

担当者名

英語演習〔英語音声の基礎〕

おかもと  
岡本誠

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文頭になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上（従来の方法での場合）、TOEIC600点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものがある。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the Joneses”と言う。また、もともとは人物の名前（実在の市長さん）であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名
英語演習	デンドウ, G.

講義のねらい	このコースの目的は英語でのコミュニケーション力の向上と共に学生たちに英語での自己表現に自信を持たせる事です。授業では広範囲に渡るさまざまな教材が使われます。
成績評価の方法	毎週の宿題、テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。
教科書	テキストはありません。教材は教員が用意します。
その他	目標のある学生をお待ちしています。

科目名	担当者名
英語演習〔ボキャビュラリービルディング〕	梅原敏弘

英  
文  
科

講義のねらい	英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ること为目标とする。
講義の内容・授業スケジュール	新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。
履修上の留意点	単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。授業ではパソコンを使うので、受講者はコンピュータの授業を履修するか、履修はしなくてもワープロソフトを使えることが必要となります。パソコンの台数に限りがあるので、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。
成績評価の方法	主に、授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。
教科書	使用しない。ハンドアウトを配る。
参考書等	小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂) 渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書) 梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)



## 講義のねらい

The aim of this course is to enjoy using English by talking about people and discussing events that are current and popular in 2006 around the world. For example, movie stars and their lives, or up and coming international events, like sports competitions. Mainly the focus is on speaking, however there is also some listening and reading of internet website printouts, magazines and CDs which will be used in class. Let's try to actively communicate in English in class!

講義の内容・  
授業スケジュール

The main themes covered in this course will be taken from those people and events currently featured in the media worldwide. Generally the course focus will look at what is happening in the world, who is popular, and current topics on television, the internet, in magazines, movies and etcetera. Sometimes, there will be similarities between Japan and other countries, but also differences. So links and comparisons can be talked about as a class, in English.

We will practice speaking in English in different ways such as through teacher guided discussion, role-plays (interviews, telephone conversations, and etcetera), small presentations and mini-group projects. Before doing these tasks we will look at useful expressions, vocabulary and phrases to help you with your spoken English expression. Copies of class topics and information will be given in worksheets, handouts and printouts.

## 履修上の留意点

This English speaking course hopes to give you more time, skills and confidence to speak in English. Practice your speaking with the teacher and other students in class as you work together to do the in-class tasks and prepare for your pair group projects.

## 成績評価の方法

Assessment is throughout the semester, to build your English speaking and provide ongoing feedback from the teacher to help you.

## 1. In-class participation/Attendance 25%

Come to class and try to practice your speaking (about a mark per lesson)

## 2. Worksheets - Take home, individual work 30%

Take-home, individual work three times (as below) to complete, at 10% each.

1) Start; 2) mid; and, 3) end of semester.

Reviewing class communicative expressions, vocabulary, and formats (interview, phone structure, and etcetera).

## 3. Pair work - Mid Semester 20%

Perform and interview or telephone conversation in front of the class

## 4. Group work - End of Semester 25%

Collection of English material and presentation -

Choose a person or event and collect internet, magazine newspaper articles, etcetera about them or it and present to the tell the class on your topic.

## 教科書

No textbook will be used. The teacher will provide real world examples of telephone conversations, interviews, and the like as found in the media - on the internet, in magazines and newspapers, etcetera. Copies will be given in class as handouts, worksheets or printouts.

## 参考書等

Have a good bilingual dictionary and bring this to class. It would be preferable to have internet access and CD player ability as well.

---

---

**科目名****担当者名****英語演習**

ランドルフ, M.

**講義のねらい**

This is a seminar course intended to increase both speaking and oral communicative skills. The focus of this course will be 'Important Women in World History'. Students will study, discuss, and offer individual presentations on women throughout history who have influenced world events. Materials may include film, individual writings, and other relevant documentation.

**成績評価の方法**

Each student will be graded on attendance, preparedness, participation, and presentation. The second category of grading will rely on testing, homework, and general contribution to the class.

**教科書**

To be announced.

---

---

**科目名****担当者名****英語演習**

ブラック, A.

英  
文  
科**講義のねらい**

The aim of this course is to improve not only the students' listening ability but improve their understanding of different ways of life as well as different means of expression. We will make use of both audio-visual and written materials in this class. I invite each student to express her opinions and understandings.

**講義の内容・  
授業スケジュール**

Taking up various themes such as ideas of love and respect, dreams and courage, racial discrimination, etc., students will watch the assigned movies both in class and out of class on a weekly basis, fill out listening worksheets, write short essays based on their reactions and then we will cover the themes in forum discussion. We will study each movie in detail to better understand the language and concepts involved.

**履修上の留意点**

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

**成績評価の方法**

Attendance	25%	
In-class Participation (Listening Worksheets, Plot Summaries, Character Trees, Questions, Discussion)		25%
Homework (Writing and Listening Assignments, Opinion Papers)		25%
Final Test	25%	

**教科書**

No textbook will be used in this course.

**参考書等**

Students are recommended to bring a bilingual dictionary and prepare notes for discussion.

科目名

担当者名

英語表現

うめ はら とし ひろ  
梅 原 敏 弘

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指します。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、表現力の基礎を作る。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

一週に15センテンスずつものにしていきます。テープに録音されたセンテンスをディクテーションし、答え合わせをしたあと、Shadowing, Repeating の練習をし、よどみなくすべてのセンテンスを言えるよう訓練します。その際、英語のリズムに最大限の注意を払います。正しい英語のリズムでセンテンスを言わないと、よどみなく言えないからです。またリズムだけではなく、個々の単語の発音も、コンピュータに組み込んである辞書ソフトの発音機能を使って、発音練習します。  
よどみなくセンテンスを言えるようになったら、各センテンスの役立ちそうな表現を選んで表現練習をします。

履修上の留意点

コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作が出来ない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。受講希望者は第1回目の授業に出席し、説明を聞き、第2回目の授業の時に履修するかどうかをはっきりさせてください。講義の説明を受けないで、履修届を出すことはやめること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、学期の半ば及び終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。出欠席は重視する。

教科書

テキストは使わない。

参考書等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

英文科

科目名

担当者名

英語表現

おか もと まこと  
岡 本 誠

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまり listening comprehension の力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば

- ・アメリカへの移民の歴史
- ・入植者と先住民の対立
- ・黒人の苦勞
- ・Fast food の文化と健康の問題
- ・Walt Disney とその事業
- ・Hawaii の歴史

etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

---

---

**科目名****担当者名****英語表現**たかのひでお  
**高野秀夫**

---

**講義のねらい**

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

**履修上の留意点**

- (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみることに。

**成績評価の方法**

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各1回テスト
  - (a) 英語ニュース
  - (b) 教科書の英作文
  - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

**教科書**

- (1) *Unique English Composition* (Vol I・II)
- (2) *TV News Watching・21 Approaches*

英  
文  
科

## 講義のねらい

The aim of this course is to look at popular and communicative writing styles used in English in 2006 – such as in emails, letters, on the internet, in newspaper and magazine articles – and help you to write some of these. For example, writing to someone by email, participating in an online discussion or a short letter to the editor of a magazine – all in English. Mainly the focus is on writing, but also some reading of short internet, newspaper and magazine articles to know the latest topics around the world. Build your grammar, expressions and vocabulary in emails, letters and small writing tasks.

## 講義の内容・授業スケジュール

The main themes covered in this course will be taken from current topics, featured on English websites, and in English newspapers and magazines found in Tokyo. So current national and international topics will be the focus – things happening inside, outside and linked to Japan. For example, famous people and events in the news, etcetera. Learn to express your opinion to an English speaking friend in an email, in an online discussion or write a letter to an English magazine in Tokyo or overseas.

Practice different ways of writing, but before doing these tasks we will look at useful expressions, vocabulary and phrases to help you with your written English expression. Easy to read copies of topics information will be provided in printouts by the teacher. Individually, in pairs and in small groups do worksheets and small activities to practice your different writing styles, such as writing an email to someone and replying to someone, and designing your own English web page.

## 履修上の留意点

This English writing course hopes to give you more time, skills and confidence to write in English, to English speakers about internationally popular and 2006 topics. Both as an individual and also with the other students in class as you work together to do the in-class tasks and prepare for your pair group projects.

## 成績評価の方法

Assessment is throughout the semester, to build your English writing and provide ongoing feedback from the teacher to help you.

1. In-class participations/Attendance 25%  
Come to class and try to practice your writing (about 1 mark per lesson)
2. Worksheets 30%  
Take-home, individual assignments  
3 to complete, @10% each.  
1) Start; 2) mid; and, 3) end of semester.  
Reviewing class written expressions, vocabulary, and formats in an email, letter, on-line discussion or short letters
3. Pair work – Mid Semester 20%  
Write an email to someone in a different country about a topic and also write their reply.
4. Group work – End of Semester 25%  
Design a website page (on paper) in English about a certain topic.

## 教科書

No textbook will be used. The teacher will provide real world example copies of email exchanges, online discussions and newspaper, internet and magazine articles as found in the media. These will be given out as class handouts, worksheets or printouts. Any grammar points will also be provided in handouts by the teacher (English Grammar in Use and Advanced Grammar in Use – Oxford University Press).

## 参考書等

Have a good bilingual dictionary and bring this to class. Internet access would be helpful and being aware of the places where English written material is given out free and can be found in Tokyo.

科目名	担当者名
英語表現	デンドウ, G.

講義のねらい

このコースは学生のライティング力の向上に重点をおきます。センテンスやパラグラフの作り方や様々な状況に応じた手紙の書き方、日記のつけ方、それに書き取りの練習などを勉強します。

成績評価の方法

毎週の宿題、テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。

教科書

テキストはありません。教材は教員が用意します。

その他

目標のある学生を待っています。

科目名	担当者名
英語表現	ハードグレーブ, B.

英  
文  
科

講義のねらい

Just as spoken Japanese and written Japanese is different, so too is spoken English and written English. Spoken English is usually more relaxed and less formal, and sometimes includes speakers of different countries, with different accents, who use different expressions. The overall goal of this course is for the students to lose their fear of naturally spoken English. Often when Japanese students watch English TV sitcoms (e.g. *Full House*, *Friends*) or TV dramas (e.g. *ER*, *Desperate Housewives*) they say that the English is too fast. But this is not true. Usually the English is spoken naturally, by native speakers at normal speed.

講義の内容・  
授業スケジュール

Of the four main language skills, that is listening, reading, writing and speaking; we will be focusing on listening and reading. Students will be firstly watching English movies or TV programs, and then listening while reading the transcript. Students will then fill out reports to check their understanding and reactions to the materials.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and be punctual. If students either miss a class, or are late, and can not give a legitimate reason, their Attendance Score (total 25%) will be lowered.

成績評価の方法

Students will receive two separate scores, an Attendance Score worth 25% and an Assessment Score worth 75%, outlined below:

- 1) Mini Listening Tests 25%
- 2) Reaction Reports 25%
- 3) Group Presentations 25%

教科書

No textbook is required for this course. But you may need to use your Komazawa computer user ID and password.

参考書等

Occasionally students will be instructed to get the latest English TV guide from newspapers (e.g. *The Japan Times* or *Daily Yomiuri*), or study movie reviews from online magazines (e.g. <http://metropolis.japantoday.com/tokyo/recent/movies.asp>).

科目名

担当者名

英語翻訳法

梅原敏弘  
うめ はら とし ひろ

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文をほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点をとりあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、話法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。

成績評価の方法

学期の中間および後半にそれぞれ試験を行い、成績を評価します。課題をやってこなかったり、正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用しません。

参考書等

別宮貞徳著『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)  
別宮貞徳著『翻訳読本』(講談社)  
河野一郎著『翻訳上達法』(講談社)  
東田千秋著『直訳という名の誤訳』(南雲堂)

英  
文  
科

科目名

担当者名

通訳法Ⅰ

内山浩道  
うち やま ひろ みち

講義のねらい

通訳の技術を身につけるための基本訓練の理論と方法について講義し、その後で基本訓練の実践にはいる。テキストは和文テキストと英文テキストの両方。

講義の内容・授業スケジュール

1回～3回：シャドウイングの理論と訓練—聞こえてくるテキストを、そのまま同じ言語の同じ言葉で繰り返す—

4回～最後：ノートテイキングの理論と訓練(リテンションとリプロダクション)—ノートを取りながら原文テキストを再生する—

履修上の留意点

授業での辞書使用

成績評価の方法

課題のプレゼンテーションおよび通訳基本技術の実技を評価する。

参考書等

『「通訳理論研究」論集』(日本通訳学会『通訳理論研究』論集委員会)2004

科目名	担当者名
通訳法Ⅱ	内山 浩道 <small>うち やま ひろ みち</small>

講義のねらい

ノートテイキングの技能を基に行う逐次通訳理論の紹介と実践を目標とする。一分間以上で複数のトピックを含み、構造の入り込んだ談話を通訳する訓練である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回～最後：日英、英日の両方向の逐次通訳訓練。

履修上の留意点

「通訳法Ⅰ」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

課題のプレゼンテーションおよび通訳基本技術の実技を評価する。

参考書等

『「通訳理論研究」論集』（日本通訳学会『通訳理論研究』論集委員会）2004

英  
文  
科

科目名	担当者名
Advanced English A	ランドルフ, M.

講義のねらい

This course will offer students many different ways to experience and use English in a comfortable and competent way. Students will read interesting and challenging materials, have plenty of opportunities to practice their verbal skills in a relaxed environment, and have chances to acquire many techniques for improving their English. Both Advanced English A and B will explore English through discussions of written and recorded material, current events, film, TV, and pop culture.

成績評価の方法

Grading will depend on participation, attendance, preparedness, and the student's contribution to the class. There will be tests, presentations, outside class projects, and perhaps even a few small writing assignments.

教科書

To be announced.

科目名	担当者名
Advanced English A	デンドウ, G.

講義のねらい

この授業の目的はニュース英語の勉強です。一年間の勉強を通して、英字新聞を読んで理解できるようになれる事を目指します。その上、ニュースに対して、自分の意見を言えるようにします。毎週約一時間かかる宿題、ポキャブラリーの小テストとニュースのリスニングとライティングの練習をやります。毎週の授業はこのパターンで行います。

成績評価の方法

毎週の宿題、テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。

教科書

テキストはありません。教材は教員が用意します。

その他

目標のある学生を待っています。



## 科目名

担当者名

Advanced English A

サリバン, C.

## 講義のねらい

The goal of this class is to improve students' speaking. During the lesson, students will practice their speaking skills by asking and answering questions from the textbook, as well as using free conversation. Students will also spend some of the lesson practicing listening skills. Once a week students will record a ten minute free conversation with a partner.

## 成績評価の方法

Grades will be based on three tests (33%), weekly recorded conversations (33%), and classroom participation and attendance (33%).

## 教科書

Leo Jones, "Let's Talk", Cambridge University Press.

## その他

Cassette Recorder

## 科目名

担当者名

Advanced English B

ランドルフ, M.

## 講義のねらい

This course will offer students many different ways to experience and use English in a comfortable and competent way. Students will read interesting and challenging materials, have plenty of opportunities to practice their verbal skills in a relaxed environment, and have chances to acquire many techniques for improving their English. Both Advanced English A and B will explore English through discussions of written and recorded material, current events, film, TV, and pop culture.

## 成績評価の方法

Grading will depend on participation, attendance, preparedness, and the student's contribution to the class. There will be tests, presentations, outside class projects, and perhaps even a few small writing assignments.

## 教科書

To be announced.

## 科目名

担当者名

Advanced English B

デンドウ, G.

## 講義のねらい

この授業の目的はニュース英語の勉強です。一年間の勉強を通して、英字新聞を読んで理解できるようになれる事を目指します。その上、ニュースに対して、自分の意見を言えるようにします。毎週約一時間かかる宿題、ポキャブラリーの小テストとニュースのリスニングとライティングの練習をやります。毎週の授業はこのパターンで行います。

## 成績評価の方法

毎週の宿題、テスト、授業態度、出席と授業の参加で決まります。

## 教科書

テキストはありません。教材は教員が用意します。

## その他

目標のある学生を待っています。

---

---

**科目名****担当者名****Advanced English B**

サリバン, C.

## 講義のねらい

The goal of this class is to improve students' reading skills. During the course, students will study the English used in e-mail, songs, advertisements, the Internet, poems etc. Students will spend the lesson reading, writing, and talking about these different types of English.

## 成績評価の方法

Grades will be based on number of pages read (33%), three tests (33%), and classroom participation and attendance (33%).

---

---

**科目名****担当者名****News English**

ハードグレイブ, B.

## 講義のねらい

The overall goal of this course is for the students to attain a higher level of awareness of current events in the news, both domestic and international, and perhaps get a different perspective on certain issues from that provided by the Japanese news media. Students will be looking at current news, mainly in English, but also in Japanese (e.g. bilingual newspapers - 週刊 ST), from a variety of sources, such as the internet, the radio, newspapers and magazines. Students will learn that even though they live in Japan, they have ample access to English news sources.

講義の内容・  
授業スケジュール

Of the four main language skills, that is listening, reading, writing and speaking; we will be focusing on listening and reading, as these two skills are the most vital when attaining news in English. Students will develop independence from the teacher so that they can find their way through English news media sources to get the information they want; whether it is business, society, entertainment, politics or sport, etc.

## 履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and be punctual. If students either miss a class, or are late, and can not give a legitimate reason, their Attendance Score (total 25%) will be lowered.

## 成績評価の方法

Students will receive two separate scores, an Attendance Score worth 25% and an Assessment Score worth 75%, outlined below:

- 1) Listening Assessment (internet video news and podcasts) 25%  
e.g.  
[http://www.cbsnews.com/sections/i\\_video/main500251.shtml](http://www.cbsnews.com/sections/i_video/main500251.shtml)  
<http://www.apple.com/jp/itunes/podcasts/>  
<http://www.cnn.com/>
- 2) Reading Assessment (online & print Newspapers) 25%  
e.g.  
<http://www.yomiuri.co.jp/dy/>  
<http://www.japantimes.co.jp/>  
<http://www.msnbc.msn.com/id/3044924/site/newsweek/>
3. Group Research (domestic & international topics) 25%

## 教科書

No textbook is required for this course. But please get a USB flash memory clip. Also, you will need to use your Komazawa computer user ID and password.

## 参考書等

Occasionally students will be instructed to purchase certain bilingual and English newspapers (e.g. the 週刊 ST and The Daily Yomiuri) during the course. Students will also be required to visit the library magazine room—'zashishitsu', to access foreign newspapers (e.g. The Washington Post).

**科目名**

English through Movies

**担当者名**おがもと まこと  
岡本 誠**講義のねらい**

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

**講義の内容・授業スケジュール**

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我々英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ“汚ない英語”を目標とすることはないのである。外国語を勉強するときは、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者の好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気品のいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行ないたい。つまり、逆トダ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

**履修上の留意点**

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

**成績評価の方法**

発表状況。小テスト。出席情況。

**教科書**

教科書の類は使用しない。

---

---

**科目名****担当者名****英語とコンピュータ I**

ブラック, A.

**講義のねらい**

The central aim of this course is to help students overcome any anxiety they may have with computers and the Internet, to expand their understanding of and confidence in using the computer as a tool for their studies, and to improve their English proficiency, especially concerning writing.

**講義の内容・  
授業スケジュール**

A broad range of fun and informative activities will be completed during the course of this class. Students will gather information from the Internet and write reports, keep a key-pal journal and learn how to produce their own homepage. Each student will receive as much personal attention as possible and assignments will be tailored to each student's ability.

**履修上の留意点**

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

**成績評価の方法**

Attendance 25%  
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders 50%  
Final Activity 25%

**教科書**

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

**参考書等**

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

**その他**

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, be sure not to miss the first class. The class will be conducted bilingually and we will make use of Windows computers primarily.

英  
文  
科

---

---

**科目名****担当者名****英語とコンピュータⅡ****ブラック, A.**

---

**講義のねらい**

The central aim of this course is to help students gain more confidence in their computer proficiency, to train students in the use of business applications, specifically Microsoft Office, and to improve their English business skills, such as writing business letters and resumes as well as preparing presentations.

**講義の内容・  
授業スケジュール**

Students will improve their facility with word processing software and various business applications such as Excel, Word, PowerPoint, and FileMaker (as time allows) through completing weekly assignments. By the end of the class, students should have gained confidence in data processing, word processing and the production of business presentations. Each student will receive as much personal attention as possible and assignments will be tailored to each student's ability.

**履修上の留意点**

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

**成績評価の方法**

Attendance 25%  
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders 50%  
Final Activity 25%

**教科書**

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

**参考書等**

Students are recommended to bring both a bilingual dictionary and their notebook folders with them to each class.

**その他**

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, be sure not to miss the first class. The class will be conducted bilingually and we will make use of Windows computers primarily.

## 講義のねらい

To introduce and teach students basic simultaneous interpreting skills.

## 講義の内容・授業スケジュール

Students will be taught the principle and method of interpreting simultaneously through actual interpreting exercises. Interpreting exercises will first be English to Japanese and then later Japanese to English. Two students will be randomly selected; one will speak naturally without pause and the other will simultaneously interpret.

## 履修上の留意点

The ability to speak smoothly, loudly, clearly and correctly is essential to this course. Students, therefore, are expected to prepare adequately before class. This means being able to present a 30-second talk in either Japanese or English without error. Failure to adequately prepare before class will result in low grades. This course is devoted to interpreting skills, so students with English language problems should work on those problems in other classes and outside of class.

## 成績評価の方法

Students will be evaluated on the accuracy of their interpretation, their delivery, pronunciation, grammar, and modulation. Each of these is evaluated on a scale of 0 -5, with 5 being the highest, and then the total multiplied by 4. This provides a Score for one paired interpreting effort. Normally, students will be paired twice for two interpreting evaluations. The two scores, ST 1 and ST2, are used in the following formula to determine the Current Grade:

The following formula will be used to determine the Current Grade:

$$((100 - 10X - 5Y) + (ST 1 + ST 2)) / 3 = \text{Current Grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

ST 1 = evaluation for first interpreting effort average

ST 2 = evaluation for second interpreting effort average

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The Current Grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

## 教科書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

## 参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

## その他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科目名

担当者名

コンピュータ I

の 野 さき 崎 よし 芳 ひで 秀

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS〔Operating System〕（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習  
ハードウェアの基本的な操作  
電子メールの送受信
- 6～7月 OSの基本操作、  
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集  
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多く作ってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。  
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を2枚が必要です。  
総合情報センターのオリエンテーションを受けて、ユーザー ID を取得しておく必要があります。

英文科

**科目名****担当者名**

コンピュータⅡ

野崎芳秀

**講義のねらい**

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部である OS〔Operating System〕（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト（ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等）の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータⅠを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来ることが必要です。

**講義の内容・授業スケジュール**

9～10月	OS の基本操作の修得 ワープロソフト（Word）を使用して表現力のある文書の作成及び編集を学ぶ
10～11月	表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能を修得し、実戦的な資料を作成して学ぶ
12～1月	プレゼンテーションソフト（PowerPoint）やホームページ作成ソフトを使用してパソコンを使っでの表現力を学ぶ

英  
文  
科**履修上の留意点**

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多く作ってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は 4 号館の自習室を利用しましょう。

**成績評価の方法**

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進度にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

**教科書**

正式の教科書は特に有りません。  
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ 2HD）を 1 枚が必要です。  
総合情報センターのオリエンテーションを受けて、ユーザー ID を取得しておく必要があります。



講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席届を出したうえで「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

## 科目名

オフィス実務演習

担当者名  
もりもと まさえ  
森本正恵

### 講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

### 履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。基本的事項については個別学習(予習)により理解をしておくこと。クラスでは、創造的学習を目標とする。  
・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。  
・疑問や質問は積極的に発言すること。  
『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。  
また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

### 成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

### 教科書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

### 参考書等

プリントの他、授業で示します

### その他

出席、レポート提出を自己管理できること。  
欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。  
連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp  
TEL&FAX：0467-33-1631

英  
文  
科

**科目名****担当者名**

オフィス・マナーズ

もりもとまさえ  
森本正恵**講義のねらい**

ビジネス社会で組織を構成している人たちの世代は、学生時代とは異なっている。顧客、上司、先輩、後輩と多種であり、しかも、それぞれの年代も異なる。オフィス・マナーは、このような世代を超えて、人と人との人間関係を良好に結ぶために、お互いを尊重し好印象を与えて業務を推進するための基本的な心得である。オフィス・マナーを心得ていることは、自分も相手も大切に作る人間としての基本であるといえる。

社会人となって活躍するためには、オフィス・マナーズの習得と実践が不可欠である。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方、評価について：第1章 ビジネス社会の常識）
2. ビジネス社会での人間関係
3. 第2章 仕事をするための基礎知識：好感をもたれる服装、挨拶、言葉づかい
4. 仕事のすすめ方：仕事への取り組み方と確実な仕事の基本
5. 第3章 ビジネスマナーの基本：敬語の種類と使い分け
6. 電話応対の基本と応用：電話のかけ方と受け方、取次ぎ電話、伝言を受ける場合
7. 来客応対の基本：訪問のマナー-訪問の心得、名刺の扱い  
来客応対-心構え
8. 来客応対の応用：受付、取次ぎ、案内、接待、見送り
9. 社会人としてのつきあい：冠婚葬祭の知識とマナー
10. 慶弔のマナー
11. 贈答と交際業務：中元・歳暮、お見舞い、接待・食事のマナー
12. テスト

**履修上の留意点**

グループワークによる実習を主体に進める。遅刻、居眠り、欠席などメンバーに迷惑をかける人の受講は望まない。受講者数を50名に制限するので、受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席すること。授業に積極的な学生の参加を主体とするので、当日、受講希望についてレポート（400字程度、連絡先明記）を作成するので提出すること。結果は2、3日中に連絡する。

**成績評価の方法**

出席及びレポート提出もテストと同様に重視する。期限の送れた提出物は評価しない。予習、復習を自分できちんとしておくこと。ロールプレイングの実技テストも課する。

**教科書**

青木テル著『ビジネス・マナー』（早稲田教育出版）1995 1,262円

**その他**

欠席の届は、必ずしておくこと。やむを得ず事後の場合も下記へ届けること。

連絡先：miki.morimoto@nifty.com  
morimom-228@ezweb.ne.jp  
0467-33-1631 (tel&fax)

## 講義のねらい

これからのオフィスワーカーに求められる、最も基本的で重要な能力はプレゼンテーション能力である、ということがILOのレポートや厚生労働省の調査結果などにより明白になっています。IT化が進みグローバル時代になった今、これまで日本人には不得手とされていた、積極的な自己表現力が求められます。

本講義では、実社会で求められるプレゼンテーションの仕方と、効果的な「表現力」について学び、学生時代に授業の中でそれを実践できるスキルを養成します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 プレゼンテーション入門「とにかく声を出そう」
- 第2回 構成が命一話の構成を作る技法
- 第3回 話し方のチェック「忘れられない出来事」
- 第4回 プレゼンを成功させる話し方の基本
- 第5回 1分間スピーチ「ちょっと気になる話」
- 第6回 効果的な資料の作成「PowerPoint（1）」
- 第7回 効果的な資料の作成「PowerPoint（2）」
- 第8回 効果的な資料の作成「PowerPoint（3）」
- 第9回 プレゼンの実践（1）
- 第10回 プレゼンの実践（2）
- 第11回 プレゼンの実践（3）
- 第12回 プレゼンの実践（4）
- 第13回 授業全体のまとめ

## 履修上の留意点

この授業はコンピュータ室で行います。4月の総合情報センターのオリエンテーションに出席し、ユーザーIDを取得したうえで、受講してください。履修登録前に担当教員の許可を得ることが必要です。受講許可書は、前期授業開始日から履修登録前日までの間に、短大英文科事務室にて「先着順」に発行します。定員になり次第締め切ります。

## 成績評価の方法

毎回の出席(25%)、ワークシートの提出(25%)、プレゼンテーション発表点[音声&外観](30%)、ビジュアル資料作成点[構成&アニメーション効果](20%)の総合点で評価します。

## 教科書

特にありません。

## 参考書等

「効果的な資料の作成」で、Microsoft社のPower Pointを使用します。使い方は口頭で説明しますが、必要に応じてPower Pointの解説をしている本（どこの出版社でもよい）を用意してください。

## その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「サービス一覧」に入り、PC講習（Web上）にて練習しておいてください。

科目名

ジャーナリズム研究

担当者名

はたのとしお  
篠野寿雄

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。時事問題の解説、朝日新聞社の見学も行う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。  
記者やアメリカ生活などの経験を生かし、実学的な授業にする。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（質問・意見発表）歓迎。

英  
文  
科

科目名

ビジネスイングリッシュ

担当者名

すぎやまやすひこ  
杉山泰彦

講義のねらい

総合商社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期の初期に貿易の形態と商売の流れを教え、基本文体を10～15パターン覚えさせる。後期は具体的に自分で作文することを反復する。

履修上の留意点

学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して独人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

成績評価の方法

学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

教科書

田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）

参考書等

参考書は日商岩井欄が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考としたい。

その他

大手商社が法的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考とした。

**科目名**

日本語教育法 A

**担当者名**

石田 小百合

**講義のねらい**

外国人が日本語を学ぶ際に、どのようなことが問題になるのかを見ていくことによって「ことば」というもの、そして外国語を学ぶということを改めて捉えなおすことが第一のねらいです。具体的には、現代日本語（以下日本語）を客観的に観察し分析する、異文化コミュニケーションにおける諸問題に目を向け考察する、ということに取り組んでいきます。これらの問題を自ら考え、表現していくという作業を通して各自が日頃使用している日本語の再検討および日本語によるコミュニケーション能力の向上、そして日々の英語学習への有効活用をしてほしいと考えています。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (1、2) オリエンテーション、概論
- (3、4) 日本語の音声
- (5、6) 日本語の文法
- (7、8) 日本語の語彙
- (9、10) 言語行動
- (11、12) 異文化コミュニケーション (13) まとめ

**履修上の留意点**

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

**成績評価の方法**

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

**教科書**

随時プリントを配布します。

英文科

**科目名**

日本語教育法 B

**担当者名**

石田 小百合

**講義のねらい**

日本語教育法 A の講義内容を発展させた形で行います。引き続き日本語を客観的に見る目を養うことを目的としますが、本講義では各自が関心のある事象をとりあげ、より深く分析し観察する場を設けていきます。また日本語教育、ひいては語学教育が具体的にどのような手順で行われているかにも目を向け、それを実際に体験する機会も作っていきます。人と人が直に触れ合う「教える」という作業の基本はコミュニケーションのとりかたにあると思います。受講者の皆さんには本講義の活動を通して自分のコミュニケーションパターンを見直し、さらにコミュニケーション能力を高めてほしいと考えています。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (予定、一部変更の可能性あり)
- (1、2) オリエンテーション  
日本語教育の全体的な流れ
- (3～6) コースデザイン
- (7～10) 授業の組み立て、準備
- (11～12) 模擬授業 (13) まとめ

**履修上の留意点**

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

**成績評価の方法**

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

**教科書**

随時プリントを配布します。

英文科

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

フレックスBで開講される他学部履修科目は、短大  
仏教科の頁を参照してください。(→P.433)



履修科目  
他学部

### Ⅲ. 他学部履修科目

※印の科目については、専門教育科目のページに掲載されています。

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学概論	短国・短英	通年	4	石井修道	275
中国禅宗史	短国・短英	通年	4	石井修道	275
日本禅宗史	短国・短英	通年	4	佐藤秀孝	276
禅籍講読Ⅰ	短国・短英	通年	4	程正	276
禅籍講読Ⅲ	短国・短英	通年	4	岩永正晴	277
仏教概論	短国・短英	通年	4	休講	
インド仏教文化史	短国・短英	通年	4	金沢篤	277
中国仏教文化史	短国・短英	通年	4	永井政之	278
日本仏教文化史	短国・短英	通年	4	袴谷憲昭	279
中国古典語初級	短国・短英	通年	4	吉村誠	280
中国哲学史	短国・短英	通年	4	前川亨	280
上代文学研究Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	中嶋真也	281
中古文学研究Ⅰ	短国・短英	通年	4	松岡智之	281
中世文学研究Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	櫻井陽子	282
近世文学研究Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	近衛典子	282
近代文学研究Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	榎本正樹	283
※比較文学	短英	通年	4	木村朗子	201
西洋思想史	短国・短英	通年	4	柴野博子	284
演劇概論	短国・短英	通年	4	森井直子	284
日本民俗学	短国・短英2年	通年	4	谷口貢	285
イギリス文学特講Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	石原孝哉	285
イギリス文学特講Ⅱ	短国・短英2年	通年	4	高野正夫	286
イギリス文学特講Ⅲ	短国・短英2年	通年	4	岡崎寿一郎	286
イギリス文学特講Ⅳ	短国・短英2年	通年	4	川崎明子	287
イギリス文学特講Ⅴ	短国・短英2年	通年	4	富士川義之	287
イギリス文学特講Ⅵ	短国・短英2年	通年	4	丸小哲雄	288
アメリカ文学特講Ⅰ	短国・短英2年	通年	4	東雄一郎	289
アメリカ文学特講Ⅲ	短国・短英2年	通年	4	足田和人	289
演劇特講(イギリス・アメリカ)	短国・短英2年	通年	4	落合和昭	290
時事英語	短国2年	通年	4	サンダース, L. P.	290
地理思想史	短国・短英2年	通年	4	休講	
地形学	短国・短英2年	通年	4	平井幸弘	291
日本仏教史	短国・短英	通年	4	松本信道	291
日本史特講Ⅶ〔近代〕	短国・短英2年	通年	4	熊本史雄	292
哲学史	短国・短英2年	通年	4	山口祐弘	292
東洋史特講Ⅲ〔近代史〕	短国・短英	通年	4	杉山清彦	293
西洋文化史	短国・短英	通年	4	石田恵子	293
考古学特講Ⅲ	短国・短英2年	通年	4	設楽博己	294
産業・職業社会学	短国・短英2年	通年	4	小川慎一	294
マス・コミュニケーション論	短国・短英2年	通年	4	休講	
社会福祉発達史	短国・短英2年	通年	4	休講	

履修科目  
他学部

日本経済史	短国・短仏	通年	4	渡邊恵一	295
農業政策	短国・短英・短仏	通年	4	溝手芳計	296
日本経済論	短国・短英・短仏2年	通年	4	小林正人	297
中国経済論	短仏	通年	4	田中祥之	298
アメリカ経済論	短国・短英・短仏	通年	4	瀬戸岡紘	298
EU統合論	短国・短英・短仏	半期	2	清水卓	299
現代西欧経済論	短国・短英・短仏	半期	2	清水卓	300
ロシア・東欧経済論	短仏	通年	4	山縣弘志	301
財務会計論	短国・短英・短仏2年	通年	4	小栗崇資	302
会計監査論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
管理会計論	短国・短英・短仏	通年	4	石川祐二	303
貿易論	短国・短英・短仏	通年	4	古沢紘造	304
西洋法制史	短国・短英・短仏	通年	4	北野かほる	305
英米法	短国・短英・短仏	通年	4	北野かほる	306
経済法	短仏	通年	4	若林垂里砂	307
国際政治学	短国・短英	通年	4	小堀訓男	307
地方自治法	短国	通年	4	富井幸雄	308
比較政治学	短国・短英	通年	4	三竹直哉	309
現代国家論	短国・短英	通年	4	大塚桂	310
比較憲法	短国	通年	4	館田昌子	311
経営労務論	短仏	通年	4	鹿嶋秀晃	312
国際経営論	短仏	通年	4	茂垣広志	313
商業史	短国・短仏	通年	4	山田勝	313
保険経営論	短仏	通年	4	石名坂邦昭	314
財務会計論	短仏	通年	4	渡邊恵一郎	315
経営分析論	短仏	通年	4	片桐伸夫	316
税務会計論	短仏	通年	4	高木克己	317
経営情報論	短国・短仏	通年	4	高井徹雄	318
情報理論	短国・短仏	通年	4	西村和夫	319
経営統計	短仏	通年	4	長国強	320
医療宗教学	短国・短英	半期	2	吉津宜英	321
医療経済学	短国・短英	半期	2	永山くに子	322
※異文化コミュニケーション	短英	通年	4	奥原淳子	189
女性史	短英	通年	4	休講	
文化概論	短英	通年	4	休講	
国文学特殊研究	短英	通年	4	休講	
古典戯曲演劇	短英	通年	4	休講	
メディアと表現	短英	通年	4	休講	
※時事英語	短国	半期	4	岡本誠	246

科目名	担当者名
禅学概論	石井 修道

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート(400字詰め5枚程度)の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』(更生社) 2,369円  
『全訳 漢辞海』(三省堂) 2,840円  
『禅学大辞典』(大修館書店)  
入矢義高等『禅語辞典』(思文閣出版)

他  
学  
部  
履  
修  
科  
目

科目名	担当者名
中国禅宗史	石井 修道

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭馮山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正觉③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	担当者名
日本禅宗史	佐藤秀孝

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円  
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目  
他学部

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅰ	程正

講義のねらい

禅学特講Ⅰは、中国初期禅宗における祖統説の変遷という角度から、その成立の歴史を講義するものである。祖統説とは、禅僧たちが主張する釈尊より自身に及んだ正法の伝承系譜のことで、今日では西天（＝インド）二十八祖、東土（＝中国）六祖説がその定説となっている。しかし、初期禅宗には様々な宗派があり、それらの宗派に所属する禅僧達は、自派を優位に立たせるために様々な祖統説を主張していたのである。本講義では、初期禅宗文献を用いて、こうした様々な祖統説の出現の背景に留意しながら、それらの内容を吟味することによって、中国禅宗の成立の歴史にアプローチしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

敦煌遺書から出現した初期禅宗文献を主とし、これに『全唐文』などに収録されている伝世資料を織り交ぜながら進んでいきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。前後に関連性の強い内容構成となっているので、欠席しないことが重要。合わせて中国禅宗史、中国語を履修することが望ましい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出発点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	担当者名
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点、および数回のレポート(または小テスト)によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は必要に応じて紹介する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
インド仏教文化史	金沢篤

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

**科目名****担当者名**

中国仏教文化史

ながいまさし  
永井政之**講義のねらい**

この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。

この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。

**講義の内容・授業スケジュール**

当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。普庵印肅への信仰から入りましょう。

**履修上の留意点**

少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。

**成績評価の方法**

期末に出席を加味して評価します。

**教科書**

教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。

**参考書等**

永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店）  
その他、適宜指示します。

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
  - 1 文化構造の解釈 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
  - 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
  - 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
  - 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
  - 3 勸進聖と修験道 4 仏教と神祇信仰
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
  - 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
  - 3 密教と祈禱仏教 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
  - 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
  - 3 禅宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
  - 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
  - 3 江戸文化と仏教 4 維新と廢仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
  - 1 近代より現代へ 2 戦後と民主主義

他学部  
履修科目

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。



科目名

担当者名

中国古典語初級

よしむら まこと  
吉村 誠

講義のねらい

仏典の講読を通じて漢文（中国古典語）の基本を修得する。周知のように東アジア地域では漢訳された仏典が聖典とされ、仏教の思想や歴史が漢文によって記された。その集大成である漢訳大藏経は、インドその他の地域の仏教を研究する上でも不可欠な資料である。すなわち、漢文を正確に読めるようになることは、仏教研究の第一歩であるといえるだろう。講義では、漢文の読み方を基礎レベルから解説し、学生諸君が自力で仏典を読めるように指導してゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説した後、中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』を講読する。同経は平明な内容でありながら、巧みな比喻で仏教のエッセンスを説いた美しい経典である。

履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。

教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

履修科目  
他学部

科目名

担当者名

中国哲学史

まえかわ とほら  
前川 亨

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を教授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、中国哲学史の前半（先秦時代から唐代まで）を扱う。儒教・仏教・道教それぞれが、中国の社会の中でいかなる位置を占めたのかを考えることが中心となろう。

履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで、欠席しなければならない場合には、事前に申し出ること。欠席が余りに目立つ場合、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらう。

教科書

特に必要としない。プリント等を資料として配付する。

参考書等

授業内に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めていくこととしたい。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	担当者名
上代文学研究Ⅰ	中嶋真也

講義のねらい

本講義では、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」などの景物を軸として、それらがどのような表現をなしているのかを見ていくことにしたい。また、『万葉集』歌の時期区分にも留意し、『万葉集』内での表現史も考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。  
その上で、一つの景物をどのように詠んでいるのかを、検証していく。具体的には、前期は「桜」の歌を中心に、後期は「雪」の歌を中心に読解していきたい。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
中古文学研究Ⅰ	松岡智之

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語のないし歌日記的なものに関する問題提起をする。  
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名

担当者名

中世文学研究 I

まくら い よう こ  
櫻 井 陽 子

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の巻九の一ノ谷合戦の後の平家公達の去就を描く諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみ、また、戦功を求める合戦の状況などを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻九の位置づけ。
- 12～ 『平家物語』巻九の諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

他履修  
学部科目

科目名

担当者名

近世文学研究 I

この え のり こ  
近 衛 典 子

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鴛山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

**科 目 名****担 当 者 名**

近代文学研究 I

榎 本 正 樹

**講義のねらい**

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。

今年度の授業では、小特集的なテーマを設定する予定です。その一つとして、島本理生、綿 矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、三並夏、三浦しをんなど、いわゆる「現代女子(系)文学」についての考察を予定しています。また、現代日本文学を原作とするいくつかの映画作品を鑑賞し、原作と映画を比較分析する授業を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。

**履修上の留意点**

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

**成績評価の方法**

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

**教 科 書**

特に使用しません。

**参 考 書 等**

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

**そ の 他**

履修に際しては、榎本のサイト ([www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/](http://www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/)) も参考にしてください。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
西洋思想史	しばのひろこ 柴野博子

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思  
います。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カント  
の思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です(6・7月)。  
後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11月)な  
ど、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの  
解釈学の一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	担当者名
演劇概論	もりいなおこ 森井直子

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変  
容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻  
印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、  
それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明(2回)
  - 2、明治40年代の演劇(2回)
  - 3、日本近代戯曲の模索(2回)
  - 4、大正戯曲の時代(2回)
  - 5、築地小劇場(2回)
  - 6、政治と演劇(2回)
  - 7、まとめ(1回)
- 後期
- 1、戦後新劇の活動(2回)
  - 2、小劇場運動の隆盛—1960年代(2回)
  - 3、小劇場運動の展開—1970年代(2回)
  - 4、私さがしとメタシアター—1980年代(2回)
  - 5、静かな演劇—1990年代(2回)
  - 6、今日の演劇(1回)
  - 7、まとめ(1回)

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ  
読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。)また、1年のうちに2  
度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

科目名	担当者名
日本民俗学	谷口貢

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
イギリス文学特講 I	石原孝哉

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名

担当者名

イギリス文学特講Ⅱ

たかの野まさお夫  
高野正夫

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

履修科目  
他学部

科目名

担当者名

イギリス文学特講Ⅲ

おが崎としちろう  
岡崎寿一郎

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅳ	川崎明子

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説の特徴と当時の文化と社会について知識を得ることを目的とします。小説については、ディケンズ、プロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の代表的な作品を取り上げます。並行して、これらの作品が出版された当時の歴史的背景について解説します。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の授業で示します。

履修上の留意点

上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を読んだ上で臨んでください。

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験に加え、授業中の発言およびディスカッション等の内容により総合的に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
イギリス文学特講Ⅴ	富士川義之

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。



## 講義のねらい

外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読み関しての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論を整理することです。

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考の精確さが求められます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素、作品テキストの機能、作品テキストの力について
- 5) さまざまな批評方法について
  - ・ 伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

## 履修上の留意点

私語厳禁

## 成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

## 教 科 書

- 1) R. Scholes "Elements of fiction" (英宝社)
- 2) プリント使用：多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

## 参 考 書 等

随時指示します。

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。

他学  
修科  
部目

科目名	担当者名
アメリカ文学特講Ⅲ	あし 足 ど 田 かず 和 ひと 人

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

**科目名****担当者名**

演劇特講(イギリス・アメリカ)

おち あい かず あき  
落 合 和 昭

## 講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928- )、Sam Shepard (1943- )、David Mamet (1947- )、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926- )、Harold Pinter (1930- )、等である。

## 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

## 成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

## 教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

**科目名****担当者名**

時事英語

サンダース, L. P.

## 講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

## 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

## 成績評価の方法

年に2回テストを行う。

## 教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

## その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名
地形学	平井幸弘

講義のねらい

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所がもっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面と地形環境誌的な側面の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 1. 地形発達のバックグラウンド  
 気候変動 海水準変動 地殻変動  
 2. 様々な地形：関東地方を例に  
 火山地形 河岸段丘 丘陵地 扇状地と自然堤防 三角州と干潟 海跡湖  
 (後期) 3. 日本各地の水辺の環境問題—応用地形学の視点から—  
 中海・飯梨川デルタ 吉野川・第十堰 那賀川の旧河道 加茂湖周遊 宍道湖一周 浜名湖の湖底伝説

履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

成績評価の方法

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

教科書

平井幸弘『水辺の環境ガイド—歩く・読む・調べる—』（古今書院）2005年

参考書等

貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』（東大出版会）2000年  
 加藤 真『日本の渚—失われてゆく海辺の自然—』（岩波新書）1999年  
 五十嵐敬喜・小川明雄『公共事業は止まるか』（岩波新書）2001年

その他

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
日本仏教史	松本信道

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名

担当者名

日本史特講Ⅶ(近代)

くまもと ともみ おほ  
熊本史雄

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名

担当者名

哲学史

やまぐち まさひろ  
山口祐弘

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行わない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名
東洋史特講Ⅲ(近代史)	すぎやまきよひこ 杉山清彦

講義のねらい

アジアの近世・近代は、一面において、16～17世紀に形成された諸帝国が18～19世紀に変容していく過程であり、近現代における地理的・文化的枠組や住民構成も、この過程で形づくられていった。本講義では、ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国(清朝)を対象とし、その統治機構と支配構造を、時系列的な中華王朝の系譜としてではなく、比較史の観点から同時代ユーラシア各地域の諸帝国と対比しつつ検討する。それによって、大清帝国の特質を中国史とは異なる観点から浮き彫りにするとともに、近現代における中国はじめとしたアジア諸地域の命運の分岐にも新しい視点を提示する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 大清帝国の形成・発展過程
  2. 大清帝国の統治機構と支配構造
    - ・八旗制の支配構造
    - ・帝国の統合と支配：皇帝のいくつもの顔
  3. ユーラシア近世帝国としての大清帝国
    - ・オスマン朝・サファヴィー朝・ムガル朝の支配体制
    - ・武家政権としての大清帝国・江戸幕府
- 結 ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。参考書は適宜紹介する。

他学部  
履修科目

科目名	担当者名
西洋文化史	いしだけいこ 石田恵子

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名

担当者名

考古学特講Ⅲ

設楽博己

講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品を取りあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味とところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

履修科目  
他学部

科目名

担当者名

産業・職業社会学

小川慎一

講義のねらい

日本の仕事のありかたを、社会学や隣接領域の知見に基づき説明する。日本的雇用慣行や、そのライフスタイルや技術革新との関係についても触れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

各トピックスにつき1～2回程度の講義をおこなう。括弧内は教科書の該当する章を示す。

前期	後期
①イントロダクション	①前期分の小テスト
②若者と仕事(第7章)	②技術革新と仕事の変化(第3章)
③年功制の変化と実態(第1章)	③女性の就業構造(第4章)
④長期安定雇用(第1章)	④雇用形態の多様化(第9章)
⑤失業と転職(第5章)	⑤ライフスタイルと就業意識(第6章)
⑥労働組合(第11章)	⑥ライフスタイルと生活時間(第8章)
⑦労力開発(第2章)	⑦仕事からの引退(第10章)
⑧中間まとめ	⑧最終まとめ

履修上の留意点

迷惑行為や虚偽の出席申告をする者には、事前の警告なしに単位を与えないことがある。

成績評価の方法

出席(30点) + 小テスト(20点) + 最終テスト(40点) + 発言(10点)。

教科書

佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学——変貌する働き方』(有斐閣)2004年 2,000円 + 税 ISBN4-641-18313-9

参考書等

講義中に指示する。

その他

講義形式だが、受講者の発言を求めし出席もとる。レジュメを配布するが板書もする。

科目名

担当者名

日本経済史

渡邊 恵一

講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代的問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
  2. 幕末開港の歴史的意義
  3. 明治前期の経済政策
  4. 日本産業革命の展開
  5. 両大戦間期の日本経済

履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなることになることに留意されたい。

成績評価の方法

期末試験で評価する。小テスト等を行った場合には、その結果を加味する。

教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定である。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

他学部  
履修科目



講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (2回)
2. 食料問題と食料政策 (5回程度)
3. 農産物価格問題と価格・所得政策 (5回程度)
4. 農業の特質と現代農業 (4回程度)
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－ (6回程度)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)  
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』(有斐閣)  
F. マグドフ他編 (中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章 (大月書店)  
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)  
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』(ミネルヴァ書房)

## 講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

## 講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程  
景気の現状と雇用情勢  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション  
イノベーションと産業構造の変化  
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）  
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望  
平成不況の意義  
IT革命のインパクト

## 履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

## 成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。

## 教科書

なし

## 参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典の一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

## その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科目名

担当者名

中国経済論

田中祥之

講義のねらい

いま中国は「社会主義市場経済」の建設を国の基本方針として掲げています。しかし、この「社会主義市場経済」とはいったい何でしょうか？ この場合、社会主義とは何を指しているのでしょうか？

たしかに、この政策のもとで飛躍的な経済発展が達成されてきました。けれども同時に、過剰生産からくる不況、大量の失業、労働と生活条件の悪化、環境破壊、さまざまな格差の拡大などに悩まされることになっています。貧困からの脱却を求めて、市場経済的な工業化の道を選択しながら、それがかえって新しい貧困を生んでいく、その矛盾にもがいている、それが今日の中国ではないのでしょうか？

どうしてこのようなことになっているのでしょうか？ 市場経済化とどう関係しているのでしょうか？ ほかに道はないのでしょうか？

本講義は、以上の問題に答えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代中国に関する基礎知識
- 2 中国経済の現在
- 3 「社会主義市場経済」政策批判
- 4 日中経済関係のあり方
- 5 中国はどこへ行く

成績評価の方法

試験70%、出席30% 前期・後期とも試験あり

教科書

田中祥之著『現代中国の改革』（中央大学生協出版局）  
田中祥之著『増補 現代中国の改革』（中央大学生協出版局）

その他

試験は「持ち込み可」ですが、講義を聴いていないと解けない問題です。毎回、受講生に質問・批判・感想を書かせますが、これが出席表になります。

履修科目  
他学部

科目名

担当者名

アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講生には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講生の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社）2005年  
グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年  
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年  
をおすすめします。

**科目名****担当者名**

EU統合論

清水 卓

**講義のねらい**

EU 統合論（前期）

この講義では、EUの目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。EUは、1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったのですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。昨年はEU憲法制定の動きがフランスとオランダの批准失敗で頓挫しました。また、中期財政計画を巡る議長国イギリスとフランスとの利害対立が激化、さらにはフランスの各都市の郊外で青年達の暴動が発生するなど、EUは大きな壁に突き当たっているようです。しかし、2001年に流通が始まった通貨ユーロは世界的に存在感を増しています。このようなEUを知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

**講義の内容・授業スケジュール**

（大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります）I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合（1）石炭鉄鋼共同体からEECへ（2）市場統合の完成（3）通貨統合 III. EUの制度（1）権力構造（2）民主主義の欠陥（3）EU憲法 IV. EUの政策（1）環境政策（2）地域政策（3）リスボン戦略（4）共通農業政策（5）欧州社会モデル

**履修上の留意点**

EUは25の国の上に立つもう一つの国家（超国家）といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEUの骨格を解説するだけです。ヨーロッパに関心を持ち調べてみようとする姿勢が欲しいです。日々変化するEU諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV特集番組など身近にあるEU情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

**成績評価の方法**

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

**教科書**

教科書は指定しません。

**参考書等**

- （1）田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」（ミネルヴァ書房）2004年刊 3,200円
- （2）田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」（有斐閣）2001年刊 2,500円
- （3）福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』（講談社現代新書）

**その他**

選択科目ですからEUに関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。  
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

他学部履修科目

科目名

担当者名  
清 水 卓

現代西欧経済論

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつもの挑戦を受けながら、今日なお、イラク占領という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換 (5) グローバリゼーションへの適応
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 北欧の福祉国家 (2) EU 中核国独仏英の経済 (3) EU の地中海諸国 (4) EU 中東欧諸国の経済・社会

履修科目  
他学部

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。なお、2005年度はパソコン教室を使用しましたが、2006年度の使用教室次第では、授業方法を変更する事があります。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」(ミネルヴァ書房) 2004年刊 3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」(有斐閣) 2001年刊 2,500円
- (3) 福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』(講談社現代新書)

その他

選択科目ですから EU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。  
授業の難易度が高く、必修科目単位を修得している3,4年次生が主たる対象です。例えば日本経済新聞が難しくとても歯が立たないといった学力レベルでは理解が難しいでしょう。

## 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

## 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

## 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

## 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

## 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

## その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

## 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

## 講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

## 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

## 成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

## 教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

## 参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科目名

担当者名

管理会計論

いし かわ ゆう じ  
石 川 祐 二

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、管理会計上の様々な手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

他学  
部  
履  
修  
科  
目



## 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のあり方を問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

## I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

## II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

## 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかり出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

## 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

## 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

## 講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066 - 1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350 - 1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

## 履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

## 成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

## 教科書

特に指定しない。

## 参考書等

年度当初に指示する。

## その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法観念の社会性
    - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
  - 第1節 イギリスの裁判所制度
  - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修科目  
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理砂

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修科目  
他学部

科目名	担当者名
国際政治学	こぼりのりお 小堀 訓男

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

**科目名****担当者名**

地方自治法

とみ い ゆき お  
富 井 幸 雄**講義のねらい**

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

**講義の内容・授業スケジュール**

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

**成績評価の方法**

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

**教科書**

開講時に指示します。

**参考書等**

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

**その他**

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他履修  
学部科目

## 講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

## 講義の内容・授業スケジュール

この文章は2005年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2005年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2005年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

## 履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいる人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。

## 成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

## 教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。

他にも指定する可能性はあります。

ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

## その他

この文章は2005年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2006年4月に授業用ホームページに掲載します。  
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>

URL が変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名
現代国家論	大塚 桂

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。  
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を滴養します。  
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
 ※なお、B方式のみ追試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）、『明治国家と岩倉具視』（信山社）、『明治維新の思想』（成文堂）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

履修科目  
他学部

科目名

担当者名

比較憲法

たて だ あき こ  
館 田 昌 子

講義のねらい

本講は、他国の憲法の成立・発展過程や理論的背景を学ぶとともに、これら憲法と日本国憲法との比較を通じて日本国憲法の意味と意義とをより深く理解することを目的とする。授業は講義形式で行う。歴史的な視点を重視し、我が国の憲法にとりわけ重要な影響を与えてきた欧米の憲法を中心に講義を進めたい。概要は以下のとおり。

- ・比較憲法の意義
- ・イギリス憲法の歴史と特色
- ・フランス憲法の歴史と特色
- ・ドイツ憲法の歴史と特色
- ・アメリカ合衆国憲法の歴史と特色
- ・日本国憲法への影響

履修上の留意点

出席はとらない。受講の妨げになる一切の行為を禁ずる。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

教科書は使用しない。レジュメを配布し、これを用いて講義を進める。

参考書等

参考書などは講義中に適宜紹介するほか、以下のものが有用である（講義では必ずしも使用しない）。

- ・樋口陽一・吉田善明編『解説世界憲法集 第4版』（三省堂）
- ・阿部照哉・畑博行編『世界の憲法集第3版』（有信堂）
- ・樋口陽一『比較憲法 全訂第3版』（青林書院）
- ・阿部照哉編『比較憲法入門』（有斐閣）

その他

授業中に配布したレジュメと授業のポイントを、ウェブサイトを通じて参照できるようにする予定である。URL等の詳細は初回の講義時に説明する。

他学部  
履修科目



科目名

担当者名

経営労務論

かしまひであき  
鹿嶋秀晃

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合があります。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

履修科目  
他学部

科目名	担当者名
国際経営論	茂垣広志

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。

他学部履修科目

科目名	担当者名
商業史	山田勝

講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
  - (1) 商業史の意義と講義の目的
  - (2) パラダイムの発展
  - (3) 利益と継続性
  - (4) 商品と市場
  - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
  - (1) 消費スタイルの変化
  - (2) 充足から満足度重視へ
  - (3) 多様化の要因
  - (4) 「サービス」商品の特徴
  - (5) IT革命と商業経営
  - (6) 生活（文化）の変革と商業

履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

成績評価の方法

定期試験による。

教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

**科目名****担当者名**

保険経営論

いしなごか くにあき  
石名坂 邦 昭

## 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

## 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

## 成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

## 教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

## 参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

他履修  
学部科目

**科目名****担当者名****財務会計論**わた なべ えいちろう  
**渡 邊 恵一郎****講義のねらい**

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者、その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

**講義の内容・授業スケジュール**

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

**履修上の留意点**

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

**成績評価の方法**

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

**教科書**

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

**参考書等**

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

**その他**

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

他学部  
履修科目

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

## 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

## 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

## 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

## 教科書

開講時に指示する。

## 参考書等

開講時に指示する。

## 講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

## 講義の内容・授業スケジュール

## I. 経営情報とシステムの観点（前期）

## (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

## (2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

## (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

## II. 情報の利用技術（後期）

## (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで始めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

## (2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

## (3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

## 履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

## 成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

## 教科書

『基礎から学ぶ経営科学』高井徹雄他著（税務経理協会）2,600円

## 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

## 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

## 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

## 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

## 参考書等

そのつど紹介します。

## その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>



科目名

担当者名

経営統計

なが こと くに くにやま  
長 国 強

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

他履修科目  
学部

科目名

医療宗教学

担当者名

よし ず よし ひで  
吉 津 宜 英

講義のねらい

宗教学とは通常世界の多様な宗教を様々な方法論を用いて分析し、その実態や機能を論究する学問である。他の学問分野と関連づける場合、宗教社会学・宗教心理学・宗教教育学等という具合になるのが慣例である。当該科目が宗教医療学とならないで、医療宗教学となっているのは何故であろうか。これは医療に関して宗教学的考察を行うのではないからである。むしろ医療的な視点から宗教を問うという方が良い。医療的な視点とは何か。それは科学技術の医学的理論と応用の世界である。その世界には科学的人間観が貫徹する。その人間観はキリスト教的な真理観に対抗して現れた人間機械論にも通じる。医療に当たる人は科学的な真理や技術に親しく、科学的な人間観を持ちやすいから、一方で哲学的・宗教的人間観の存在にも通暁することが求められる。医療行為が生な人間関係、人間観相互の葛藤・交流の場に他ならないからである。医療に従事する人が宗教を問い、宗教に関する正しい知識を持つことは、その人間観を広げる。医療宗教学は医療の世界に関わる人々にあえて宗教・人間・自己を問いかけてもらう教材を示し、共に認識を深め合うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず様々な人間観を提示する。医療の世界がどのような人間観に支えられているかを考えてみる。その有効性と問題性も取り上げる。科学や医療の発達は宗教の必要性を認めなくなるとい議論もある。そこまで宗教を追いつめてみる。仏教・キリスト教・イスラムなどの世界の三大宗教や日本の神道などの多神教的民族宗教は医療の世界に貢献できる面があるのか、この問いに答えるための教材を提示することが講義内容となる。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

参考書等

講義の中で随時紹介します。

その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。ただ私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。また、授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

他学部  
履修科目

**科目名****担当者名**

医療経済学

ながやま  
永山 くに子

## 講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・  
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
  - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
  - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
  - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
  - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
  - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
  - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑮は試験とする

## 履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

## 成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

## 教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

## 参考書等

- ① 鶴田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川淵孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

## その他

履修上の留意点に準じます

## IV 「日本語」・「日本事情」科目



「日本事情」  
「日本語」

## IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門Ⅰ a	短国・短英	半期	1	吉田路子	327
日本語入門Ⅰ b	短国・短英	半期	1	吉田路子	327
日本語入門Ⅱ a	短国・短英	半期	1	吉田路子	328
日本語入門Ⅱ b	短国・短英	半期	1	吉田路子	328
日本語Ⅰ a	短国・短英	半期	1	佐野典子	328
日本語Ⅰ b					
日本語Ⅰ a	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	329
日本語Ⅰ b	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	329
日本語Ⅱ a	短国・短英	半期	1	佐野典子	329
日本語Ⅱ b					
日本語Ⅱ a	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	330
日本語Ⅱ b	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	330
日本語Ⅲ a	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	330
日本語Ⅲ b	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	331
日本語Ⅲ a	短国・短英	半期	1	湯村礼子	331
日本語Ⅲ b					
日本語Ⅳ a	短国・短英	半期	1	石川守	332
日本語Ⅳ b	短国・短英	半期	1	石川守	332
日本語Ⅳ a	短国・短英	半期	1	湯村礼子	333
日本語Ⅳ b	短国・短英	半期	1	湯村礼子	333
日本語Ⅴ a	短国・短英	半期	1	石川守	334
日本語Ⅴ b	短国・短英	半期	1	石川守	334
日本語Ⅴ a	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	335
日本語Ⅴ b	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	335
日本語Ⅵ a	短国・短英	半期	1	石川守	335
日本語Ⅵ b	短国・短英	半期	1	石川守	336
日本語Ⅵ a	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	336
日本語Ⅵ b	短国・短英	半期	1	多田羅哲子	336

日本語  
日本事情

### 《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情Ⅰ〔地理〕	短国・短英	半期	2	高橋健太郎	337
日本事情Ⅱ〔自然〕	短国・短英	半期	2	清水善和	338
日本事情Ⅲ〔歴史〕	短国・短英	半期	2	浅倉直美	339
日本事情Ⅳ〔思想〕	短国・短英	半期	2	菅原光	339
日本事情Ⅴ〔社会〕	短国・短英	半期	2	坪井健	340
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	短国・短英	半期	2	三竹直哉	341
日本事情Ⅶ〔文学〕	短国・短英	半期	2	勝原晴希	341
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕	短国・短英	半期	2	菅原光	342
日本事情Ⅸ〔経済〕	短国・短英	半期	2	小林正人	342
日本事情Ⅹ〔経営〕	短国・短英	半期	2	羽鳥茂	343

「日本事情」  
「日本語」

科目名	担当者名
日本語入門 I a	吉田 藤子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門 I b	吉田 藤子

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布



科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ a	よし だ ふき こ 吉 田 蒨 子

講義のねらい	非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介</li> <li>・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める</li> <li>・学生主導によるコースワーク、発表</li> </ul>
履修上の留意点	授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。
成績評価の方法	出席および平常点、コースワーク
教科書	必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語入門Ⅱ b	よし だ ふき こ 吉 田 蒨 子

講義のねらい	非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介</li> <li>・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める</li> <li>・学生主導によるコースワーク、発表</li> </ul>
履修上の留意点	授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。
成績評価の方法	出席および平常点、コースワーク
教科書	必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名
日本語Ⅰ a	さ の のり こ 佐 野 典 子
日本語Ⅰ b	

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語 I a	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語 I b	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語  
日本事情」

科目名	担当者名
日本語 II a	佐野 典子 <small>さの のりこ</small>
日本語 II b	

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱa	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。 テープで自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅱb	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	話すことを中心に日本語の運用能力を高める。 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
講義の内容・授業スケジュール	意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。 テープで、自分が話した日本語を聞く。
履修上の留意点	授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲa	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>

講義のねらい	聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。 聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方の方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ b	多田羅 哲子 たたら あきこ

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅲ a	湯村 礼子 ゆむら れいこ
日本語Ⅲ b	

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

「日本語  
事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	いし かわ ます 石 川 守

講義のねらい	日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅳは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順でやっています。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	授業態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	いし かわ ます 石 川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語Ⅳ a に引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅳ a の続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分、受身・使役などをやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅳ a の続きの内容を行います。
成績評価の方法	試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。
教科書	特になし。授業中に自作のプリントを配ります。
参考書等	辞書を持参してください。
その他	授業態度重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ a	湯村 礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名
日本語Ⅳ b	湯村 礼子

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

日本語  
日本事情

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。呼称や指示詞などはじめからじっくりやっていきます。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴは、日本語Ⅵと日本語Ⅳの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。
履修上の留意点	日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%の合計でつけます。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	いし かわ 守 石 川 守

講義のねらい	日本語Ⅴaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語Ⅴaの続きをやっていきます。
履修上の留意点	日本語Ⅴaと同じです。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅴa	多田羅 哲子 <small>たたらあきこ</small>

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅴb	多田羅 哲子 <small>たたらあきこ</small>

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

「日本語  
日本事情」

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	石川 守 <small>いしかわまもる</small>

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語Ⅴa、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語Ⅴ→日本語Ⅵ→日本語Ⅳの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語Ⅵは、日本語Ⅴと日本語Ⅵの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりと日本語の基礎を復習したい人は日本語Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。



科目名	担当者名
日本語Ⅵb	いし <sup>かわ</sup> 石川 <sup>まもる</sup> 守

講義のねらい	日本語のⅥaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語Ⅵaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。
履修上の留意点	この授業は、日本語Ⅵaの次の部分を行っていきます。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	受講態度を重視しています。

科目名	担当者名
日本語Ⅵa	た <sup>たら</sup> 多田羅 <sup>あき</sup> 哲 <sup>こ</sup> 子

日本語  
日本事情

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・ 授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名
日本語Ⅵb	た <sup>たら</sup> 多田羅 <sup>あき</sup> 哲 <sup>こ</sup> 子

講義のねらい	文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・ 授業スケジュール	雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。 漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。
成績評価の方法	平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。

---

---

**科目名****担当者名**

日本事情 I [地理]

たか へし けん たろう  
高 橋 健太郎**講義のねらい**

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。  
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 地域文化と観光、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

**履修上の留意点**

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

**成績評価の方法**

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

**教科書**

使用しない。授業中にプリントを配布する。

**科目名****担当者名**

日本事情Ⅱ〔自然〕

しみず よし かず  
清水 善 和**講義のねらい**

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

**講義の内容・授業スケジュール**

## 第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

## 第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

## 第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

## 第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

## 第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

**成績評価の方法**

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

**教科書**

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」（清水執筆）を紹介する。また、それを英語に翻訳した「英語web版教科書」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

**参考書等**

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

**その他**

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する（漢字にはできるだけ読みがなをつける）。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わしたweb版教科書を用意する。

科目名	担当者名
日本事情Ⅲ〔歴史〕	あさくら なおみ 浅倉直美

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大名と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅳ〔思想〕	すが わら 光 菅原光

「日本語」  
「日本事情」

講義のねらい

近世から近代の時期を対象とし、通史的に日本思想を取り上げる。まずは儒学を中心とする伝統思想の基本的な枠組みを押さえてから、西洋思想との出会いの意味を検証し、その出会いによってどのような形で日本の思想が再構築されたかを学んでいきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 授業計画は以下のとおり。
1. ガイダンス
  2. 政治思想の古典としての儒教と基礎概念
  3. 徳川初期の思想と儒教
  4. 日本における朱子学批判
  5. 国学とナショナリズム
  6. 西洋の衝撃
  7. 明治思想
  8. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

成績評価の方法

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

## 講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

## 履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

## 成績評価の方法

参加度（60％）＋課題レポート（40％）

## 教 科 書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

## 参 考 書 等

授業中に指示する。

## そ の 他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例的内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕	三竹直哉

講義のねらい 日本政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・授業スケジュール 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

履修上の留意点 出席と授業参加を重視します。

成績評価の方法 平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

教科書 指定する予定はありません。

その他 I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

「日本語」  
「日本事情」

科目名	担当者名
日本事情Ⅶ〔文学〕	勝原晴希

講義のねらい 本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、日本の文学作品の紹介を通じて、日本のことばと文化に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 日本の文学作品を読み進めながら、幅広く日本文化のあり方を考える。最初の回に、日本文学・日本文化のどういう点に興味や関心を持っているか、アンケートをとり、できる限り要望にこたえたい。人数にもよるが、各自がテーマを選定し、調査研究して発表するという形式をとることもある。

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法 出席状況を特に重視し、またレポート・発表・授業態度によって総合的に評価する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 授業時に紹介する。

**科目名****担当者名**

日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕

すがわら 原 光

**講義のねらい**

日本文化や日本人について、洋の東西も時代も問わず、様々な思想家が論じてきた。本講義では、代表的な日本文化論・日本人論を取り上げることにより、日本がどのように語られてきたのかという形で日本文化についての知識を学んでいくと共に、日本とは何か？日本人とは何か？さらには、日本人論が消費されるのは何故か？そういった点にまで踏み込んで考えてみたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

授業計画は以下のとおり。

1. ガイダンス
2. 日本人論とは何か？
3. 江戸以前の日本人論
4. 明治時代の日本人論
5. 戦間期の日本人論
6. 戦後の日本人論
7. まとめ

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

**成績評価の方法**

出席状況並びに、適宜実施するレポートの評価などにより総合的に評価する。

**教科書**

特に指定しない。

**参考書等**

授業時に適宜紹介する。

〔日本事情〕  
〔日本語〕

**科目名****担当者名**

日本事情Ⅷ〔経済〕

こばやし まさ 小林 正人

**講義のねらい**

第二次大戦後の日本の歴史について経済史の研究者により格好の書物が昨年出版されたので、これを教科書として使いながら、戦後の日本経済の歴史について講義する。講義の節目にいくつかのビデオ教材も提示し、日本社会の経済的側面について具体的な知識を提供する。受講生の日本語能力の向上にも役立つような講義にしたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

教科書の中の、下記の主要項目にかかわる部分を取り上げて講義する。また関連するビデオを講義の節目に提示して、具体的な知識を提供したい。

1. 占領と経済民主化
2. 高度経済成長
3. ニクソン・ショックと石油ショック
4. バブル経済の発生と崩壊

**履修上の留意点**

教科書の中の、あらかじめ指定される部分をよく読んで受講すること。

**成績評価の方法**

出席状況、途中での教科書の音読(日本語能力)、期末のレポートにより総合的に評価する。

**教科書**

中村政則『戦後史』(岩波新書)2005年(7月)

**参考書等**

授業中に紹介する。

**その他**

授業の途中または後での質問を歓迎します。

科目名	担当者名
日本事情Ⅹ〔経営〕	はとり 鳥 茂 <small>しげる</small>

講義のねらい

1980年代以降の日本経済の動向を振り返り、現状と課題を講義します。バブルの発生と崩壊、その後の長期停滞とデフレ脱却への試みなどが中心的なテーマとなります。

成績評価の方法

出席状況を特に重視するとともに課題レポートによって総合的に評価します。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

適時に紹介しますので、講義の理解とレポート作成に役立ててください。

その他

講義は日本語で行いますが、希望者があれば英語での対応も考えますので申し出てください。

「日本語」  
「日本事情」



「日本事情」  
「日本語」

# 仏教科—夜間開講—



# I 全 学 共 通 科 目



# 1. 宗教教育科目

宗教教育

# 1. 宗教教育科目

科目名	担当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	短仏2年	通年	4	熊本英人	353
仏教と人間〔再クラス〕	短仏2年	通年	4	松本史郎	353
仏教と人間〔再クラス〕	短仏2年	通年	4	村松哲文	354
仏教と人間〔再クラス〕	短仏2年	通年	4	四津谷孝道	355
仏教と人間〔再クラス〕	短仏2年	通年	4	程正	356



宗教教育

科目名	担当者名
仏教と人間	くま もと えい にん 熊 本 英 人
仏教と人間[再クラス]	

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブッダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と人間	まつ もと し ろう 松 本 史 朗
仏教と人間[再クラス]	

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

---

---

**科目名****担当者名**

仏教と人間

むら まつ てつ ふみ  
村 松 哲 文

仏教と人間〔再クラス〕

## 講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

## 履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

## 成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

## 教科書

プリントを配布する。

## 参考書等

授業中に適宜紹介する。

---

---

**科目名****担当者名**

仏教と人間

よつや こう どう  
四津谷 孝 道仏教と人間〔再クラス〕

---

## 講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて、順を追って、できるだけわかりやすく解説を加えていきたい。

宗教としての仏教  
仏教と科学  
仏教と他の宗教  
喩えて語る仏教（1）  
喩えて語る仏教（2）  
縁起・苦・無我  
慈悲  
輪廻と解脱（業について）  
輪廻と解脱（差別思想について）  
仏教以前のインドの宗教（歴史）  
仏教以前のインドの宗教（思想）  
仏陀の伝記（誕生から出家まで）  
仏陀の伝記（悟りと伝道）  
仏陀の伝記（涅槃）  
部派仏教の歴史と思想  
インド仏教（大乘仏教の歴史）  
インド仏教（大乘仏教の思想）  
チベット仏教（転生ラマについて）  
チベット仏教（密教）  
中国仏教（浄土思想）  
中国仏教（禅仏教）  
日本仏教（歴史）  
日本仏教（思想）（1）  
日本仏教（思想）（2）

## 履修上の留意点

特になし。

## 成績評価の方法

学年末の試験。

## 教科書

必要な資料等は、授業において随時配付する。

## 参考書等

授業において随時指示する。

科目名	担当者名	
仏教と人間	てい	せい
仏教と人間〔再クラス〕	程	正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。  
 宗教について・世界の三大宗教・ブッダの生涯・ブッダの悟りと教え・部派仏教の思想・大乘仏教思想の展開・仏教東漸(インドから中国へ)・中国仏教の展開・中国禅宗の成立と展開・日本への仏教伝来とその展開・道元禅の成立と展開・現代中国における仏教の諸相

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出席点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

## 2. 教 養 教 育 科 目

教養教育

## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	短仏1・2選	通年	4	田中かの子	361
文学〔日本文学「古典」〕	短仏1・2選	通年	4	田中伸作	361
文学〔日本文学「近代」〕	短仏1・2選	通年	4	中西亮太	362
歴史学(1)〔日本近代史〕	短仏1・2選	通年	4	林彰	362
歴史学(2)〔中国史概観〕	短仏1・2選	通年	4	小林惣八	363
歴史学(3)〔アジア史概観〕	短仏1・2選	通年	4	小林惣八	363
哲学〔西洋思想の源流〕	短仏1・2選	通年	4	滝沢正之	363
哲学〔近代の人間観と世界観〕	短仏1・2選	通年	4	伊古田理	364
哲学〔現代文明と人間〕	短仏1・2選	通年	4	鈴木聡	364
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	短仏1・2選	通年	4	伊古田理	365
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	短仏1・2選	通年	4	麻生享志	365
倫理学〔現代と倫理〕	短仏1・2選	通年	4	古田知章	366
倫理学〔人生と倫理〕	短仏1・2選	通年	4	末木恭彦	366

### (2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
法学・憲法〔法と権利〕	短仏1・2選	通年	4	鶏徳啓登	367
法学・憲法〔法と社会生活〕	短仏1・2選	通年	4	長谷川日出世	368
社会科学論〔社会認識の思想〕	短仏1・2選	通年	4	枝松正行	368
経済学〔現代経済と人間〕	短仏1・2選	通年	4	沼田郷	369
社会学〔現代社会を考える〕	短仏1・2選	通年	4	呉炳三	370
社会学〔現代文化を考える〕	短仏1・2選	通年	4	橋爪敏	370
統計学〔社会現象の統計的決定〕	短仏1・2選	通年	4	新行内康慈	371
文化人類学〔文化と人間〕	短仏1・2選	通年	4	川上新二	371
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	短仏1・2選	通年	4	杉井純一	372
政治学〔政治システムと政治参加〕	短仏1・2選	通年	4	真下英二	373
政治学〔国際社会と日本〕	短仏1・2選	通年	4	山村恒雄	373

### (3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	短仏1・2選	通年	4	鈴木順一	374
心理学(2)〔人間関係を考える〕	短仏1・2選	通年	4	鈴木順一	375
生物学〔生態と進化〕	短仏1・2選	通年	4	清水善和	376
生物学〔生物と環境〕	短仏1・2選	通年	4	中村敏枝	377
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	短仏1・2選	半期	2	澤口隆	378
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	短仏1・2選	半期	2	塚本達也	378
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	短仏1・2選	通年	4	加藤潔	379
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	短仏1・2選	通年	4	篠原正雄	380
自然環境論〔生命と環境〕	短仏1・2選	通年	4	中村敏枝	381
情報数学〔情報と論理〕	短仏1・2選	通年	4	小沢誠	382



教養教育

科目名	担当者名
宗教学〔比較宗教文化〕	田中かの子

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などという、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をとまなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。

成績評価の方法

出席状況、創意・文章力・工夫の楽しみ方を評価する夏休みのレポート、後期最終授業日に配布予定のガイダンスにもとづいて準備できる学年末試験。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

その他

予定外の試みや受講生の要望などによっては、プログラムを変更することもあります。

科目名	担当者名
文学〔日本文学「古典」〕	田中伸作

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。  
また、史実が文学に取り込まれたとき、どのような世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名

担当者名

文学〔日本文学〔近代〕〕

なかにしりょうた  
中西亮太

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の歌集を読み、論じていきます。その過程で、受講者が近代短歌への理解を深めることを目指します。五句三十一文字を基本型とする短歌は、明治以降、庶民がみずからの心やみずからの体験した出来事を表現する文学ジャンルとして親しまれました。また一方で、多くの歌人は、この短い定型詩を近代文学として屹立たせるべく、新しい表現世界を切り開いてきました。その両面を、この講義では見ていきます。講義で取り上げる歌を一首紹介しておきます。「野に捨てた黒い手袋も起きあがり指指に黄な花咲かせだす」(斎藤史『魚歌』)

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる歌集は、与謝野晶子『みだれ髪』、石川啄木『一握の砂』、北原白秋『桐の花』、斎藤茂吉『赤光』、前川佐美雄『植物祭』、斎藤史『魚歌』、塚本邦雄『水葬物語』、中城ふみ子『乳房喪失』等を予定しています。授業の流れとしては、前期で明治期と大正の前半、後期で大正の後半と昭和期を扱う予定です。

履修上の留意点

当然のことではありますが、ただ出席するだけでなく、積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

成績評価の方法

前期末と後期末に、試験を実施します。

教科書

高野公彦編『現代の短歌』(講談社学術文庫)  
また、授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

参考書等

『短歌シリーズ・人と作品』(桜楓社)  
このシリーズで、後世の研究者が書いた晶子・啄木・白秋・茂吉などの評伝や秀歌鑑賞文を読むことができます。

科目名

担当者名

歴史学(1)〔日本近代史〕

はやし  
林 彰

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、著名な人物を取り上げ、論じながら、具体的に日本近代史の歩みを、人物とともにたどることにより、よりいっそうの理解を深める。とくに、体制側の動向(政府ないしは体制側の思想と運動の流れ)と反体制側の運動や思想の動向に留意しながらみていきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

安在邦夫ほか『日本の近代—国家と民衆』(梓出版) 2,000円

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名
歴史学(2)〔中国史概観〕	小林惣八

講義のねらい	中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
歴史学(3)〔アジア史概観〕	小林惣八

講義のねらい	ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。
成績評価の方法	前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。 詳細は追って指示する。
教科書	特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。
その他	出席を重視する。

科目名	担当者名
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢正之

講義のねらい	西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心に紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。 ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。 本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感していったら、と考えている。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。最初から順に読んでいく予定。適宜プリントで内容の補足を行う。
履修上の留意点	教科書を必ず人手しておくこと。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書	久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社） 授業中に適宜プリントを配布する予定。
参考書等	講義中に適宜指示する。

**科目名****担当者名**

哲学〔近代の人間観と世界観〕

伊古田 理

## 講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「人間」について検討する。われわれ人間（特に、現代の人間）は、自分自身をどのように理解しているのか、その自己理解はどのような変遷をたどり、どのような意義と問題点をかかえているか、解説していく。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

## 成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

## 教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

**科目名****担当者名**

哲学〔現代文明と人間〕

鈴木 聡

## 講義のねらい

本講義では、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題をとことん考え抜くという態度を受講者が身につけるための機会を提供したい。

## 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、以下の諸問題を取り上げる予定である。

1. 懐疑論
2. 他人の心
3. 心身問題
4. 言葉の意味
5. 自由意志
6. 正と不正
7. 正義
8. 死
9. 人生の意味

## 履修上の留意点

原則として欠席は認めない。必ず予習し、1回の講義につき少なくとも1回は質問すること。

## 成績評価の方法

成績は、出席状況・講義中の質問によって評価する。

## 教科書

開講時に指定する。

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系 I～命題論理 (3) 公理系 II～述語論理  
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年 2 回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考え、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで (1) 論理とは何かを考え、(2) 変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60%）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名

担当者名

倫理学〔現代と倫理〕

ふる た とも あき  
古 田 知 章

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上に乗って、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 — 倫理的であること —
  2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
  3. 中世における宗教的倫理観
  4. ルネサンスと宗教改革 — 個としての人間 —
- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
- 近・現代における倫理思想 — 主体性と自由の問題 —
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
1. 生命の尊厳と人生の質
  2. 人間と環境との関係
  3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

教養教育

科目名

担当者名

倫理学〔人生と倫理〕

す え き や す ひ こ  
末 木 恭 彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学への基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何か確認する。その後、今年度は環境と倫理の問題について考察を行う。環境問題は現在の世界の大きな課題となっている。しかし、環境の問題は既に古代から取り挙げられて来ている。特に、古代中国のいくつかの学派の議論を取挙げて講義をする。古代中国の環境をめぐる思索を顧みて、そこから現代の環境をめぐる倫理に知恵を汲み上げたい。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と、夏期休暇のリポートにより評価する。

教科書

浅野裕一『古代中国の文明観』（岩波新書）

## 講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
  - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
  - (1) 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
  - (2) 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
  - (3) 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

## 成績評価の方法

出席状況と試験。

## 教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

## 参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。



**科目名****担当者名**

法学・憲法〔法と社会生活〕

はせがわ ひでよ  
長谷川 日出世**講義のねらい**

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

**成績評価の方法**

定期試験によるものとする。

**教科書**

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

**参考書等**

『ポケット六法』（有斐閣）

**科目名****担当者名**

社会科学論〔社会認識の思想〕

えだ まつ まさ ゆき  
枝 松 正 行**講義のねらい**

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

**講義の内容・授業スケジュール**

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

**履修上の留意点**

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

**成績評価の方法**

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

**教科書**

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

**参考書等**

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

**その他**

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名
経済学〔現代経済と人間〕	めま 沼 田 郷

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・世界経済に関する理論・今日の地球環境・世界の経済格差・大量消費社会の実態・世界の貿易と投資・物質的繁栄の代償・成長するアジアと停滞するアフリカ・環境問題・経済成長と石油資源・開発論の検討・世界の貿易と投資・ODA とは何か・地球環境と資源・環境への取り組み・世界経済と多国籍企業

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

成績は平常評価で行います。学期末の試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、講義終了時に小論を書いてもらい、それを評価します。また、レポートの作成を求めます（年間で1、2回）。

教 科 書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考資料に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

そ の 他

授業方法は履修人数にもよりますが講義形式で行います。パワーポイントでの授業を基本としますが、必要に応じて資料等の配布も行います。

科目名	担当者名
社会学〔現代社会を考える〕	お 呉 びょう さん 三

講義のねらい

社会学は人間が引き起こす様々な社会現象を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」などにまたがっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを理解すること。  
また、これらの諸問題を解決するためのより広い視点から現代社会を展望する視点を養ってもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：  
I 行為論：(1) 社会学における行為、(2) 行為者としての個人、(3) 日本的行為論  
II 集団論：(1) 集団の概念、(2) 官僚制理論、(3) 小集団論、(4) 集団の類型、(5) 日本的集団論  
(後期) 現代社会の特徴的な諸相について：  
(1) 家族集団、(2) 恋愛、(3) 結婚、(4) 若者文化、IT文化、(5) 少年犯罪、(6) ジェンダー、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン、摂食障害、(9) 就職、転職、リストラ、(10) フリーター、ニート、引きこもり、(11) 性同一性障害など  
以上の内容を講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため、講義内容について変更することもある。

履修上の留意点

この講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。それから、毎回辞書を持参すること。また、宿題を出すので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後期末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

教養教育

科目名	担当者名
社会学〔現代文化を考える〕	はし 橋 つめ さん 敏

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)  
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)  
その他授業中に適宜指示したい。

**科目名**

統計学〔社会現象の統計的決定〕

**担当者名**

新行内 康 慈

**講義のねらい**

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

**講義の内容・授業スケジュール**

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ  
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定  
 (16) 正規母集団の区間推定 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検点  
 (19) 母平均の差の推定・検定 (20) 母比率の推定・検定  
 (21) その他の推定・検定 (22) 演習 (23) 散布図と相関係数  
 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

**履修上の留意点**

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

**成績評価の方法**

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

**教科書**

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

**参考書等**

石村貞夫『すぐわかる統計解析』（東京図書）  
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』（日本実業出版）  
 永田靖『入門 統計解析法』（日科技連出版）  
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』（東京大学出版）

**その他**

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

教養教育

**科目名**

文化人類学〔文化と人間〕

**担当者名**

川上 新 二

**講義のねらい**

文化人類学は、世界各地の人々がおもつさまざまな文化の考察を通じて、人間とは何かを考える学問です。ここでいう文化とは私たちが伝統的に受け継いできた生活習慣をいいますが、生活習慣は各地域や民族で異なります。自分たちの生活習慣が標準的なものであり、それと異なるものは「異常なもの」「変なもの」と見てしまうと、私たちを含む人間というものを総合的にとらえることができなくなってしまいます。この講義では、世界のさまざまな文化を客観的に見る視座を養うことを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期は、文化人類学の概要について紹介します。①文化人類学の立場と内容、②文化とは何か、③文化の性質、④異文化と自文化などについて講義します。  
 後期は、文化の理解の具体例として、日本、韓国・朝鮮、中国の諸文化をとりあげて考察します。特に①婚姻、②家族、③親族などをとりあげ、各文化の共通性と特殊性について考察します。

**履修上の留意点**

やむを得ない事情で欠席する（欠席した）場合は、欠席届（形式は任意）を提出してください。

**成績評価の方法**

年度末試験、小レポート、出席状況などを総合して評価します。

**教科書**

教科書は用いません。

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
  - 1. 文化人類学とは何か
  - 2. 文化人類学の歩み (1)
  - 3. 文化人類学の歩み (2)
  - 4. 文化とコミュニケーション
  - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
  - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
  - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
  - 8. ジェンダー
  - 9. セクシュアリティ
  - 10. 婚姻の形態
  - 11. 家族の多様性
  - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
  - 1. 呪術と宗教
  - 2. アニミズム
  - 3. シャーマニズム
  - 4. シンクレティズム
  - 5. 儀礼の構造
  - 6. コスモロジー
  - 7. 神話
  - 8. 政治組織
  - 9. 民族とエスニシティ
  - 10. 民族紛争と戦争
  - 11. 開発と文化
  - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教 科 書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円  
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円  
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名
政治学〔政治システムと政治参加〕	ま した えい じ 真 下 英 二

講義のねらい

そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年  
加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年  
他は追って指示する。

科目名	担当者名
政治学〔国際社会と日本〕	やま むら つね お 山 村 恒 雄

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知 (9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達心理学
- [後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合算します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

## 講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

## 講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解  
 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理  
 (9～10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係  
 (16～17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係  
 (20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

## 履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

## 成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

## 教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）



## 講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟  
 (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡  
 (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンプリアの爆発  
 (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない  
 (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計  
 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか  
 (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比  
 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ  
 (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係  
 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲  
 (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り  
 (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)  
 (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する  
 (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム  
 (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で  
 (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸  
 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも  
 (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環  
 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に  
 (1) 遷移のモデル (2) 遷移の事例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり  
 (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯  
 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション  
 (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

## 履修上の留意点

特になし。

## 成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

## 教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

## 参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

そ の 他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名
生物学〔生物と環境〕	な 中    むら    とし    え 村   敏   枝

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

（前期）生物の生活

- （1－5）地球の歴史と生命の期限
- （6－13）生態系のしくみ化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
- （14－21）ゴミ処理とダイオキシン汚染
- （22－23）水銀汚染と水俣病
- （24－25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	さわぐち たかし 澤口 隆

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

教養教育

科目名	担当者名
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	つかもと たつや 塚本 達也

講義のねらい

学内や自宅において各自がコンピュータを問題なく扱えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

メール、インターネット、エクセル、ワードの基礎的なことを学ぶ。

履修上の留意点

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要。各自履修前に取得のこと。

成績評価の方法

レポートにより行う。

教科書

特になし

参考書等

特になし

その他

特になし

科目名	担当者名
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また前・後期に2回ぐらいずつビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境  
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源  
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動  
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題  
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来  
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』（培風館）2,100円＋税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

## 講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

## 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
- (1-6) 自然のしくみ
  - (7-12) 自然の改変食をめぐる問題
  - (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
  - (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
  - (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

## 履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

## 成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

## 教科書

使用しません。

## 参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円  
その他については授業時間内に随時紹介します。

## その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名
情報数学〔情報と論理〕	お <small>ま</small> さわ <small>ざわ</small> ま <small>ま</small> こ <small>こ</small> 誠 <small>まこと</small>

講義のねらい

点と点どうしを辺で結んだものをグラフという。例えば、人を点とみなし、知り合いであるとき辺で結ぶとグラフができる。同様に、地下鉄の路線図、インターネット、化学分子式、プリント基板回路、脳の神経回路、生態系などもグラフとみなすことができる。このように、物と物の繋がり方のみを抽出して得られるネットワークの性質を研究するのがグラフ理論である。

この講義では、将来どの分野に進んでも役に立つようなグラフ理論を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフ理論の基礎・グラフの彩色・回路とサイクル・極値問題・数え上げを学ぶ。後期に、ラベル付きグラフ・応用とアルゴリズム・グラフの図・平面性への近さの測定・曲面上のグラフを学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席・レポートも考慮する。

教科書

N. ハーツフィールド/G. リンゲル=共著、鈴木晋一=訳『グラフ理論入門数理学ライブラリ(2)』(サイエンス社)2,500円+税

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

### 3. 外 国 語 科 目



外国語

### 3. 外国語科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	伊勢村定雄	387
英語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	伊勢村定雄	387
英語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	熊沢和明	388
英語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	本間俊一	388
ドイツ語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	南はるつ	389
フランス語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	長谷川光明	389
中国語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	大久保明男	390
中国語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	曹泰和	390
スペイン語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	栗林ゆき絵	391
ロシア語Ⅰ〔再クラス〕	短仏2年	通年	2	杉山秀子	391
英語Ⅱ	短仏2年	通年	2	丸小哲雄	392
英会話Ⅰ	短仏1・2選	通年	2	ロビン, G. F.	393
英語LLI	短仏1・2選	通年	2	甲斐捷子	394

外国語

科目名	担当者名
英語 I〔再クラス〕	伊勢村 定雄

講義のねらい	実際の E-mail を通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。
講義の内容・授業スケジュール	進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。 1 課を 2～3 時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年 2 回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	<i>Sadao Isemura, Dennis R. Kogge</i> 『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円 ISBN4-590-01115-8
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・6 時限

科目名	担当者名
英語 I〔再クラス〕	伊勢村 定雄

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1 課を 2～3 時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年 2 回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	丸橋他編注『映像で楽しむオーストラリア ( <i>Touring Australia</i> )』（英光社）1,890円 ISBN4-87097-024-4
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・7 時限

科目名	担当者名
英語 I [再クラス]	熊 <sup>くま</sup> 沢 <sup>さわ</sup> 和 <sup>かず</sup> 明 <sup>あき</sup>

講義のねらい	英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。
講義の内容・ 授業スケジュール	平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。
履修上の留意点	英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。
成績評価の方法	出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。
教科書	『Why Is That ?』(金星堂)
その他	PC および携帯メールを利用した補習を行います。

科目名	担当者名
英語 I [再クラス]	本 <sup>ほん</sup> 間 <sup>ま</sup> 俊 <sup>とし</sup> 一 <sup>かず</sup>

講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を發表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

科目名	担当者名
ドイツ語 I〔再クラス〕	<small>みなみ</small> 南 はるつ

講義のねらい

比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、助動詞  
後期：命令形、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞、関係代名詞

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書

南道子他著『ドイツ語の上にも一年』（同学社）2,300円

参考書等

随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

科目名	担当者名
フランス語 I〔再クラス〕	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明

講義のねらい

ビデオ教材を用いて初級文法を学習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題を取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書

藤田裕二他『パスカル・オ・ジャポン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名
中国語 I〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定。
履修上の留意点	中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	本間史・孟広学著『中国語ポイント42』（白水社）2,205円

科目名	担当者名
中国語 I〔再クラス〕	曹 泰 和 <small>そう たい わ</small>

講義のねらい	中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
講義の内容・授業スケジュール	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を練習する。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、ビデオを通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション入門編』（朝日出版社）2,625円
参考書等	開講時に説明する。
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名
スペイン語 I〔再クラス〕	栗林 ゆき絵

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（毎時間の小テスト含む）30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

初回の授業の授業で指示（プリント配布予定）。初回は必ず出席のこと。

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）  
\*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名
ロシア語 I〔再クラス〕	杉山 秀子

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税

参考書等

『露和辞書』



---

---

**科目名****担当者名****英語Ⅱ****丸小哲雄**

---

**講義のねらい**

宗教の世界を語るのに必要な知識と、その基礎学的な発信型のコミュニケーション力を涵養するように工夫して、専門に役立つような語学学習のレベルアップを目指します。

**講義の内容・授業スケジュール**

総理解（英文を読みこなすための英語の仕組み）としてライティングを、読込みと思考としてリーディングを、発信型のコミュニケーション力としてリスニングを、それぞれ有機的に連動して相互補完していきます。

**履修上の留意点**

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習が前提条件です。私語は厳禁。

**成績評価の方法**

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

**教科書**

- ・リーディング・テキスト：『*English for Mass Communication*』（朝日出版） ISBN4-255-15427-9
- ・リスニング・テキスト：『*Short Listening*』（成美堂） ISBN4-7919-4507-7

**参考書等**

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

# 英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名
英会話 I	ロビン, G. F.

## 講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

## 講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

## 成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

## 教 科 書

- (1) Warren Wilson, Roger Bernaro 『*FIFTY-FIFTY: Student book 1*』 (Longmans)  
ISBN0-13-920000-2

# 英 語 L L I

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名
英語 L L I	甲 斐 捷 子

## 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

## 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期は American Accent Training のCD を使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

## 履修上の留意点

CD のダビングは著作権法上できませんが、授業時の練習で十分です。

## 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

## 教 科 書

Hisako Murakawa 著 『*Sounds Right! Sounds Good !*』  
(MacMillan Language House) 2,000円

## 4. 保 健 体 育 科 目

## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習(バドミントン)	短仏1選	通年	2	村松誠	399
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	短仏1選	通年	2	大石武士	400
健康・スポーツ実習(室内球技)	短仏1選	通年	2	山口良博	400
健康・スポーツ実習(卓球)	短仏1選	通年	2	鈴木淳平	401
健康・スポーツ実習(空手道)	短仏1選	通年	2	高橋俊介	402
健康・スポーツ実習(バドミントン)	短仏1選	通年	2	三幣晴三	403
健康・スポーツ論	短仏1選	半期	2	鈴木淳平	404
健康・スポーツ論	短仏1選	半期	2	田中佳孝	405

保健  
体育

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サーブとリターン、ルール解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10 時限目：〃(キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11 時限目：〃(ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(ゲーム)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4 時限目：〃(フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。



科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(ミニサッカー)	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール  
 1 時限目：オリエンテーション  
 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム  
 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム  
 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム  
 10 時限目～14 時限目：ゲーム  
 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	担当者名
健康・スポーツ実習(室内球技)	やまぐち よしひろ 山口 良博

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
 (バスケットボール)  
 2 時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム（1次リーグ）  
 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）  
 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）  
 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）  
 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）  
 7～9 時限目：ゲーム（2次リーグ）  
 (バレーボール)  
 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）  
 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）  
 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）  
 13～15 時限目：ゲーム（トーナメント）

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技点（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

その他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科目名

担当者名

健康・スポーツ実習(卓球)

すずき じゅん べい  
鈴木 淳 平

講義のねらい

卓球を生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、シングルスゲーム
- 3 時限目：シングルスゲーム
- 4 時限目：                  〃
- 5 時限目：                  〃
- 6 時限目：                  〃
- 7 時限目：ダブルスゲーム
- 8 時限目：                  }
- } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目：                  }
- 12時間目：                  } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目：                  }

履修上の留意点

- 1. 定員は40名程度とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。
- 5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

**科 目 名****担 当 者 名**

健康・スポーツ実習(空手道)

たがほししゅんすけ  
高橋俊介**講義のねらい**

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

**履修上の留意点**

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

**成績評価の方法**

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

**そ の 他**

雨天時は走のための補強トレーニング

**科目名****担当者名**

健康・スポーツ実習(バドミントン)

み ぬさ はる み  
三 幣 晴 三**講義のねらい**

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

**講義の内容・授業スケジュール**

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習  
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術  
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの選び方、ルールの説明  
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12時限目：同 第2日目
- 13時限目：同 第3日目
- 14時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

**履修上の留意点**

服装：一般的な運動服装  
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

**成績評価の方法**

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

講義のねらい

健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目：            ♪
- 13 時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
- 14 時限目：            ♪
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

## 講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて  
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について  
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて  
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン  
○飲酒  
○喫煙  
○スポーツ  
○外食、甘党  
○ダイエット  
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

## 履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

## 成績評価の方法

2 / 3 以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

## 参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)  
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』  
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

## そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

保健  
体育

## II 專門教育科目



專門教育

## Ⅱ. 専門教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎仏教学	短仏1必	通年	4	下室覚道	411
坐禅	短仏1必	通年	4	角田泰隆	411
宗学研究	短仏1・2選必	通年	4	角田泰隆	412
禅学研究	短仏1・2選必	通年	4	奥野光賢	412
仏典研究Ⅰ	短仏1・2選必	通年	4	休講	
仏典研究Ⅱ	短仏1・2選必	通年	4	石井公成	413
仏典研究Ⅲ	短仏1・2選必	通年	4	袴谷憲昭	413
仏教語解説	短仏1・2選	通年	4	池田道浩	414
中国禅宗史	短仏1・2選	通年	4	須山長治	414
日本禅宗史	短仏1・2選	通年	4	角田泰隆	415
インド仏教史	短仏1・2選	通年	4	池田道浩	415
中国仏教史	短仏1・2選	通年	4	奥野光賢	416
日本仏教史	短仏1・2選	通年	4	袴谷憲昭	417
禅籍講読	短仏1・2選	通年	4	石井公成	417
仏典講読	短仏1・2選	通年	4	岡本一平	418
仏教伝道	短仏1・2選	通年	4	奥野光賢	418
中国古典語	短仏1・2選	通年	4	須山長治	419
書道	短仏1・2選	通年	4	那須隆吉	419
仏教と文化	短仏1・2選	通年	4	岡本一平	420
仏教と現代	短仏1・2選	通年	4	下室覚道	420
外国語仏書演習	短仏1・2選	通年	4	袴谷憲昭	421
インド・チベット仏教演習	短仏1・2選	通年	4	池田道浩	421
中国仏教演習	短仏1・2選	通年	4	奥野光賢	422
仏教思想演習	短仏1・2選	通年	4	袴谷憲昭	422
仏教文学演習	短仏1・2選	通年	4	石井公成	423
宗学演習	短仏1・2選	通年	4	角田泰隆	423
日用経典概説	短仏1・2選	通年	4	奥野光賢	424
宗教哲学	短仏1・2選	通年	4	紺野馨	424
キリスト教概説	短仏1・2選	通年	4	紺野馨	425
仏教特講Ⅰ	短仏1・2選	通年	4	荒井裕明	425
仏教特講Ⅱ	短仏1・2選	通年	4	鈴木一馨	426
宗学特講Ⅰ	短仏1・2選	通年	4	熊本英人	426
宗学特講Ⅱ	短仏1・2選	通年	4	晴山俊英	427

專門教育

科目名	担当者名
基礎仏教学	しもむろかくどう 下室覚道

講義のねらい

仏教の基礎知識を学ぶとともに、辞書の使い方、論文の探し方等の学習方法も習得できるように講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

教材として前期は『般若心経』を使う。後期は受講者と相談して、教材を決めたい。

成績評価の方法

評価は、年に何度か提出してもらったレポートによって行い、ペーパー試験は行わない。

教科書

特定の教科書はない。

参考書等

資料等は、そのつど配布する。

科目名	担当者名
坐禅	つのだたいりゅう 角田泰隆

講義のねらい

短大仏教科は仏教学の学習・研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗の重要な修行である坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、この坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知り、それを実際に体験できる科目として重要な意義をもっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不要。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない、仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参考書等

なし

その他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名

担当者名

宗学研究

つのだたいりょう  
角田泰隆

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禪師・瑩山禪師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

年末に行なう筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。筆記試験の日時については後期の授業において連絡する。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学II』（更生社）2,370円

参考書等

角田泰隆著『道元入門』（大蔵出版）2,520円、角田泰隆著『禅のすすめ—道元のことば—』（NHK出版）970円＋税

科目名

担当者名

禅学研究

おくのみつよし  
奥野光賢

講義のねらい

研究は山登りに似ているように思われる。いきなり頂上を目指して、高度な専門分野に飛び込んでいったとしてもさしたる成果は得られないであろう。やはり、基礎からコツコツと学んでいかなければならないものと思われる。この授業は、これから本格的に「禅学」を学んで行くために必要な基本的事項の教授を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「禅学」を学ぶ上で必要となる基礎知識（文献・歴史等）の解説を中心に授業を進める。

後期は、前期の授業を踏まえた上で、実際に文献講読を行なう。講読する文献は、追って指示する。

- (1～2) 禅学を学ぶために、参考文献・参考書の指示
- (3～4) 禅と禅宗
- (5～6) 禅宗の資料
- (7～8) 修行・禅定思想
- (9～10) 禅の語の意味、禅の分類
- (10～11) 菩提達摩
- (12～13) 禅宗の達磨像
- (14～15) 禅宗の燈史
- (16～17) 六祖慧能について
- (18～22) 禅文献講読
- (23～24) 近年の禅学研究的学界動向

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。受講希望者は開講初日から出席すること。

成績評価の方法

平常点によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

前期の「解説」は講義形式、後期の「講読」は演習形式で授業を進める。

専門教育

科目名

担当者名

仏典研究Ⅱ

いし せい  
石 井 公 成

講義のねらい

漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ厳密に読むために、パーソナル・コンピュータ（PC）を用いた研究法を体得できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易で面白い内容の短い経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際にPCを使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用方法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。漢文の力がつくよう基礎から指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の仕事やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明する。1年間ががんばれば、必ずPCを活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

平常点によって判定する。授業中に熱心に取り組んでいた者については、考慮する。

教科書

コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科目名

担当者名

仏典研究Ⅲ

はかま や のり おき  
袴 谷 憲 昭

講義のねらい

この演習は、日本の仏教文献の講読を通して、仏教思想を研究しようというものである。日本の仏教は、南都の六宗、平安の二宗、計八宗によって確立されたが、それらは、あたかも一旦源信に流れ込み、それがまた再び仏教の諸思想となって展開したかのような観を呈している。その意味で、源信は、日本の仏教を学ぶ上での原点と言ってもよい存在である。しかるに、その源信（942-1017）は、『往生要集』があまりにも有名であるため、彼の思想的主著ともいってよい『大乘対俱舍抄』や『一乗要決』の研究が却って遅れているといった状況を呈している。本演習では、この両者のうち、『大乘対俱舍抄』の方を取り上げて、丁寧に講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは、『俱舍論』本頌に、それに見合った大乘の教義を、大乘仏教の諸漢訳テキストよりの引用によって対応せしめたものである。本演習においては、それらの引用の原典にまで遡ることによって、アビダルマ教義と大乘教義との対応の意味を、順次に検討していくであろう。

履修上の留意点

初めは困難なようにみえても、扱われている内容は、仏教思想の基本的なものであるから、それを自ら講読してみたいと願うものが望ましい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

源信『大乘対俱舍抄』（大日本仏教全書85）  
人手困難なものについてはコピーを用意する。

科目名	担当者名
仏教語解説	池田道浩

講義のねらい	本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってほしい。
講義の内容・授業スケジュール	まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。
成績評価の方法	受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。
教科書	水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	担当者名
中国禅宗史	須山長治

講義のねらい	『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場します。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的です。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからです。禅宗は自ら不立文字と標榜しますが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのです。この事実を、禅の語録を通して考察していこうと思います。
講義の内容・授業スケジュール	昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を精読しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていきます。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、“中国禅”とはなにかを考察していこうと思います。
履修上の留意点	積極的にノートをとるよう努めてください。
成績評価の方法	出席を重視し、学年末の試験によって評価します。試験は基本的な内容を問い、具体的には、論述形式。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	入矢義高他『碧巖録』上中下（岩波文庫） 梶谷宗忍他『雪竇頌古』禅の語録15（筑摩書房）

科目名	担当者名
日本禅宗史	つのだたいりょう 角田泰隆

講義のねらい	禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は日本の禅宗の歴史について概説する。
講義の内容・授業スケジュール	日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の、仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。
成績評価の方法	年末に行なう筆記試験の成績によって評価する。筆記試験の日時については後期の授業において連絡する。
教科書	駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円
参考書等	授業において紹介する

科目名	担当者名
インド仏教史	いけだみちひろ 池田道浩

講義のねらい	インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。
成績評価の方法	受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。
教科書	特定の教科書は使用しない。
参考書等	高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会） 平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）



**科目名****担当者名**

中国仏教史

おくのみつよし  
奥野光賢**講義のねらい**

中国における仏教の展開を、主として「教理史」に力点をおいて概説する。同時に中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解題も行なう。

**講義の内容・授業スケジュール**

まず最初に、中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説を行なう。それを踏まえた上で、時代を追って中国における仏教の展開を見ていくこととする。各種文献に対する基礎的知識を習得しておけば、講義の中で興味をもった事柄について、各自が直接原資料にあたって調査・研究ができるようになるはずである。

(1～4) 中国仏教史籍解題 (経録・各種高僧伝)、参考書・参考文献解説、中国仏教の歴史的性格

(5～6) 仏教の中国伝播流伝

(7～8) 格義仏教

(9～10) 仏図澄と釈道安

(11～13) 鳩摩羅什とその門下、慧遠教団の活躍

(14～15) 新大乘經典の訳出

(15～16) 廢仏・破仏について

(17～18) 諸学派の興起と展開 (涅槃・成実・地論・摂論学派)

(19～25) 隋・唐の仏教諸宗 (三論宗・天台宗・三階教・法相宗・華嚴宗・律宗)

(26) まとめ

**履修上の留意点**

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。履修希望者は開講初日かならず出席すること。

**成績評価の方法**

平常点によって評価する。

**教科書**

特に指定せず、プリントを配布する。

**参考書等**

授業において適宜指示する。

**その他**

授業は講義方式で進めるが、受講生には授業のたびに何らかの質問をする。

科目名	担当者名
日本仏教史	袴谷憲昭

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 第2章 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 2 仏教の確立と南都六宗の教義
- 第3章 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舍宗 4 華嚴宗と律宗と
- 2 平安二宗の教義と仏教の展開
- 第4章 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 2 中世社会の展開と仏教の変様
- 第5章 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 2 近世と近代の体制的仏教思想
- 結 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 現代社会と仏教思想
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとする事が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだい変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年  
袴谷憲昭著『日本仏教文化史』（大蔵出版）2005年

科目名	担当者名
禅籍講読	石井公成

講義のねらい

禅宗の百科辞典である永明延寿の『宗鏡録』とその師である法眼文益の著作を読む。禅宗に関する常識がいかに初期禅宗と唐代禅宗の実態と異なっているかを明らかにしてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

最古の禅文献である『二入四行論』などを概観した後、『宗鏡録』を通じて唐代禅宗の流れを明らかにしてゆき、経典を重視した法眼文益が延寿に与えた影響について考えてゆく。漢文の文法、禅文献の語法も初歩から平行して講義してゆく。

履修上の留意点

初めは講義の形をとるが、学生諸君が慣れてきたら、少しずつ担当して読んでもらうため、積極的に参加する気構えが必要である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

コピーを配布する。

専門教育

科目名	担当者名
仏典講読	岡本 一平

講義のねらい

仏教の聖典は三蔵といい、経蔵（釈尊の思想的な教え）、律蔵（教団の運営）、論蔵（仏弟子による経の研究）の三種に分類される。本年度は、大乘仏教の理解を深めるために漢訳の大乘教典を多く講読したい。特に、中国・日本・韓国の仏教思想家が重視した仏性思想に関連する文献を読解したい。なるべく多く読み、仏典の基礎知識を広げることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『華嚴経』『如来蔵経』『涅槃経』などの仏性・如来蔵思想に関連する経典。  
後期は、『法華経』『阿弥陀経』『無量寿経』など初期の大乘経典。

履修上の留意点

本講義では、参加者に順番に文献を音読してもらう予定である。しかし、漢文や書き下し文の読解能力は問わない。初学者の多くはなかなか読めないで、恥ずかしがらずに、積極的に参加していただきたい。質疑も大歓迎する。

成績評価の方法

平常点及び学年末のレポート（5～10枚）で評価する。出席もとる予定なので、3分の2以上授業に出席してもらいたい。

教科書

プリントを配布

参考書等

高崎直道『如来蔵思想の形成』（春秋社）  
その他、授業において紹介する。

科目名	担当者名
仏教伝道	奥野 光賢

講義のねらい

中村元訳『ブツダ最後の旅』（岩波文庫）、鳩摩羅什訳『仏垂般涅槃略説教誡経』（遺教経）を読みながら、釈尊の伝道について考える。

講義の内容・授業スケジュール

4月、5月は上記の文献に対する概説を行う。概説終了後、講読に入る。

履修上の留意点

年間の授業スケジュールを詳しく説明するので、開講初日にならず出席すること。

成績評価の方法

平常点によって評価する。

教科書

中村元訳『ブツダ最後の旅』（岩波文庫）、他にプリント配布をする。

その他

適宜指示する。

科目名	担当者名
中国古典語	須山長治

講義のねらい	昨年度に引き続き、『論語』を読みます。中国の古典で最も有名なものが、孔子とその弟子たちの言行を記した『論語』です。中国思想史の上でも、儒家の思想はこの書を中心に展開し、後世に大きな影響を及ぼしてゆきます。私たちは『論語』を精読することによって、孔子の活躍した時代に人々がどんな環境の中で、どんな考えを持ち、どのように暮らしていたのか、その様子を垣間見ることができます。人間とは何か、社会とは何か、古くて新しい問いが『論語』には詰まっています。それらを一話一話から読み取っていきましょうと思います。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は『論語』第十七の陽貨篇から始めます。一文ずつを丁寧に読み、原文をきちんと訓読できるようにします。口語訳は一字一字の漢字の意味から試み、漢文の文法にも触れます。
履修上の留意点	積極的にノートをとるよう努めてください。
成績評価の方法	出席を重視し、学年末の試験によって評価します。 試験は基本的な内容を問い、訓読・口語訳の確認、内容に関する論述の問題。
教科書	プリントを配布します。
参考書等	金谷治訳注『論語』（岩波文庫） 吉田賢抗著『論語』新釈漢文大系（明治書院）

科目名	担当者名
書道	那須隆吉

講義のねらい	世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。</li> <li>書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。</li> <li>中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。</li> </ul>
履修上の留意点	テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）
成績評価の方法	出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。
教科書	『書の世界』（中教出版）約1,200円
参考書等	随時紹介する。

科目名	担当者名
仏教と文化	おかもと いうべい 岡本 一平

講義のねらい	輪廻という概念を中心に、古今東西の文化に触れてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義は体系的・組織的にせず、随意に、興味に応じて行いたい。
成績評価の方法	評価は、レポートによって行い、ペーパー試験は実施しない。
教科書	特定の教科書は用いない。
参考書等	資料は、そのつど配布する。

科目名	担当者名
仏教と現代	しもむろ かくどう 下室 覚道

講義のねらい	インドにおいて釈尊によって説かれた仏教は、東アジアを中心に伝播したが、その過程でその地域の民間信仰などとも融合しながら、人々の宗教的要請に応えたのである。僧侶は出家し、(経済的)労働にたずさわらない存在が本来的であった。しかし、現在の日本で「お坊さんは何をする人」と問われれば、真っ先に「お葬式をする人」という答えが帰ってくるように、現在は僧侶と葬式との関係は深く、お寺の経営にも関わってくる。このような葬儀の問題に関して考えていきたい。さらに、臓器移植問題や人権問題という現代的課題に対しても、仏教との関わりを考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	葬祭、臓器移植、人権問題の順に講義する。
履修上の留意点	仏教の基礎的知識を習得した上で、さらに現代の諸問題に対する問題意識を持ってもらいたい。
成績評価の方法	授業の出欠状況、レポート、年度末試験により評価する。
教科書	プリントを随時配布する。
参考書等	曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』 その他、適宜指示する。

科目名	担当者名
外国語仏書演習	袴谷憲昭

講義のねらい

英語を通して仏教思想のなんたるかを学ぶことを目的とする。その一環として、下記のテキストを、下記の留意点などの配慮のもとに講読する。

講義の内容・授業スケジュール

アンベードカルの多数ある著述中より下記のものを選んで講読する。その箇所は、授業中に適宜指示する。講読の意図は、アンベードカルが不可触民の地位解放の原理として採用した仏教思想とはどのようなものであったかを解明することにあるが、そのためには、彼の基づいた仏教の出典も確認していく必要があるであろう。

履修上の留意点

この原英文テキストには、「参考書」欄に示した邦訳があり、それが光文社新書に入ったことにより求めやすくなった。出典の渉獵と共に、その邦訳と付き合わせて下調べしてくることは大いに歓迎したい。

成績評価の方法

平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

教科書

B. R. Ambedkar, *The Buddha and His Dhamma*, Bombay, Siddharth Publication, Fourth Edition, 1991.

参考書等

B. R. アンベードカル、山際素男訳『ブッダとそのダンマ』（光文社新書）2004年 1,000円  
袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）

その他

なお、上記テキストを購入できない人のためにはコピーを用意するので、その人数確認を兼ねた第一回目は必ず出席されたい。

科目名	担当者名
インド・チベット仏教演習	池田道浩

講義のねらい

ツォンカバは、ダライラマが属するゲルク派の開祖である。ツォンカバ教学は、全仏教を通じて最高レベルのものであろう。本講義では、ツォンカバの中観思想を考察したい。きわめて難解であるが、十分な準備をして、理解しやすくなるよう努めるつもりである。

成績評価の方法

評価は、レポートによって行い、ペーパー試験は実施しない。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

資料は、そのつど配布する。

**科目名****担当者名**

中国仏教演習

おくのみつよし  
奥野光賢**講義のねらい**

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。一応、下記のような講義内容とするが、受講者の人数によっては、受講者の希望によってテキストを変更する場合もあり得る。

**講義の内容・授業スケジュール**

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標とする。本年度は最初から読み始める。

講義スケジュールは以下のような予定とする。

（前・後期）

（1）授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示

（3～4）『八宗綱要』解題

（5回目以降）講読開始

**履修上の留意点**

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。履修希望者は開講初日かならず出席すること。

**成績評価の方法**

純然たる演習科目なので、成績評価は平常点のみで行なう。

**教科書**

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

**参考書等**

授業において適宜指示する。

**その他**

事業は演習形式によって進める。

**科目名****担当者名**

仏教思想演習

はかまのりあき  
袴谷憲昭**講義のねらい**

今となって言うのも奇妙なことだがインドより東アジア仏教圏に伝播した仏教思想を理解する上で玄奘訳『成唯識論』は必須必読の文献である。この演習では特に唯識思想が我が国にいかなる影響を及ぼしたかを絶えず考慮しながらインド原典にも遡りつつ本文の正確な読解に努めていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

体系的に記述された文献なので、順を追って講読していく。

**履修上の留意点**

文献を必ず自分で読むという気概を持つこと。

**成績評価の方法**

平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

**教科書**

佐伯定胤校訂『新導成唯識論』（法隆寺）

**参考書等**

国訳一切経、印度撰述部、瑜伽部7  
桑山正進、袴谷憲昭『玄奘』（大蔵出版）

科目名	担当者名
仏教文学演習	石井 公成

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、アジア諸国の文学についても大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・漢詩・和歌・物語・芸能などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。本年度は中国・朝鮮・日本・ベトナムの漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

初めは文法に関する説明を交えながら、文献を読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科目名	担当者名
宗学演習	角田 泰隆

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禪師の名著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

前期は図書館を利用してテキストの自主研究を行なう。教員の指導を受けながら、『正法眼蔵』の研究方法を習得する。後期は前期の自主研究の成果を発表してもらいながら、問答形式で授業をすすめ、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

前期の自主研究においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

研究成果の発表、および研究レポートの提出によって評価する。

教科書

テキストを配布する。

参考書等

授業において紹介する。



科目名

担当者名

日用經典概説

おくの奥野みつよし  
賢

講義のねらい

この講義は、曹洞宗で日頃、読誦されている經典（教典）、回向文に対する解説を主たる内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は当然のことながら、曹洞宗で日頃、読誦されている經典（教典）を主として扱うことになるが、内容は必然的に經典一般に及ぶ。したがって、前期は經典の成立史から講義をはじめ。その上で、個々の經典に対して、曹洞宗の関わりから解説を試みる。後期は、曹洞宗で読誦される聖典のうち、主として『修証義』に的を絞り、種々の問題を考察することとする。

- (1) ～ (2) お経とは何か
- (3) ～ (4) 大藏經の系譜
- (5) ～ (6) 曹洞宗で唱える代表的回向文
- (7) ～ (8) 般若經典（般若心經と金剛般若經）
- (9) ～ (11) 法華經—如来寿量品・觀世音菩薩普門品を中心に
- (12) ～ (13) 曹洞宗と法華經、前期のまとめ
- (14) ～ (16) 涅槃經典、曹洞宗と遺教經、仏祖三經
- (17) ～ (18) 陀羅尼經典
- (19) ～ (20) 『修証義』の編纂
- (21) ～ (22) 『修証義』の構成と問題点
- (23) ～ (25) 『修証義』第四章「發願利生」の講読
- (26) まとめ

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。履修希望者は開講初日かならず出席すること。

成績評価の方法

平常点によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としないので注意されたい。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は基本的には講義方式とするが、受講生の人数によっては演習形式とする場合もある。

科目名

担当者名

宗教哲学

こんの紺野かほる  
馨

講義のねらい

現代世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は前提として「理性と信仰」の関係を、主にヨーロッパ近代思想史の文脈のなかで考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果をも視野に入れる。後期は「現代社会と宗教」と題して、宗教の歴史的展開、近代化と宗教、さらには現代日本における宗教の様相などをフィロゾフィーレンする（哲学する）。

履修上の留意点

なるべく受講生諸君にも身近な事例を糸口として講義するが、古典的著作を読む課題もあるので、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。

成績評価の方法

レポートによって評価する。出席も重視する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書等は教室で指示する。

科目名	担当者名
キリスト教概説	紺野馨

講義のねらい	キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期は、キリスト教史を中心に、歴史的形成物としてのキリスト教を考える。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ学期内に試験を行なう。出席も重視する。
教科書	教室で指示する。
参考書等	教室で指示する。

科目名	担当者名
仏教特講 I	荒井裕明

講義のねらい	『八宗綱要』の第一章俱舎宗の読解を通して、『俱舎論』の概要や阿毘達磨に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	この授業は演習形式ではないが、仏教漢文の読解力を養うことを第二の目的とするため、原漢文を受講生諸君に読んでもらう形式を進めたい。ただし、基本的な漢文の読み方について丁寧に指導するので、全く経験のない方も心配は不要である。
成績評価の方法	授業の平常点及び学年末のレポートで評価する。出席をとる。
教科書	授業の際にコピーを配る。
参考書等	鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫） 桜部建・上山春平『仏教の思想2 存在の分析（アビダルマ）』（角川ソフィア文庫）

科目名

担当者名

仏教特講Ⅱ

鈴木 一 馨

講義のねらい

6世紀に伝来した仏教は日本の宗教信仰の大きな柱となっていくが、これは教理・教学といった高度な知識体系やそれを擁する僧侶ばかりでなく、素朴な信仰とのつながりやそれを擁する生活者によっても支えられた結果である。一体、日本の宗教信仰を支えるものは何なのか、そして仏教が日本の宗教信仰に与えた影響は何なのか、などという問題は、仏教が日本に定着した理由やまたそこで果たしている役割を理解するためには、是非とも解決しておかなければならない。

本講義ではその解決につながるよう、生活者にとっての仏教とはどのようなものなのかについて、前期には民間に存在する「ほとけ」信仰の様子を講説し、後期には僧侶の擁する教理仏教と俗人の擁する生活仏教との関係を講説し併せて日本における仏教の定着やそこで果たしている役割について見ていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：Ⅰ．「ほとけ」と力  
 (1～3)「ほとけ」と力 (4～6)「ほとけ」の力信仰の諸相 (7～9)「僧」の力 (10～13)「寺」の力  
 後期：Ⅱ．教理仏教と生活仏教  
 (14～21) 葬祭仏教の諸問題 (22～26) 生活仏教の諸相

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人(予備軍)としての常識性を重視する。  
 また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

佐々木宏幹『〈ほとけ〉と力』(吉川弘文館)2002年 2,300円

参考書等

佐々木宏幹『神と仏と日本人』(吉川弘文館)1996年 2,625円  
 鎌田東二『神と仏の精神史』(春秋社)2000年 2,310円

科目名

担当者名

宗学特講Ⅰ

熊本 英人

講義のねらい

曹洞宗寺院の諸行法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988(昭和63)年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れ、現代における仏教の役割について考えたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』(曹洞宗宗務庁刊)1,300円

科目名

担当者名

宗学特講Ⅱ

ほれ やま しゅん えい  
晴 山 俊 英

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し、宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

レポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。



## Ⅲ 他学部履修科目

フレックスAで開講される他学部履修科目は、短大  
国文科・英文科の頁を参照してください。(→P.275)

他学部履修  
教育学部開設

### Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	短国・短英・短仏	通年	4	大吹勝男	433
社会思想史	短国・短英・短仏	通年	4	阿部弘	434
国際経済論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
商業政策	短仏	通年	4	岩下弘	435
アジア経済論	短仏	通年	4	鄭章淵	436
社会政策	短国・短英・短仏	通年	4	竹下睿騏	437
マーケティング	短国・短仏	通年	4	休講	
経営管理論	短国	通年	4	休講	
中小企業論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
人口論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
労務管理論	短仏	通年	4	休講	
法思想史	短国・短英・短仏	通年	4	高橋洋城	438
日本法制史	短国・短英・短仏	通年	4	茂野隆晴	439
西洋法制史	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
経済法	短仏	通年	4	荒井登志夫	440
国際関係論	短仏	通年	4	三船恵美	440
地方自治法	短仏	通年	4	富井幸雄	441
国際紛争解決法	短仏	通年	4	王志安	442
倒産処理法	短仏	通年	4	鈴木貴博	443
アメリカ経営学	短国・短英・短仏	通年	4	宮城徹	444
経営財務論	短国・短英・短仏	通年	4	高田光明	445
経営組織論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
公益企業論	短国・短英・短仏	通年	4	菅谷実	446
管理会計論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	
会計監査論	短国・短英・短仏	通年	4	阿部一人	447
日本経済論	短国・短英・短仏	通年	4	休講	



他学部履修  
仏教学部開設

## 講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請にこたえねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

## 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということがあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

## 教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円  
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）1,500円

**科目名****担当者名**

社会思想史

阿部弘あべひろし**講義のねらい**

テーマ：市民と経済学  
 「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。

この論は21世紀「市民社会」、そして現代の日本の社会でも機能している。そこで講義体系の前半部分で「経世済民」論の成立過程を明らかにして、現代にあったこの論の持つ意義を観ていく。

次に、「経済学」の成立は「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

第1部：「経世済民」思想

第1章：古代中国での思想

第2章：日本の江戸時代の「経世済民論」

第3章：「経世済民論」と現代

第2部：「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：現代の経済的諸問題

**履修上の留意点**

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる。

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 年間4～6回のレポートの作成

**成績評価の方法**

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。

**教科書**

教科書は次のものを批判的に用います。

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）

**参考書等**

適宜授業中に指定する。

**その他**

〔連絡体制〕

講師の連絡先等を次に記載しておく。

TEL（職場）：03-3418-9360（第2研究棟5F No.2538研究室）

03-3418-9343（経済学部事務室）

E-mail: xupabe@nifty.com

科目名	担当者名
商業政策	いわ した 弘 岩 下 弘

講義の内容・ 授業スケジュール	<p>一 わが国の小売商業構造と蓄積構造</p> <p>1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造</p> <p>3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造</p> <p>二 わが国の流通政策論</p> <p>1 中小小売商保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論</p> <p>4 流通革命論</p> <p>三 流通ビジョンと流通政策</p> <p>1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン</p> <p>4 21世紀へ向けた流通ビジョン</p> <p>四 わが国の小売商業調整政策の展開過程</p> <p>1 百貨店法</p> <p>1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法</p> <p>2 中小小売商業振興法</p> <p>3 小売商業調整特別措置法</p> <p>4 大店法</p> <p>1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法</p> <p>5 凍結宣言、要綱及び条例</p> <p>6 通産省による行政指導＝抑制措置</p> <p>7 規制緩和</p> <p>1) 規制緩和の流れ—前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議</p> <p>3) 適正化措置</p> <p>8 特定商業集積法</p> <p>9 街づくりと都市計画</p> <p>五 流通政策の転換</p> <p>1 大店立地法 2 中心市街地活性化法</p> <p>六 海外の流通政策</p> <p>1 イギリス</p> <p>1) 出店調整政策—都市・農村計画法 2) 日曜営業問題—商店法</p> <p>2 フランス—ロワイエ法</p> <p>3 ドイツ—土地利用計画</p> <p>4 アメリカ—ゾーニング規制</p>
成績評価の方法	定期試験、レポート、出席により評価。
教科書	指定しない。
参考書等	その都度指示する。

## 講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像
  - (1) アジアの「多様性」
  - (2) 「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論
  - (1) 従来の経済理論
  - (2) 今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展
  - (1) 工業化の「前史」
  - (2) 東アジアの経済発展過程
  - (3) 経済発展の特徴
4. アジアNIEsの経済発展
  - (1) 用語説明
  - (2) 経済発展の特徴
  - (3) 韓国の開発独裁体制

## 〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済
  - (1) 主要各国の経済発展過程
  - (2) ASEANの歴史
6. アジア社会主義諸国の経済
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機
  - (1) 危機の背景・原因・特徴
  - (2) 危機への対応策
8. アジアの地域経済協力
  - (1) 地域経済協力の歴史と現状
  - (2) 東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本
  - (1) 東アジアと日本の関係史
  - (2) 東アジアと日本の展望

## 成績評価の方法

前期および夏期休暇のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。

## 教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）

## 参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名

担当者名

社会政策

竹下 睿 駿

講義のねらい

社会政策は、資本主義社会の維持・安定化を図るために国家が労働力の担い手（労働者）が抱える労働・生活上の諸問題に対応して実施する公的政策（労働力政策）として展開してきた。その後、社会保障制度にみられるように、労働力政策の枠をこえて、国民全体の社会福祉と社会サービスの向上をめざす福祉国家の公共政策に発展していった。近年、各国の経済、財政事情から福祉国家の再編がすすみ、社会政策の総合化が試みられている。

さらに、現代の社会政策は、労働・生活上の諸問題を取りまく構造的環境の急激な変化によって、新しい局面を迎え、従来の枠組み・パラダイムの転換（全面的な労働改革）を迫られている。

講義では、まず、社会政策の本質、発生の必然性と変化の過程を明らかにする。ついで、現代日本の社会政策の実体に焦点をあてて、その特徴を主要な基本的政策に即して検討することにする。さいごに、社会政策のさまざまな考え方の流れを跡づけ、最近の新しい動向を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、I. 社会政策の概念と分析視角——1. 社会政策とは何か、2. 労働問題研究と社会政策研究、3. 社会政策の問題領域 II. 資本主義と社会政策の歴史的展開——1. 資本主義と賃金労働者、2. 生成期資本主義の社会政策、3. 産業資本主義段階の社会政策、4. 独占資本主義段階の社会政策。

後期は、III. 現代日本の社会政策——1. 戦前日本の社会政策、2. 戦後日本の社会政策、①労使関係（労働組合）政策、②賃金政策、③労働時間政策、④労働市場（雇用・失業）政策、⑤労働者保護政策、⑥高齢化政策、⑦女性労働と社会政策、⑧ME・IT技術革新と社会政策、⑨国際化と社会政策、IV. むすび——現代社会における社会政策の意義、社会政策論の検討。

履修上の留意点

出席を重視する。教場での私語を慎むこと（退場を求めることもある）。毎回、講義についての感想文を書いてもらう。

成績評価の方法

成績は、①定期試験を基本に、②出席率、③授業に取り組む姿勢、④感想文を加味して、総合的に評価する。試験の採点は、設問の意味を正確に理解し、論証が論理的に展開されているか否かを重視して行う。評価基準は、①が70%、②③④が30%の割合とする。

教科書

石畑良太郎・牧野富夫編『新版社会政策——構造改革の新展開とセーフティネット』（ミネルヴァ書房）2003年 3,400円

参考書等

西村 豁通<sup>ひみち</sup>・荒又重雄編『新社会政策を学ぶ』（有斐閣）1999年 2,000円

その他

講義形式。資料をできるだけ配付する。

## 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

- [1] 法思想史講義の意義・注意事項等の説明、ヨーロッパ法思想の底流をなす問題視角についての概説。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心に検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響と、人格概念について、概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想を中心に、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。
- [12] 19世紀の歴史法学、概念法学および概念法学批判について概観する
- [13] 法実証主義の様々な潮流について概観する

## 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

## 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

## 教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

## 参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取って自分で自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

**科目名****担当者名**

日本法制史

しげのたかほる  
茂野隆晴**講義のねらい**

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。授業の進め方は時代区分に基づいて行うのがふつうである。

近年では近現代史のもつ重要性が強調されてきている。年間の授業では、こうしたことに配慮して、国初から近代に至るまでの時代を上古、中古、近世、近代の5期に区分し、各々の主要な法制の特色を講述していく。

年間の講義の受講をすることによって、日本の法文化への愛着が高まったといわれるようになればと思います。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

1. 年間の授業方針及び日本法制史とその時代区分について
2. 国生みの神話他
3. 『魏志』倭人伝
4. 冠位十二階と憲法十七条
5. 律令刑罰体系と律令の司法制度
6. 戸令第八他
7. 三世一身法と墾田永年私財法
8. 御成敗式目
9. 甲州法度之次第と分国法
10. 武家諸法と自分仕置令
11. 五人組帳
12. 公事方御定書
13. 慶安の御触書
14. 近世の土地制度
15. 相对済し令、本公事と金公事、棄損令
16. 婚姻の変遷と「家」
17. 大津事件、登極令、治安維持法
18. 婚姻に関することわざと川柳

**履修上の留意点**

史資料に即して行う授業なので、テキストは必ず揃えて欲しい。

**成績評価の方法**

定期試験の評点70%、出席点30%として総合的に評価する。

**教科書**

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

**参考書等**

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史』（高文堂出版社）2,857円



科目名

担当者名

経済法

荒井登志夫

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書

法改正直後のため、教科書は当面指定しない。

参考書等

根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）  
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）  
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）  
白石忠志『独禁法講義』（有斐閣）

その他

レジュメを配布する。六法を持参のこと。

科目名

担当者名

国際関係論

三船恵美

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念とともに、現代の国際関係の枠組について講義します。国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・対立・危機を平和的に処理したり、国際平和を維持したりするためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益・パワーの概念、安全保障の概念と類型、現実主義、理想主義、構造主義、ゲーム理論、対外政策決定論、国内政治と国際関係のリンケージ・ポリティックスなど）について講義します。

後期は、日本にとって最も重要な2つの国家、米国と中国の安全保障戦略を基軸に、米国のアジア戦略、日米関係、米中関係、東アジア共同体構想、台湾問題、韓半島問題、米中EU関係、米中・中東関係、米中ロ・中央アジア関係、米中・アフリカ関係が日本の国益や外交に及ぼす影響、などを講義します。

履修上の留意点

配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。

成績評価の方法

試験（100%）。持込不可。授業中にうさくして退場を命じられた学生には、受験資格を絶対に与えません。テストを欠席した場合にレポートは課しません。

教科書

年間を通したサブテキスト『世界情報地図2006年版』にちぶん（1,500円）。後期教科書については、前期授業中に指示します。

他学部履修  
他学部開設  
他学部開設

科目名	担当者名
地方自治法	富井幸雄

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

# 科目名

担当者名

## 国際紛争解決法

おう 王 し 志 あん 安

### 講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

### 履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

### 成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

### 教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

### 参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

### その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

---

---

**科目名****担当者名****倒産処理法**すずき たかひろ  
**鈴木 貴博****講義のねらい**

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

**講義の内容・  
授業スケジュール**

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産申立てと破産宣告手続
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 財団再建・取戻権
7. 破産手続の主体
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪

**履修上の留意点**

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

**成績評価の方法**

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

**教科書**

徳田和幸『プレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

**参考書等**

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円

伊藤眞『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円

青山善充・伊藤眞・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名

担当者名

アメリカ経営学

みやま 宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

<2005年度『アメリカ経営学』授業計画>

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー) (8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
- 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000年(A. Picot u. a., *Die grenzenlose Unternehmung*, Gabler, 1998)
- 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., *Organisation. Eine ökonomische Perspektive*, Schaffer-Poeschel, 1997)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

## 講義のねらい

## 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態で通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達がいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

## 講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

## 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

## 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

## 教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

## 参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名

担当者名

公益企業論

すがや実

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)  
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益事業とは (2)  
〈規制課題〉
4. 経済的規制と社会的規制 (2)
5. 公益事業規制の枠組 (2)
6. 規制緩和の促進 (2)
7. 政府規制の見直し (2)  
〈規制緩和〉
8. ネットワークアクセス (1)
9. リストラクチャリング (1)
10. 民営化 (1)  
〈個別事業〉
11. 個別事業総論 (1)
12. エネルギー・水道 (3)
13. 情報通信 (4)
14. 交通・運輸 (3)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教科書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年5月

参考書等

講義の必要に応じて紹介する。

## 講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”  
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
  - （1）監査の必要
  - （2）監査の意義
  - （3）監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
  - （1）監査の目的
  - （2）監査思想の変遷
  - （3）監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - （1）証券取引法監査
  - （2）商法監査
  - （3）その他の監査制度
8. 監査基準（1）
  - （1）必要性
  - （2）生成と展開
9. 監査基準（2）
  - （1）意義
  - （2）体系
  - （3）一般基準
  - （4）実施基準
  - （5）報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
  - （1）監査概念の拡大化
  - （2）監査保証に程度の差を認める監査概念

## 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

## 成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について



て説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円  
田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円  
高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円  
鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円  
三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円  
山柁忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円  
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

# Ⅳ 仏教学部開設科目

他学部履修  
教育学部開設

## IV. 仏教学部開設科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
パーリ語初級	短仏	通年	4	片山一良	453
サンスクリット語初級	短仏	通年	4	金沢篤	453
チベット語初級	短仏	通年	4	松本史朗	454
仏教美術	短仏	通年	4	村松哲文	454
原始仏教	短仏	通年	4	片山一良	455
宗教史	短仏	通年	4	長谷部八朗	455
インド仏教文化史	短仏	通年	4	金沢篤	456
真宗学概論	短仏	通年	4	休講	
浄土学概論	短仏	通年	4	大南龍昇	456
真言学概論	短仏	通年	4	平井宥慶	457
日蓮教学概論	短仏	通年	4	休講	

他学部履修  
仏教学部開設

科目名	担当者名
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片 山 一 良

講義のねらい	パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は文法全体について講義し、後期は相応部經典『有偈篇』(Sagātha-vagga)を講読する。
履修上の留意点	習得に丁寧であることが望まれる。
成績評価の方法	年度末テスト、および平常点による。
教科書	コピーにて配布する。
参考書等	水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)
その他	随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名
サンスクリット語初級	かな ざわ まつし 金 沢 篤

講義のねらい	仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。
履修上の留意点	予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	平常点と期末・年度末の筆記試験。
教科書	J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)
参考書等	辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

**科目名****担当者名**

チベット語初級

まつもと しろう  
松本史朗**講義のねらい**

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

**講義の内容・授業スケジュール**

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

**履修上の留意点**

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

**成績評価の方法**

年度末の試験により、成績を評価する。

**教科書**

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

**科目名****担当者名**

仏教美術

むらまつ てつ ふみ  
村松哲文**講義のねらい**

日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合Ⅰ(3) 仏教と芸術」で講義する。

**講義の内容・授業スケジュール**

〔前期〕  
 仏教美術の世界 (1)  
 飛鳥時代の仏像 (2~7)  
 白鳳時代の仏像 (8~10)  
 天平時代の仏像 (11~15)

〔後期〕  
 平安時代の仏像 (16~20)  
 鎌倉時代の仏像 (21~25)  
 仏教美術の荘厳 (26~30)

以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

**履修上の留意点**

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

**成績評価の方法**

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

**教科書**

プリントを配布する。

**参考書等**

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

**科目名****担当者名**

原始仏教

片山 一良  
かた やま いち ろう**講義のねらい**

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

**講義の内容・授業スケジュール**

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

**履修上の留意点**

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

**成績評価の方法**

レポート（夏期）および年度末テストによる。

**教科書**

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

**科目名****担当者名**

宗教史

長谷部 八朗  
はせべ はち ろう**講義のねらい**

本講義では、古代から近世にかけての日本宗教史の概説を行う予定である。仏教を中心に、修験道、神道、キリスト教など広く諸宗教の歴史的展開を視野に入れて進めたい。

**講義の内容・授業スケジュール**

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

**成績評価の方法**

開講後に決めたい。なお、授業時に、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

**教科書**

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

**参考書等**

授業時に要に応じて紹介する予定である。



科目名	担当者名
インド仏教文化史	金 沢 篤

講義のねらい	インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。
履修上の留意点	仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
成績評価の方法	年度末試験などで総合的に判断する。
教科書	渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円
参考書等	教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名
浄土学概論	大 南 龍 昇

講義のねらい	阿弥陀仏の浄土教思想と浄土宗における展開について考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は浄土教の成立と背景をインド仏教を中心に考察する。まず仏教における浄土教の位置と性格、浄土教の経典と論書、浄土教思想を構成する諸要素、さらに浄土教の意義等について中国、日本への展開を見据えつつ考察する。 後期は法然上人と門下によって形成された浄土宗の教義について教判論・信仰論（安心）・実践論（起行）・威儀論（作業）・本願論・凡入報土論等の諸点から概説し、加えて近代における宗学の展開を考察する。
履修上の留意点	すでに受講したインド仏教における大乘思想と経典成立史における浄土教関係の箇所、中国、日本の浄土教の教理史を復習されたい。
成績評価の方法	試験に出席点と授業態度を加味し評定する。
教科書	教科書は定めず適宜プリントを用意する。
参考書等	藤田宏達『原始浄土思想の研究』（岩波書店） 望月信亨『略述浄土教理史』（日本図書センター） 石田充之『浄土教教理史』（平楽寺書店） その他授業時に紹介する。
その他	授業方法は講義形式による。

科目名	担当者名
真言学概論	ひら い ふう けい 平 井 宥 慶

講義のねらい

真言学は、宗祖弘法大師空海によって完成された。したがって先ず空海の人となり・思想について考察し、その上で後の若干の展開、即ち仏身論の変遷をみる。真言宗では、これらを全て含めて真言学と称する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】空海大師の足跡を追って、その歴史を尋ねる（教科書第一章から第七章まで、並びに第十章）。平安時代における日本仏教の置かれた情況、そこから大きく飛躍して、日本仏教の祖となった空海の歴史的価値を考察する。鎌倉期は新仏教の興起した時代と知られているが、それらが巨大宗団となるのは次の室町期とみなされる。それは教団の儀礼化、ともいえることである。

【後期】空海思想を概観し（教科書第八章）、更にそこから派生した巨大な密教美術を鳥瞰して、日本仏教美術の根源を探る（教科書第九章）。尚、空海以降の重要な思想的展開の一つ、仏身論に関する議論の経過をみて、真言宗史を概観する（教科書にはない）。これは仏身論論議からみれば、真言宗に限られることなく、日本仏教の流れそのものを照射するものとなる、と心得る。

履修上の留意点

平安仏教は日本仏教形成期の佛教である。それは日本が国家となる形成時代でもあり、広範な改革の時代でもあったことを踏まえて、多面的な思考角度を維持しつつ受講ねがいたい。

成績評価の方法

筆記試験を致します。出席点を加味する。7：3の割合になる。受講態度もみたい。

教科書

頼富本宏『平安のマルチ文化人 空海』（NHK ライブラリー200）（日本放送出版協会）  
2005年 830円＋税金 ISBN4-14-084200-8

参考書等

講義の進展とともに、逐次提示したい。

その他

授業方法は、基本的には講義形式をとるつもりである。必要の場合はプリントを配布する場合もある。試験の際は、おそらく持込み可となるが、その場合このプリントも持込むことが出来る。

他学部履修  
仏教学部開設